

福岡市における
墓地・納骨堂の需給状況について

平成 27 年 7 月

福岡市保健福祉局生活衛生部生活衛生課

福岡市における
墓地・納骨堂の需給状況について

目 次

第 1 章	はじめに	1
第 2 章	福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査	
	1 調査概要	5
	2 市民用アンケートの分析結果	6
第 3 章	福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査	
	1 調査概要	45
	2 経営者用アンケートの分析結果	46
第 4 章	福岡市墓地・納骨堂アンケート調査結果による需要予測	
	1 需要の予測方法	63
	2 市民用アンケートによる需要予測結果	63
第 5 章	福岡市における墓地・納骨堂の需給状況	
	1 墓地	67
	2 納骨堂	68
	3 まとめ・考察	69
資料編	1 福岡都市圏資料	73
	●福岡都市圏人口等（住民基本台帳）	73
	●国立社会保障・人口問題研究所『日本の市町村別将来別推計人口（平成 25 年 3 月 1 日現在）』	74
	●福岡都市圏地図	75
	2 福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査集計結果	76
	3 市民用アンケート自由記入欄記載内容	81
	4 市民用アンケート調査票	92
	5 福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査集計結果	102
	6 経営者用アンケート自由記入欄記載内容	108
	7 経営者用アンケート調査票	113
	8 督促ハガキ見本	120

福岡市における墓地・納骨堂の需給状況について

第1章 はじめに

墓地は、市民生活にとって必要不可欠なものであり公共的な施設である。しかし、一度設置すると永年にわたることや宗教的感情と密接なつながりを持つことなどから、ただ単に量的充足が図られればよいというものではなく、適正な配置や周辺的生活環境との調和など公共の利益との調整が求められる。

また、墓地の利用者は「終の棲家」として墓地の経営が永代にわたり平穏に行われることを望んでおり、こうした利用者の意向が尊重されることが重要である。

もし、墓地経営が破綻した場合、その性格上墓地を撤去することは容易ではない。管理責任者不在のまま放置された墓地は荒廃を招き、利用者に多大な不利益を与えるだけでなく、生活環境を悪化させ公共の福祉が損なわれる恐れがある。このため、墓地経営者には、社会的責務を自覚した高い倫理性が求められる。

こうしたことから「墓地、埋葬等に関する法律」（昭和23年5月31日 法律第48号）及び同法に係る国通知は、墓地の経営について、公衆衛生の確保にとどまることなく公共の福祉を実現するために、持続性と非営利性の確保を強く求めている。しかしその取り扱いは必ずしも画一的に処理し難い問題であり、地域の実情に応じた対応が必要なことから、経営許可の判断については許可権者である都道府県知事（指定都市等にあつては市長）※の法目的に照らした広範な裁量に委ねられており、墓地の経営主体についても、原則として市町村等の地方公共団体とし、これにより難い事情がある場合には、必要とする範囲において宗教法人又は公益法人による墓地の経営を認めるとしている。

福岡市においても、墓地、納骨堂の経営許可については、関係法令及びその具体的な許可基準や事務処理手続きを定めた「墓地等（墓地、納骨堂及び火葬場）許可事務取扱い要領」によりその事務を行っているところであるが、経営許可の事務遂行にあたっては、広域的な需給バランスの確保が必要であることから、平成22年に「福岡市墓地・納骨堂に関するアンケート調査」を行っている。

この度、前回の調査から5年を経過したため、最新の需給状況等の把握と将来の需給予測のために、市民と経営者向けのアンケート調査を行い、その結果をとりまとめた。

※平成23年度に成立した「地域の自主性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」（平成23年法律第105号。第2次一括法）により、市町又は特別区にあつては、市町又は区長が許可権限を有することとなった。また、実際には、地方自治法に基づき都道府県知事から市町村長にこれらの権限が委任されている。

第2章 福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査

第2章 福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査

1 調査概要

(1) アンケートの目的

この調査は、福岡市民の墓地・納骨堂に対する意識調査をすることで需要予測を行い、併せて福岡市及び近郊での墓地・納骨堂の利用実態等を調査することにより、墓地行政の参考にすることを目的とする。

(2) 調査時期 : 調査票発送 平成27年6月8日 回収締切 平成27年6月21日

(3) 調査の対象 : 総発送数2,000人

○福岡市民(30歳以上の市民を住民基本台帳から無作為抽出)

○各区の人口比に応じて配布

(4) 調査方法 : 郵送による送付・回収

(5) 調査票 : 別添(P92~101)

(6) 回収数 : 発送数2,000に対し、有効回収数(サンプル数)は707、有効回収率は35.4%であった。

(7) 集計・分析 : 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所

2 市民用アンケートの分析結果

標本構成

本調査で有効回収を得た707人の属性は下表のとおりである。

問1. 性別 上段：実数
下段：%

全体	男性	女性	無回答
707	317	387	3
100.0	44.8	54.7	0.4

問2. 年齢

全体	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
707	90	116	135	184	179	3
100.0	12.7	16.4	19.1	26.0	25.3	0.4

問3. 世帯での役割

全体	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主の配偶者以外の同居家族	その他	無回答
707	410	251	38	3	5
100.0	58.0	35.5	5.4	0.4	0.7

問4. 配偶者の有無

全体	いる	いない	無回答
707	505	194	8
100.0	71.4	27.4	1.1

問5. 親との続柄

全体	長男	長女	長男・長女以外	無回答
707	172	238	287	10
100.0	24.3	33.7	40.6	1.4

問6. 居住区

全体	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答
707	143	81	86	120	61	113	101	2
100.0	20.2	11.5	12.2	17.0	8.6	16.0	14.3	0.3

問7. 福岡市継続居住予定

全体	できれば福岡市に住み続けたい	市外に転出しても、いずれは福岡市に戻って暮らしたい	いずれ市外に転出した	わからない	無回答
707	609	9	19	66	4
100.0	86.1	1.3	2.7	9.3	0.6

問8 住まいの近くに新しく墓地ができることについて

あなたのお住まいの近くに新しくお墓や納骨堂ができるとしたら、あなたはどのように思いますか。
お墓と納骨堂それぞれについて、お考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つだけ)

【墓地】

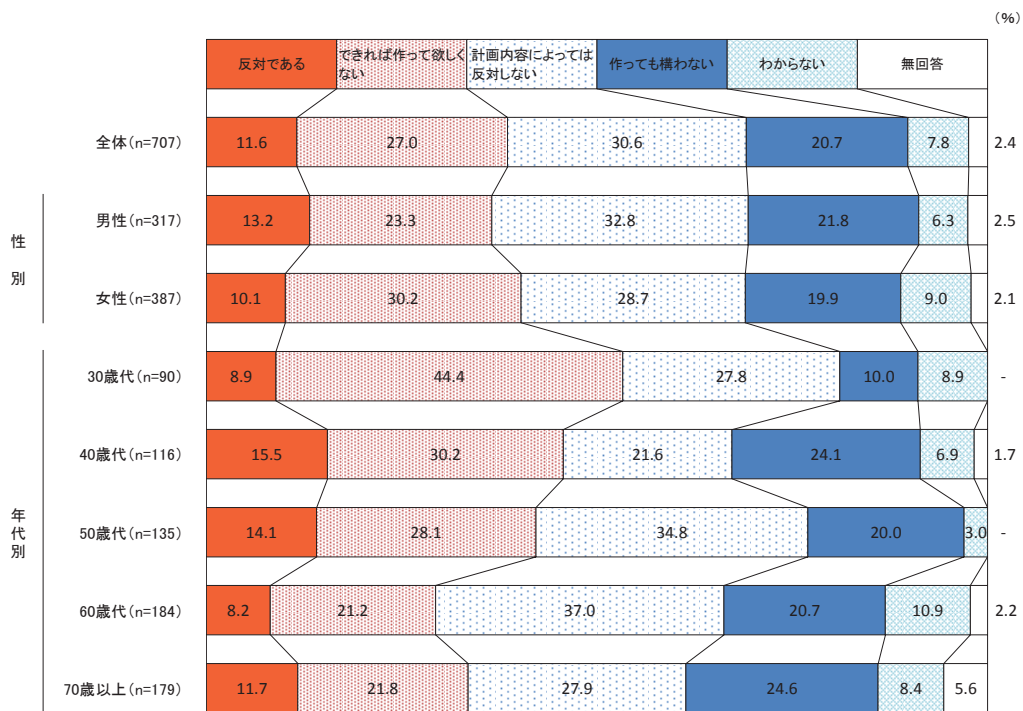
住まいの近くに新しく墓地ができることについて聞いたところ、「計画内容によっては反対しない」と「作っても構わない」を合わせた『反対しない』は51.3%、「反対である」と「できれば作って欲しくない」を合わせた『反対する』は38.6%となっている。

性別では、特に差異はみられない。

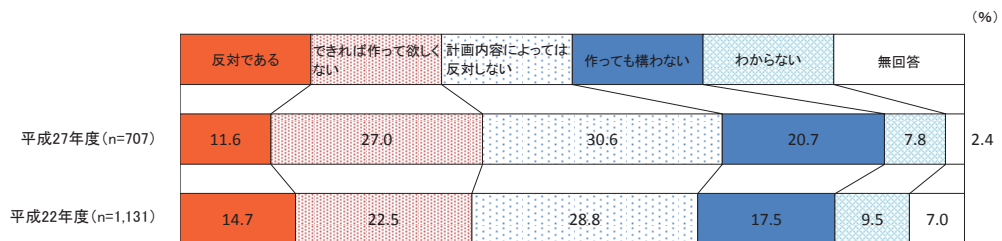
年代別に『反対しない』をみると、30歳代(37.8%)から70歳以上(52.5%)で加齢増加傾向を示し、『反対する』は30歳代(53.3%)から70歳以上(33.5%)で加齢減少傾向を示している。

過去の調査結果と比較してみると、『反対しない』は平成27年度(51.3%)が平成22年度(46.3%)より高くなっている。

図表-2-1 住まいの近くに新しく墓地ができることについて【性別、年代別】



図表-2-2 住まいの近くに新しく墓地ができることについて【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問8 住まいの近くに新しく納骨堂ができることについて

あなたのお住まいの近くに新しくお墓や納骨堂ができるとしたら、あなたはどのように思いますか。
お墓と納骨堂それぞれについて、お考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つだけ)

【納骨堂】

住まいの近くに新しく納骨堂ができることについて聞いたところ、「計画内容によっては反対しない」と「作っても構わない」を合わせた『反対しない』は67.0%、「反対である」と「できれば作って欲しくない」を合わせた『反対する』は22.5%となっている。

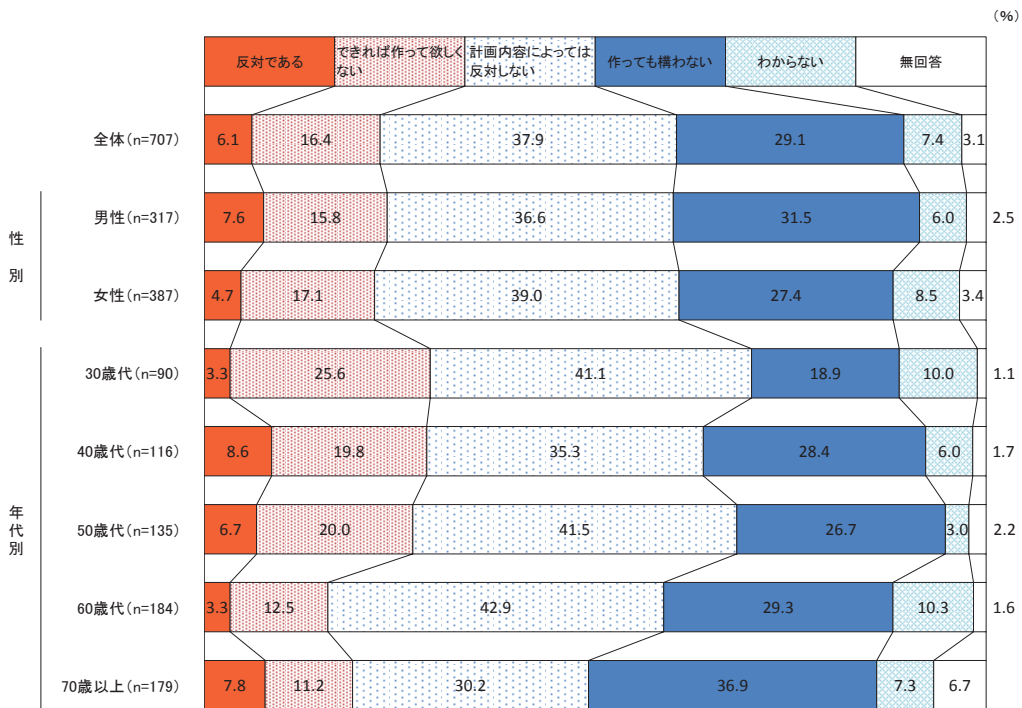
性別では特に差異はみられない。

年代別に『反対しない』をみると、30歳代(60.0%)から70歳以上(67.1%)で加齢増加傾向を示し、『反対する』は30歳代(28.9%)から70歳以上(19.0%)で加齢減少傾向を示している。

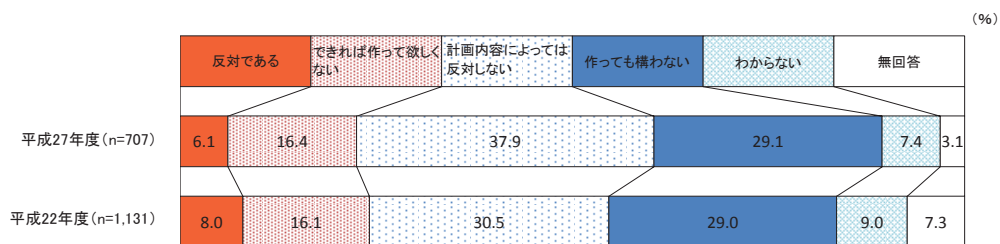
過去の調査結果と比較してみると、『反対しない』は、平成27年度調査(67.0%)が平成22年度(59.5%)より高くなっている。

全体的傾向を前項の墓地に関する意向と比較すると、全体での『反対しない』は墓地が51.3%であるのに対し、納骨堂は67.0%で、比較的納骨堂の方が市民の許容度合いが高いことがわかる。

図表-2-3 住まいの近くに新しく納骨堂ができることについて【性別、年代別】



図表－２－４ 住まいの近くに新しく納骨堂ができることについて【過去の調査結果との比較】



問9 墓地・納骨堂の所有

あなたは、現在利用できるお墓や納骨堂を持っていますか。(○は1つだけ)

※「利用できるお墓や納骨堂」とは、あなた(あなたの親近者を含む)が亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂のことです。

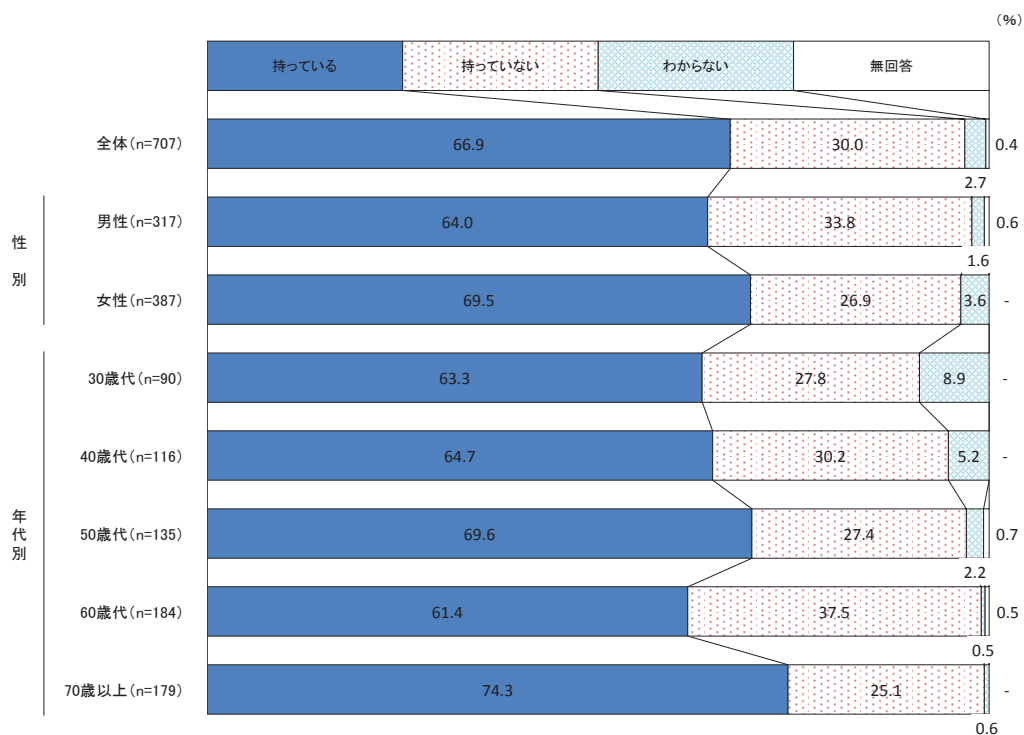
墓地・納骨堂の所有について聞いたところ、「持っている」が66.9%で最も多く、次いで「持っていない」(30.0%)、「わからない」(2.7%)となっている。

性別に「持っている」をみると、女性(69.5%)が男性(64.0%)より高くなっている。

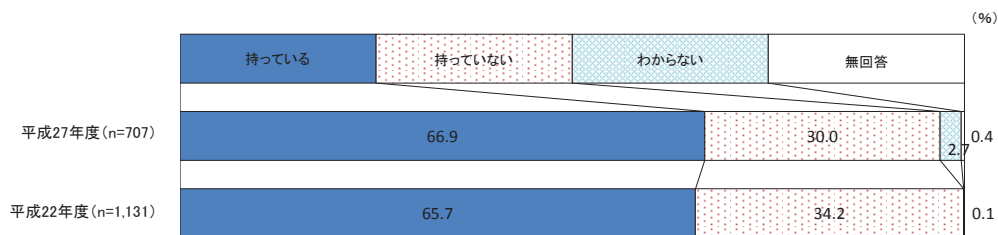
年代別に「持っている」をみると、70歳以上では74.3%となっており、他の年代と比べて高くなっている。

過去の調査と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-5 墓地・納骨堂の所有【性別、年代別】



図表-2-6 墓地・納骨堂の所有【過去の調査結果との比較】



※平成27年度については、選択肢「わからない」を追加している。

※図表上の「-」については、0.0を表す。

問9-1 墓地・納骨堂の種類

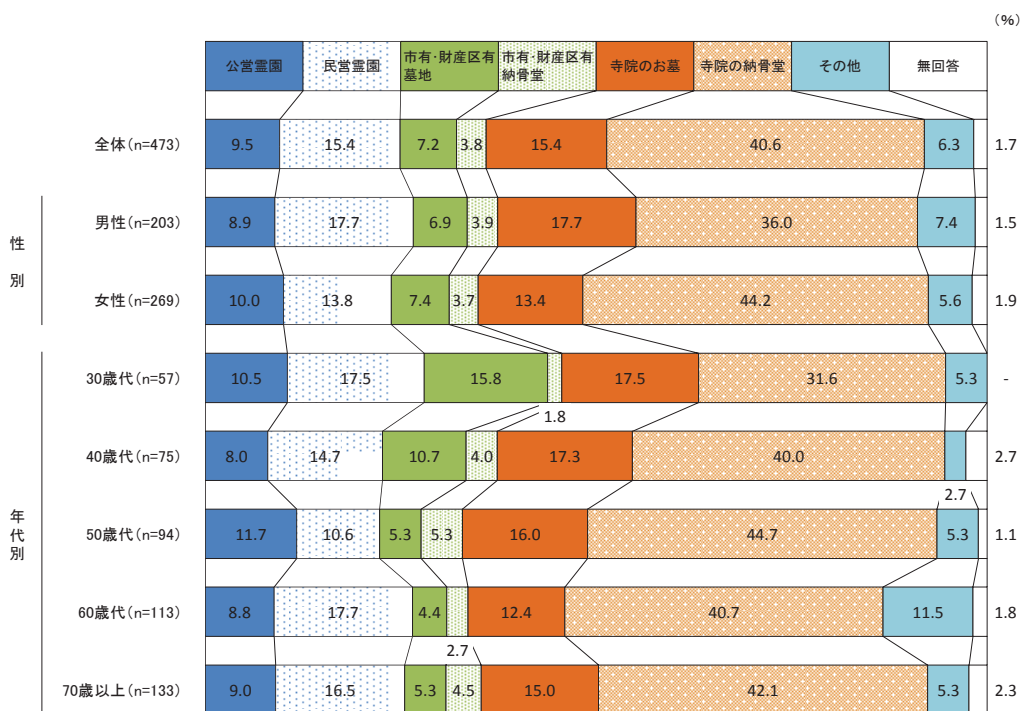
〔問9の墓地・納骨堂の所有者のみに質問〕
それはどのようなお墓や納骨堂ですか。(〇は1つだけ)

問9で現在墓地・納骨堂を所有していると答えた473人にその種類を聞いたところ、「寺院の納骨堂」が40.6%で最も多く、次いで「民営霊園」「寺院のお墓」(15.4%)となっている。

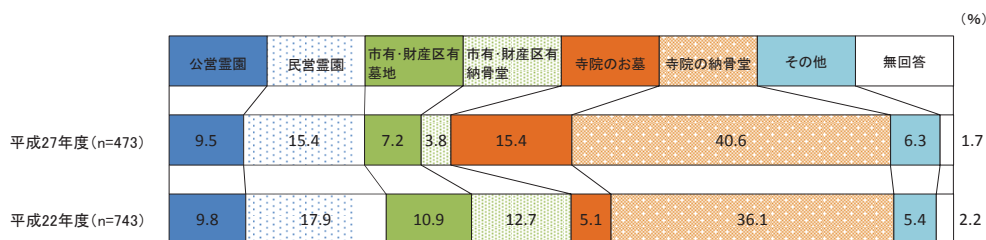
性別に「寺院の納骨堂」をみると、女性(44.2%)が男性(36.0%)より高くなっている。
年代別では、特に差異はみられない。

過去の調査結果と比較してみると、「寺院のお墓」は、平成27年度(15.4%)が平成22年度(5.1%)より高くなっている。

図表-2-7 墓地・納骨堂の種類【性別、年代別】



図表-2-8 墓地・納骨堂の種類【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問9-2 墓地・納骨堂の取得

〔問9の墓地・納骨堂の所有者のみに質問〕
 そのお墓や納骨堂はどのようにして取得されましたか。(〇は1つだけ)

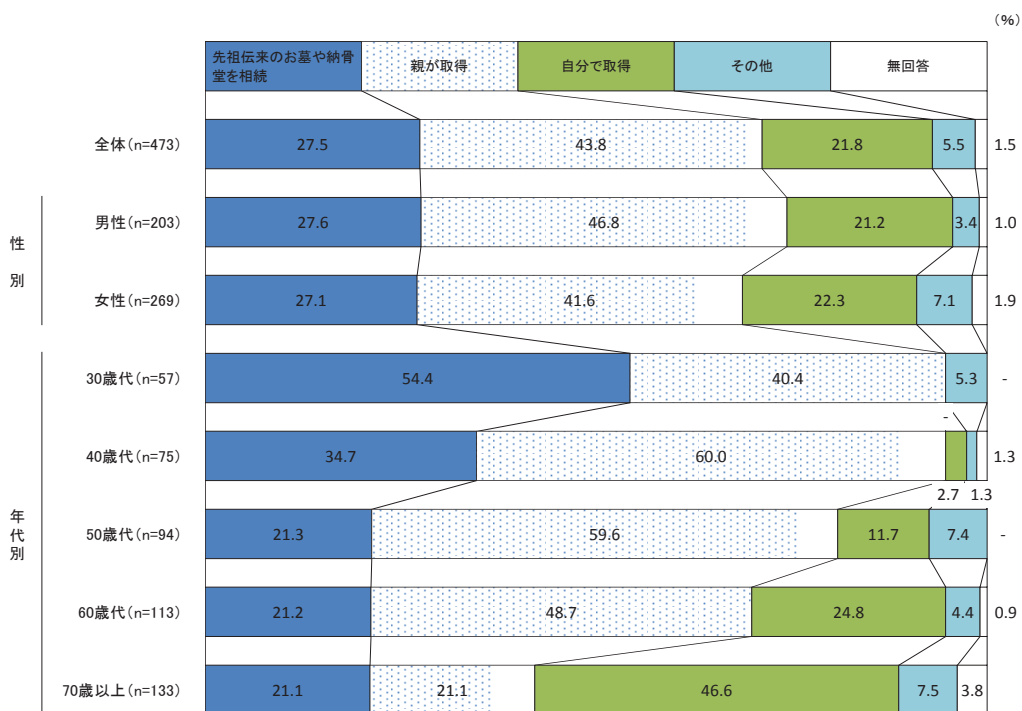
問9で現在墓地・納骨堂を所有していると答えた473人にその取得方法を聞いたところ、「親が取得」が43.8%で最も多く、次いで「先祖伝来のお墓や納骨堂を相続」(27.5%)、「自分で取得」(21.8%)となっている。

性別では、特に差異はみられない。

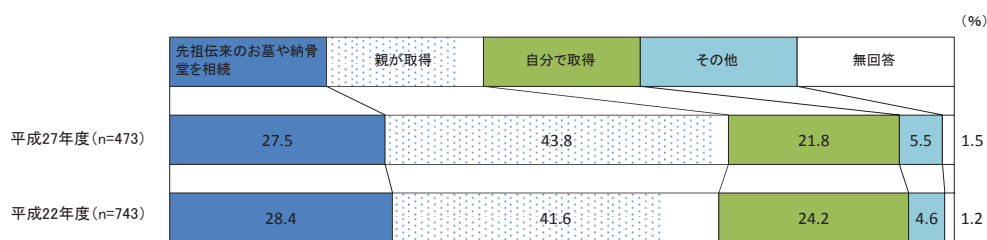
年代別に「自分で取得」をみると、70歳以上で46.6%、「親が取得」をみると40歳代(60.0%)・50歳代(59.6%)、「先祖伝来のお墓や納骨堂を相続」をみると30歳代で54.4%となっており、それぞれ他の年代と比べて高くなっている。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-9 墓地・納骨堂の取得【性別、年代別】



図表-2-10 墓地・納骨堂の取得【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問9-3 墓地・納骨堂の場所

〔問9の墓地・納骨堂の所有者のみに質問〕
 そのお墓や納骨堂はどこにありますか。(〇は1つだけ)

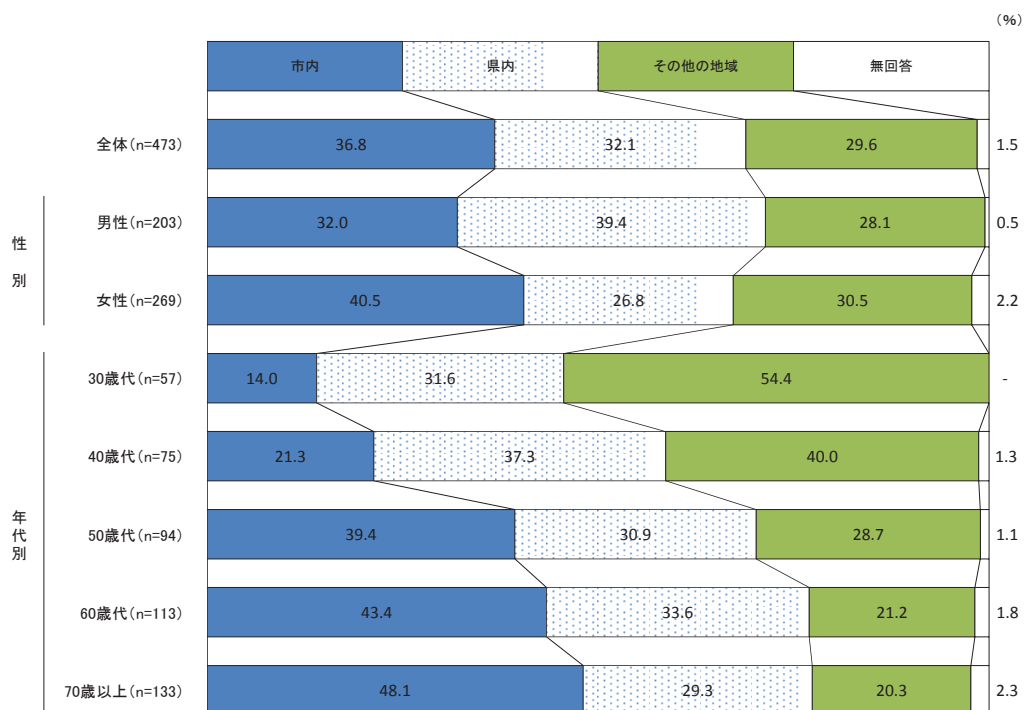
問9で現在墓地・納骨堂を所有していると答えた473人にその所在地を聞いたところ、「市内」が36.8%で最も多く、次いで「県内」(32.1%)、「その他の地域」(29.6%)となっている。

性別に「県内」をみると、男性(39.4%)が女性(26.8%)より高くなっている。

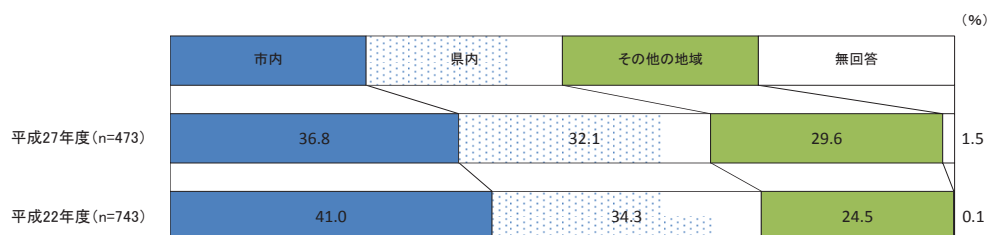
年代別に「その他の地域」をみると、30歳代(54.4%)・40歳代(40.0%)で高くなっており、加齢減少傾向を示している。「市内」をみると、70歳以上では48.1%と高くなっており、加齢増加傾向を示している。

過去の調査と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-11 墓地・納骨堂の場所【性別、年代別】



図表-2-12 墓地・納骨堂の場所【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問9-4 墓地・納骨堂へのお参り回数（過去1年間）

〔問9の墓地・納骨堂の所有者のみに質問〕
 あなたはそのお墓や納骨堂に、過去1年間に何回お参りをしましたか。（〇は1つだけ）

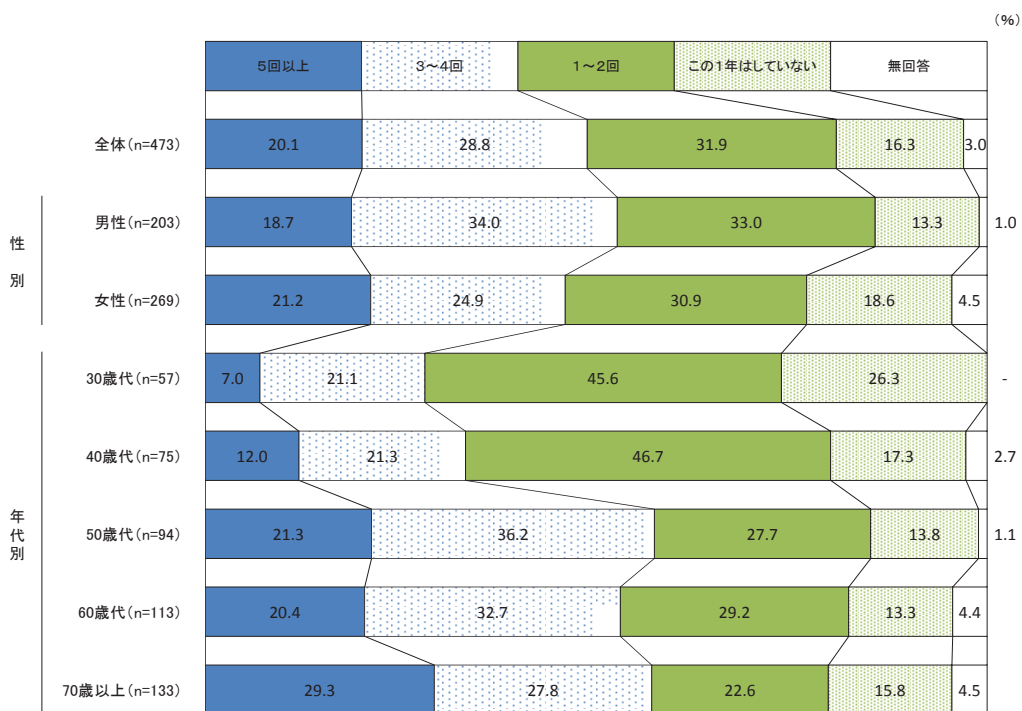
問9で現在墓地・納骨堂を所有していると答えた473人に過去1年間でのお墓参りの頻度を聞いたところ、「1～2回」が31.9%で最も多く、次いで「3～4回」（28.8%）、「5回以上」（20.1%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

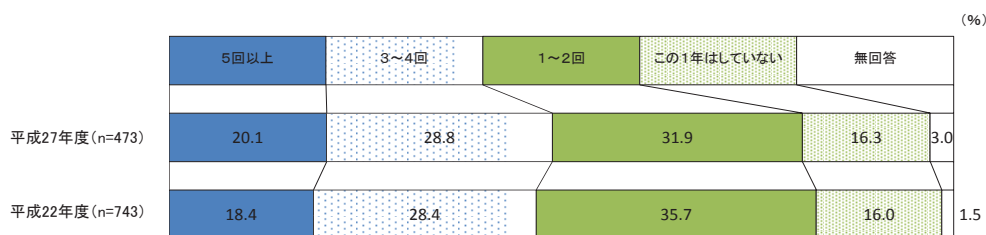
年代別に「この1年はしていない」をみると30歳代では26.3%、「1～2回」をみると30歳代（45.6%）・40歳代（46.7%）で他の年代と比べて高くなっている。また、「5回以上」をみると、70歳以上では29.3%と高くなっており、「この1年はしていない」「1～2回」では加齢減少傾向を示しているのに対し、加齢増加傾向を示している。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-13 墓地・納骨堂へのお参り回数【性別、年代別】



図表-2-14 墓地・納骨堂へのお参り回数【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問10 先祖の墓地・納骨堂を守る立場

あなたは先祖のお墓や納骨堂を守る立場にありますか。(○は1つだけ)

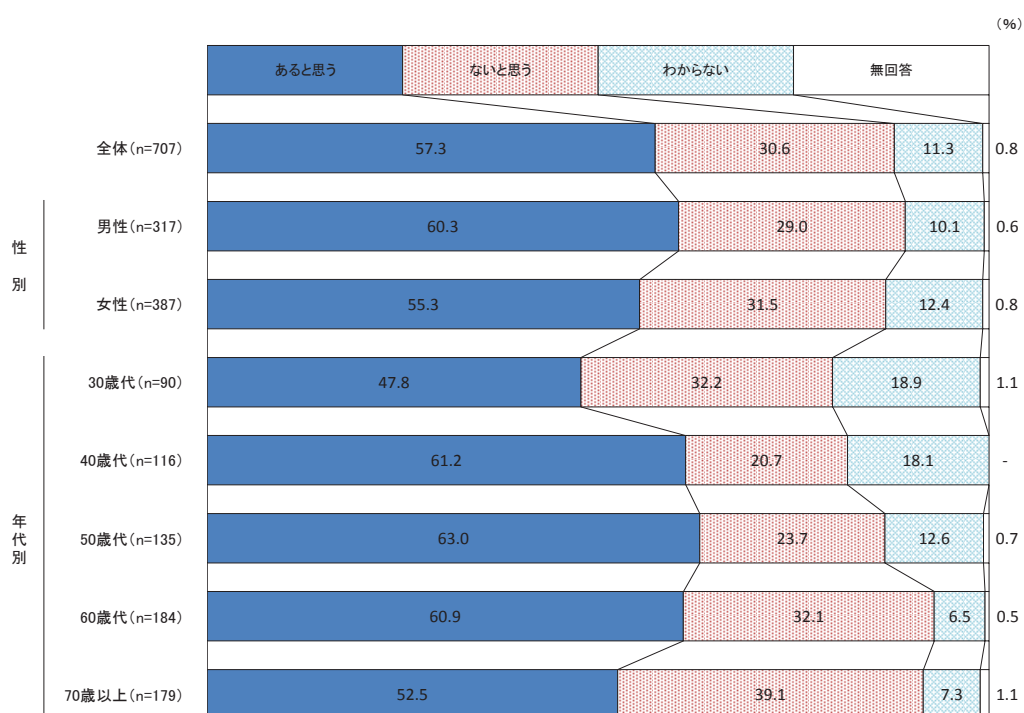
先祖の墓地・納骨堂を守る事への自分の立場について、「あると思う」が57.3%で最も多く、次いで「ないと思う」(30.6%)、「わからない」(11.3%)となっている。

性別では、特に差異はみられない。

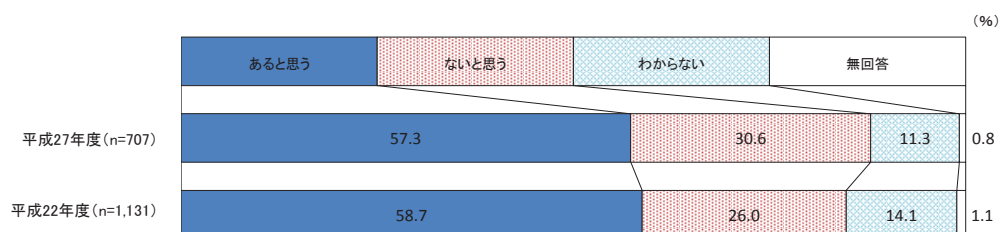
年代別に「わからない」をみると、30歳代(18.9%)・40歳代(18.1%)で高くなっており、加齢減少傾向を示している。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない

図表-2-15 先祖の墓地・納骨堂を守る立場【性別、年代別】



図表-2-16 先祖の墓地・納骨堂を守る立場【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 1 新しい墓地・納骨堂の取得について

あなたは新たにお墓や納骨堂の取得を考えていますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)
 ※問9で「1」とお答えの方もお答えください。

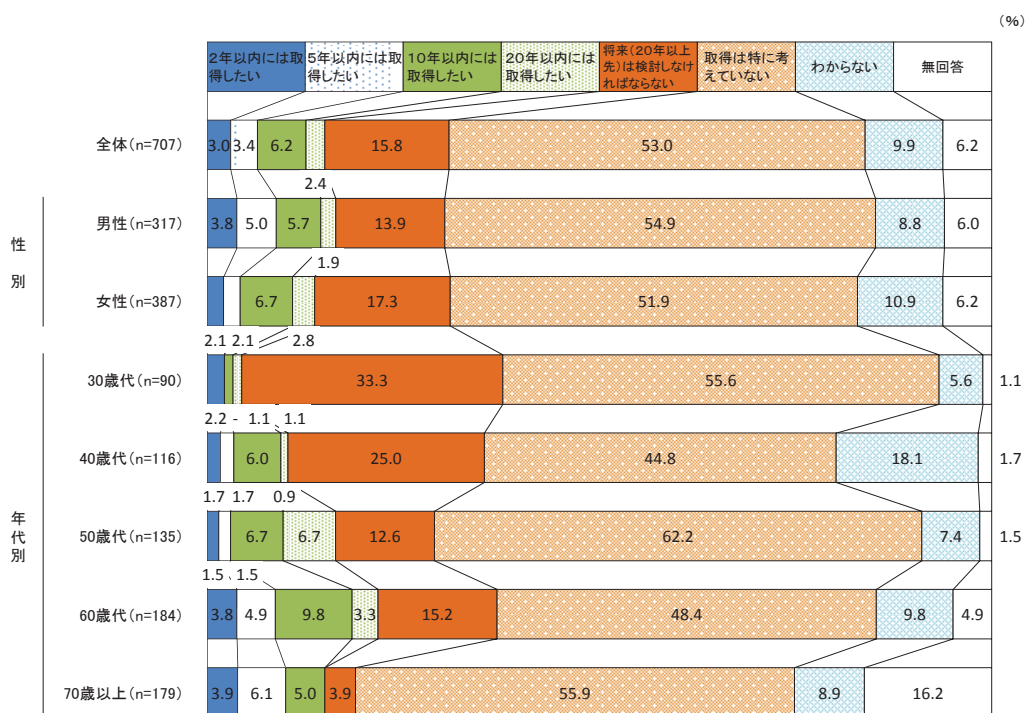
新しい墓地・納骨堂の取得について聞いたところ、『何らかの取得意向がある人』(=「2年以内には取得したい」+「5年以内には取得したい」+「10年以内には取得したい」+「20年以内には取得したい」+「将来(20年以上先)は検討しなければならない」)は30.8%となっている。

性別では、特に差異はみられない。

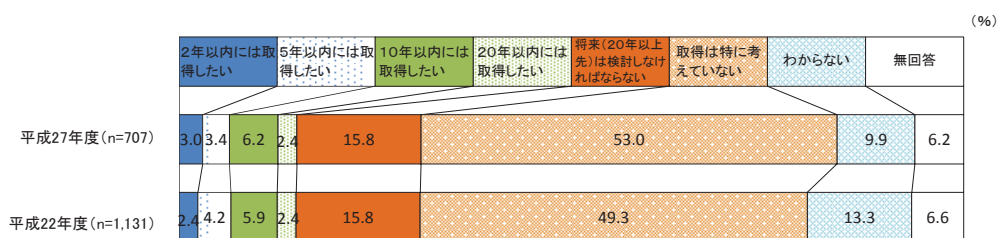
年代別に『何らかの取得意向がある人』をみると、70歳以上では18.9%となっており、他の年代に比べて低くなっている。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-17 新しい墓地・納骨堂の取得について【性別、年代別】



図表-2-18 新しい墓地・納骨堂の取得について【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問11-1 新しい墓地・納骨堂の取得理由（回答は2つまで）

〔問11の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕
 新たにお墓や納骨堂の取得を考えている理由はなんですか（〇は2つまで）

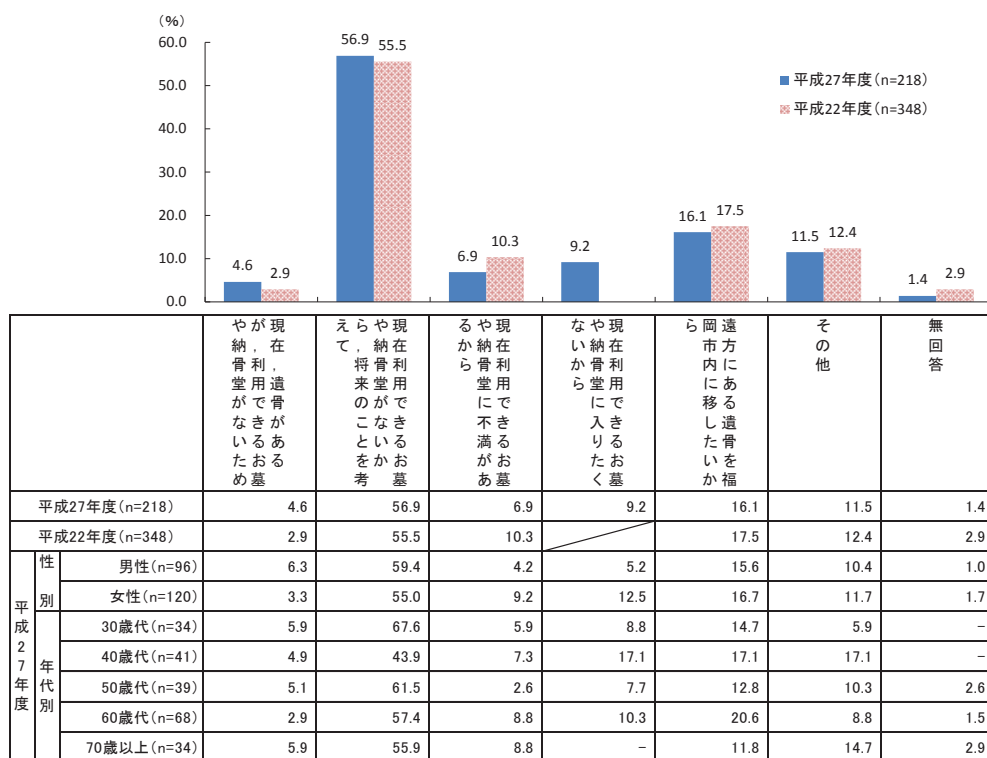
問11で『何らかの取得意向がある』と答えた218人に墓地・納骨堂の取得を考えている理由を聞いたところ、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから、将来のことを考えて」が56.9%で最も多く、次いで「遠方にある遺骨を福岡市内に移したいから」（16.1%）、「その他」（11.5%）となっている。その他の内容としては、「将来的には兄弟が現在の納骨堂を引き継ぐ事になると思うから。」などが挙げられている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-19 新しい墓地・納骨堂の取得理由【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※平成27年度については、選択肢「現在利用できるお墓や納骨堂に入りたくないから」を追加している。

※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 1-2 墓地・納骨堂の取得について希望する種類（複数回答）

〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕
 仮にお墓や納骨堂を取得する場合、どのようなものを希望しますか。（〇はいくつでも）

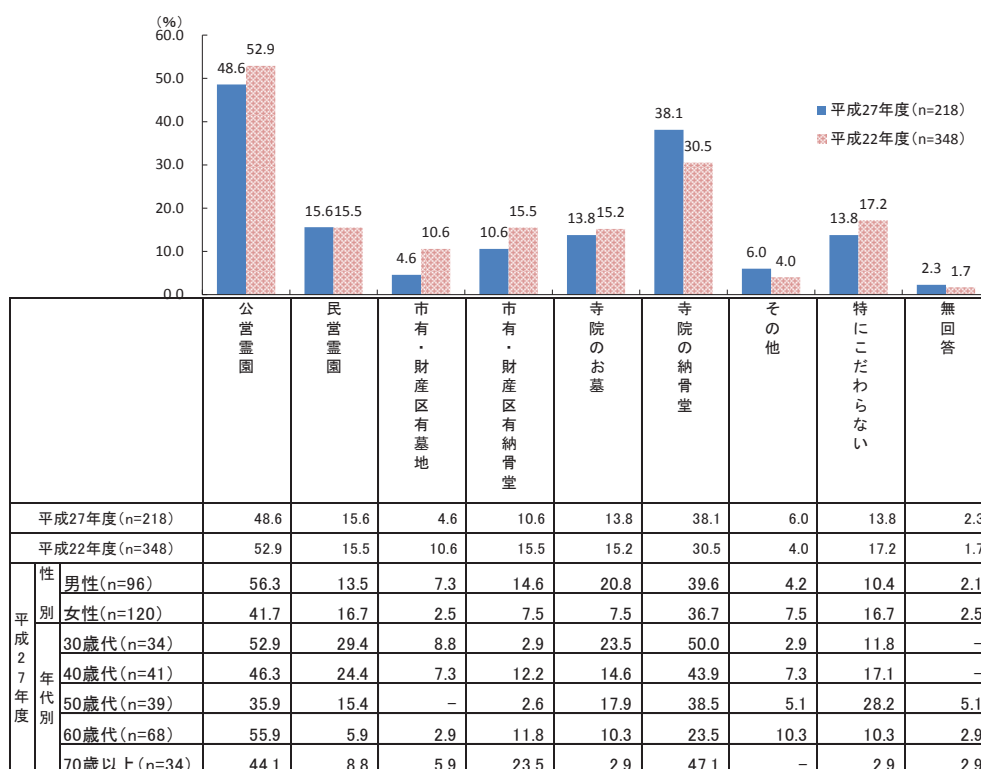
問 1 1 で『何らかの取得意向がある』と答えた 2 1 8 人に希望する墓地・納骨堂の種類を聞いたところ、「公営霊園」が 4 8 . 6 % で最も多く、次いで「寺院の納骨堂」（3 8 . 1 % ）、「民営霊園」（1 5 . 6 % ）となっている。

性別に「公営霊園」をみると、男性（5 6 . 3 % ）が女性（4 1 . 7 % ）より高くなっている。

年代別に「民営霊園」をみると、3 0 歳代では 2 9 . 4 % と高くなっており、加齢減少傾向になっている。また、「特にこだわらない」をみると 5 0 歳代では 2 8 . 2 % となっており、他の年代に比べて高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「寺院の納骨堂」は、平成 2 7 年度（3 8 . 1 % ）が平成 2 2 年度（3 0 . 5 % ）より高くなっている。

図表－2－20 墓地・納骨堂の取得について希望する種類【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 1-3 墓地・納骨堂の取得について最も希望する種類

〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕
 問 1 1-2 で○をつけた中で、もっとも希望するものの番号をお書きください。

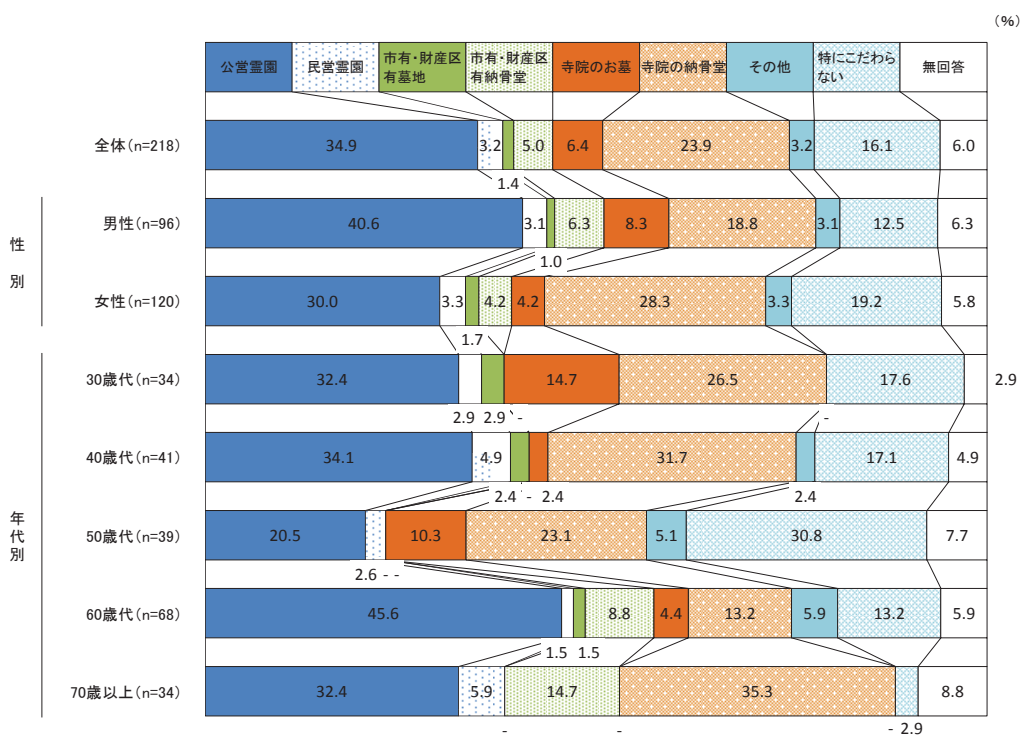
問 1 1-2 で挙げた種類の中から最も強く希望する種類を絞った質問を行ったところ、「公営霊園」が 34.9% で複数回答と同様に最も多く、次いで「寺院の納骨堂」(23.9%)、「特にこだわらない」(16.1%) となっている。

性別に「公営霊園」をみると、男性(40.6%)が女性(30.0%)より高くなっている。一方、「寺院の納骨堂」をみると、女性(28.3%)が男性(18.8%)より高くなっている。

年代別に「特にこだわらない」をみると、50歳代で30.8%となっており、複数回答と同様に他の年代に比べて高くなっている。

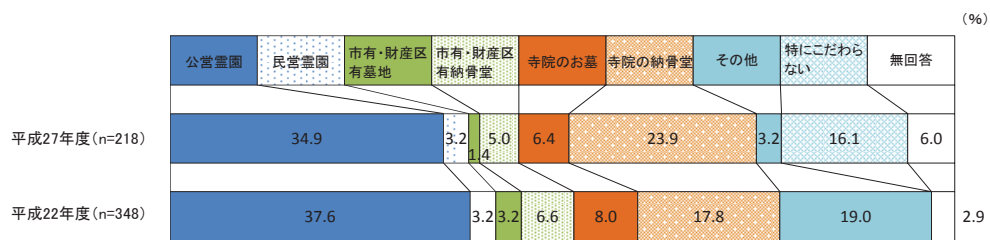
過去の調査結果と比較してみると、「寺院の納骨堂」は、平成27年度(23.9%)が平成22年度(17.8%)より高くなっている。また、「特にこだわらない」も、平成27年度(16.1%)が平成22年度(0.0%)より高くなっている。

図表-2-21 墓地・納骨堂の取得について最も希望する種類【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

図表－２－２２ 墓地・納骨堂の取得について最も希望する種類【過去の調査結果との比較】



問 1 1-4 墓地・納骨堂の取得について希望する場所

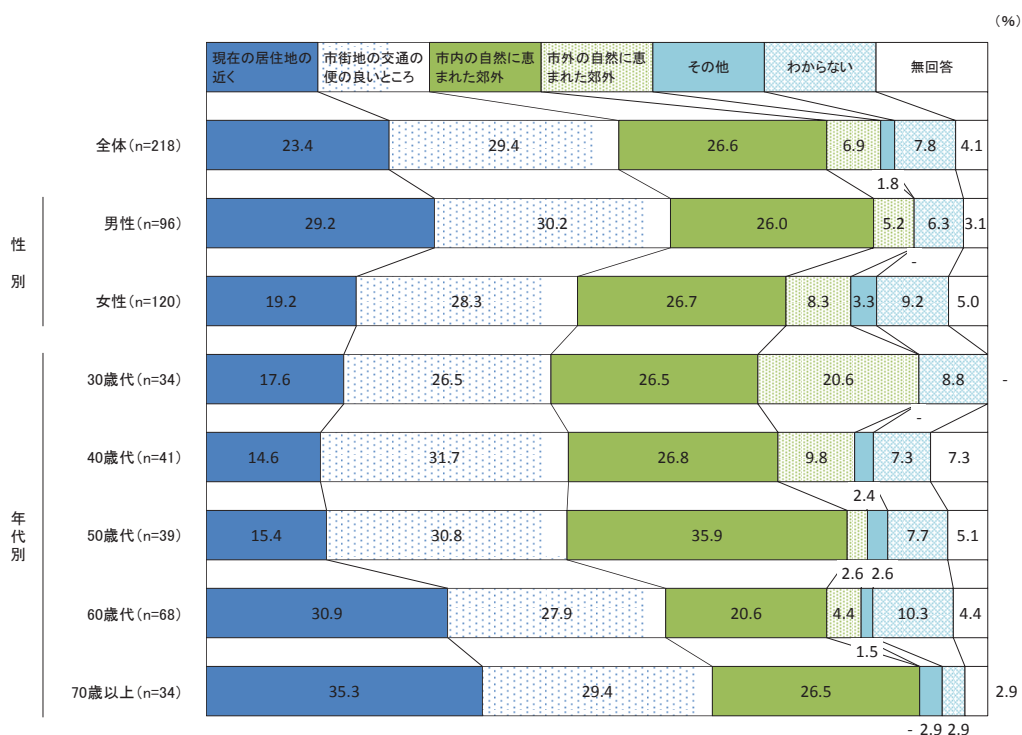
〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕
 あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、どのような場所が良いと思いますか。(〇は1つだけ)

問 1 1 で『何らかの取得意向がある』と答えた 218 人に希望する墓地・納骨堂の場所を聞いたところ、「市街地の交通の便の良いところ」が 29.4% で最も多く、次いで「市内の自然に恵まれた郊外」(26.6%)、「現在の居住地の近く」(23.4%) となっている。「市外の自然に恵まれた郊外」は 6.9% で少数であり、市民が墓地・納骨堂の立地に関しては、遠方を避ける意向を持っていることがわかる。

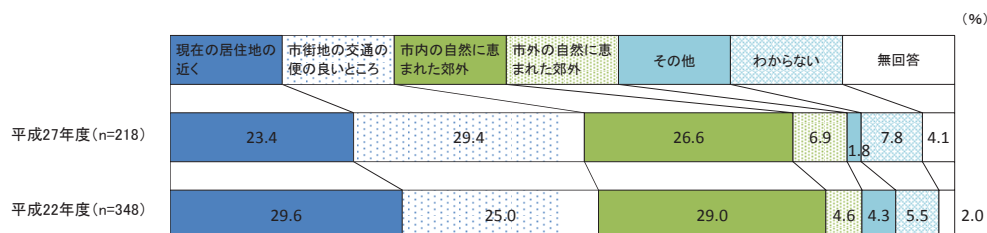
性別に「現在の居住地の近く」をみると、男性(29.2%)が女性(19.2%)より高くなっている。年代別では、特に差異はみられない。

過去の調査結果と比較してみると、「現在の居住地の近く」は、平成 22 年度(29.6%)が平成 27 年度(23.4%)より高くなっている。

図表 2-2-3 墓地・納骨堂の取得について希望する場所【性別、年代別】



図表 2-2-4 墓地・納骨堂の取得について希望する場所【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0 を表す。

問 1 1-5 墓地・納骨堂の取得について希望する片道移動時間

〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕
 あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、ご自宅からの距離は片道の移動時間にしてどのくらいが
 適当と思いますか。(○は1つだけ)

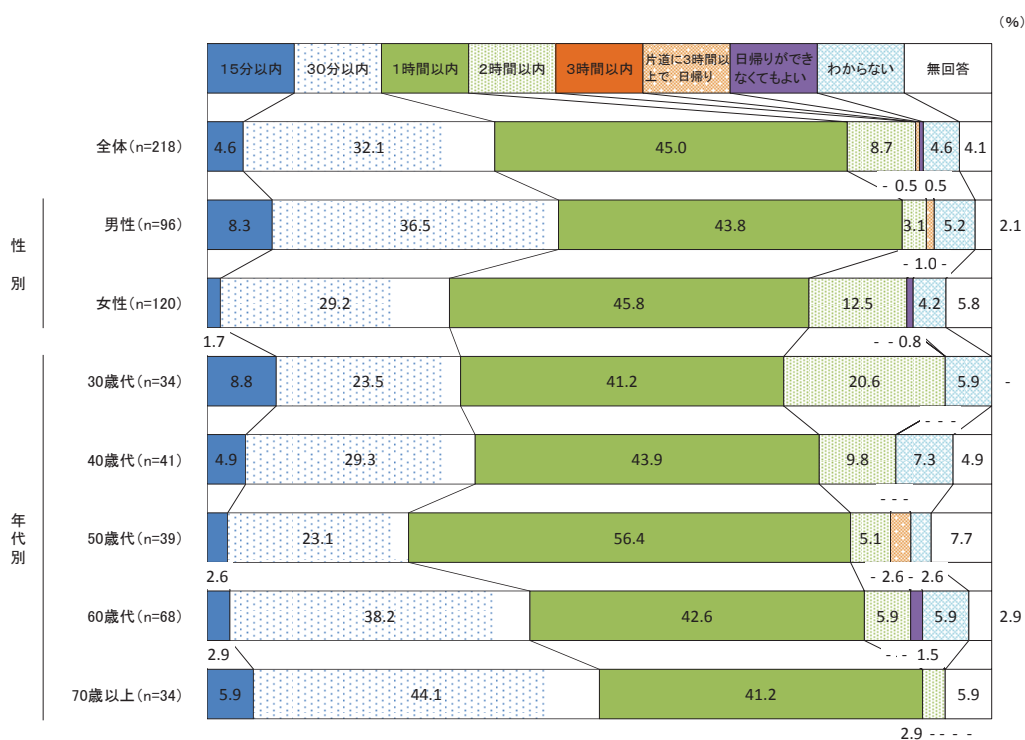
問 1 1 で『何らかの取得意向がある』と答えた 2 1 8 人に自宅からの片道の移動時間の希望を聞いたところ、「1時間以内」が 4 5 . 0 % で最も多く、次いで「30分以内」(3 2 . 1 %)、「2時間以内」(8 . 7 %) となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

「15分以内」「30分以内」「1時間以内」を合わせた割合は、8割強となっており、大部分の市民が墓地・納骨堂を新たに取得する場合には近距離の立地を求めていることがわかる。

図表-2-25 墓地・納骨堂の取得について希望する片道移動時間【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 1-6 墓地・納骨堂の取得について重視する点（複数回答）

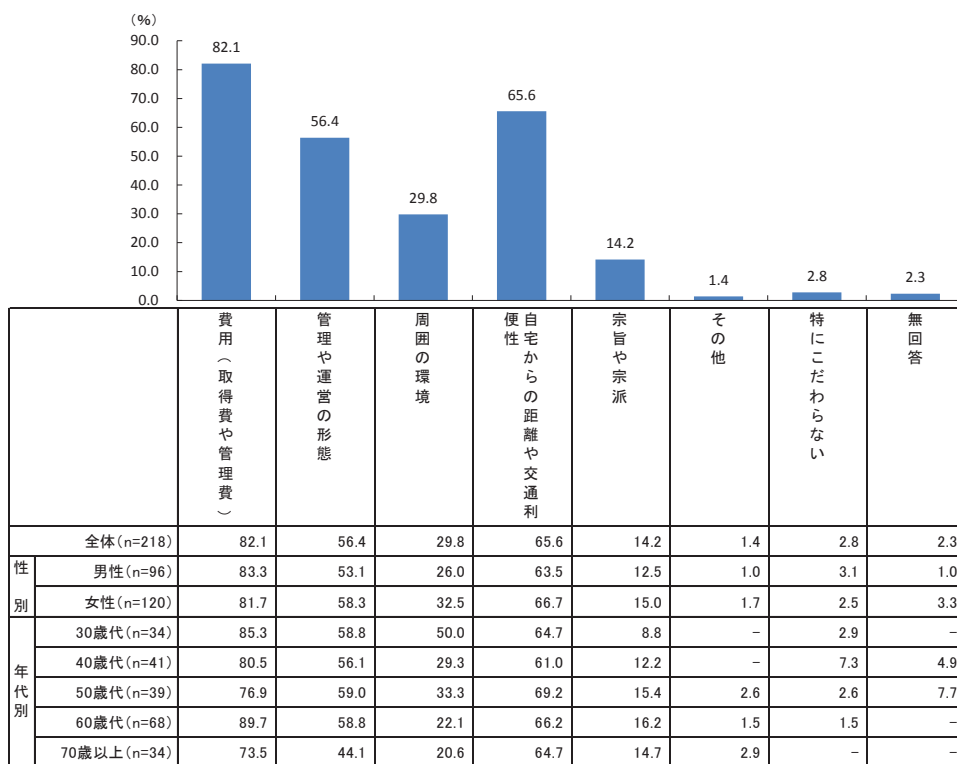
〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕
 あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、重視することは何ですか。（〇はいくつでも）

問 1 1 で『何らかの取得意向がある』と答えた 2 1 8 人に新たに墓地・納骨堂を取得する際に重視することを聞いたところ、「費用（取得費や管理費）」が 8 2. 1 % で最も多く、次いで「自宅からの距離や交通利便性」（6 5. 6 %）、「管理や運営の形態」（5 6. 4 %）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表－ 2 － 2 6 墓地・納骨堂の取得について重視する点【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0 を表す。

問 1 1-7 墓地・納骨堂の取得について最も重視する点

〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕
 問 1 1-6 で○をつけた中で、もっとも重視するものの番号をお書きください。

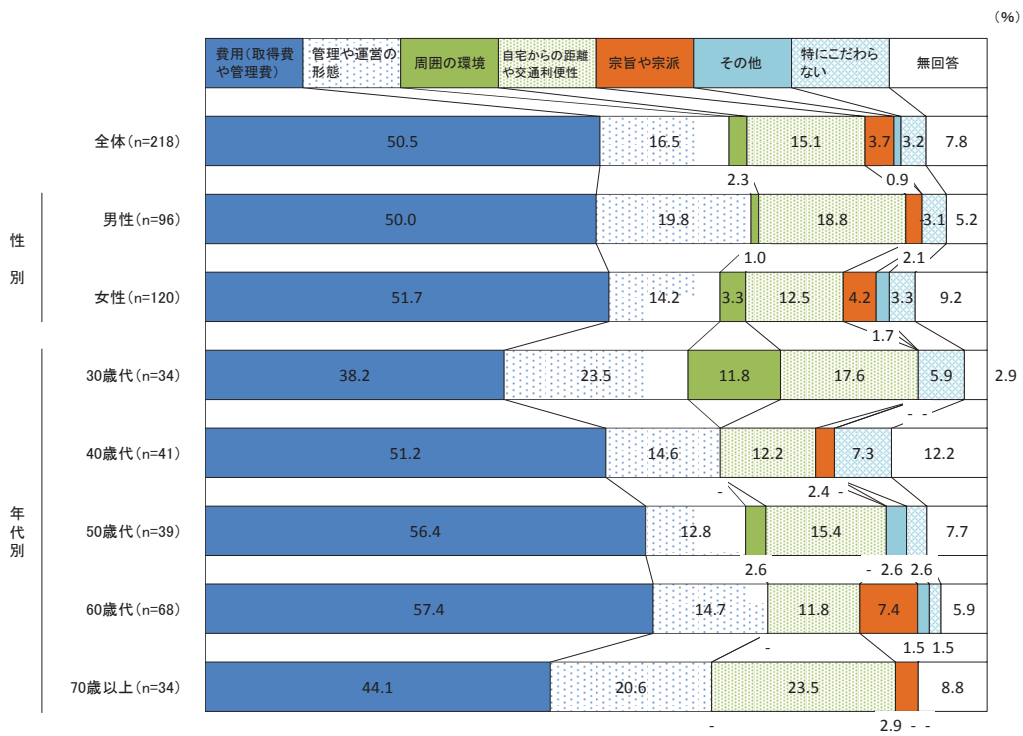
問 1 1-6 で挙げたことの中から最も強く重視することを絞った質問を行ったところ、「費用（取得費や管理費）」が 50.5% で最も多く、次いで「管理や運営の形態」（16.5%）、「自宅からの距離や交通利便性」（15.1%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

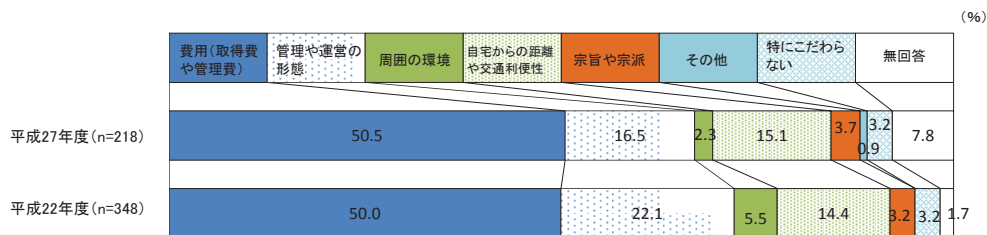
年代別に「費用（取得費や管理費）」をみると、40歳代（51.2%）・50歳代（56.4%）・60歳代（57.4%）で高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「管理や運営の形態」は、平成 22 年度（22.1%）が平成 27 年度（16.5%）より高くなっている。

図表-2-27 墓地・納骨堂の取得について最も重視する点【性別、年代別】



図表-2-28 墓地・納骨堂の取得について最も重視する点【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0 を表す。

問 1 1-8 墓地・納骨堂の取得について希望する形式（複数回答）

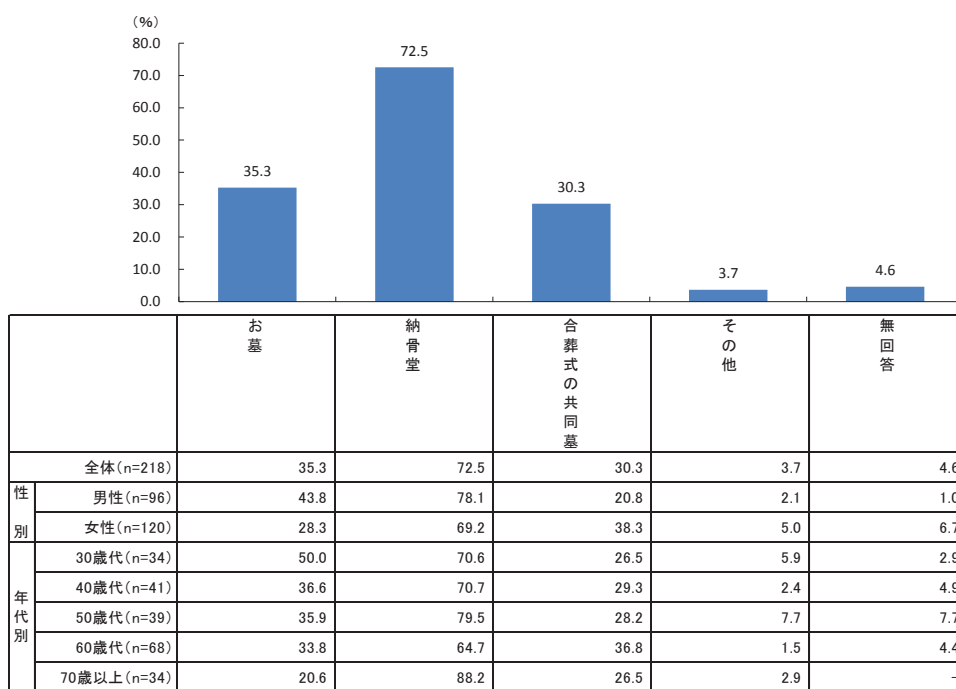
〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕
 あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、どのような形式のものを希望しますか(○はいくつでも)

問 1 1 で『何らかの取得意向がある』と答えた 2 1 8 人に新たに墓地・納骨堂を取得する際に希望する形式を聞いたところ、「納骨堂」が 7 2. 5 % で最も多く、次いで「お墓」(3 5. 3 %)、「合葬式の共同墓」(3 0. 3 %) となっている。

性別に「お墓」「納骨堂」をみると、男性(4 3. 8 % ・ 7 8. 1 %) が女性(2 8. 3 % ・ 6 9. 2 %) より高くなっている。一方、「合葬式の共同墓」をみると、女性(3 8. 3 %) が男性(2 0. 8 %) より高くなっている。

年代別にみると、「お墓」は加齢減少傾向にあり、「納骨堂」「合葬式の共同墓」は概ね加齢増加傾向となっている。

図表 2-29 墓地・納骨堂の取得について希望する形式【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0 を表す。

問11-9 墓地・納骨堂の取得について最も希望する形式

〔問11の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕
 問11-8で○をつけた中で、もっとも希望するものの番号をお書きください。

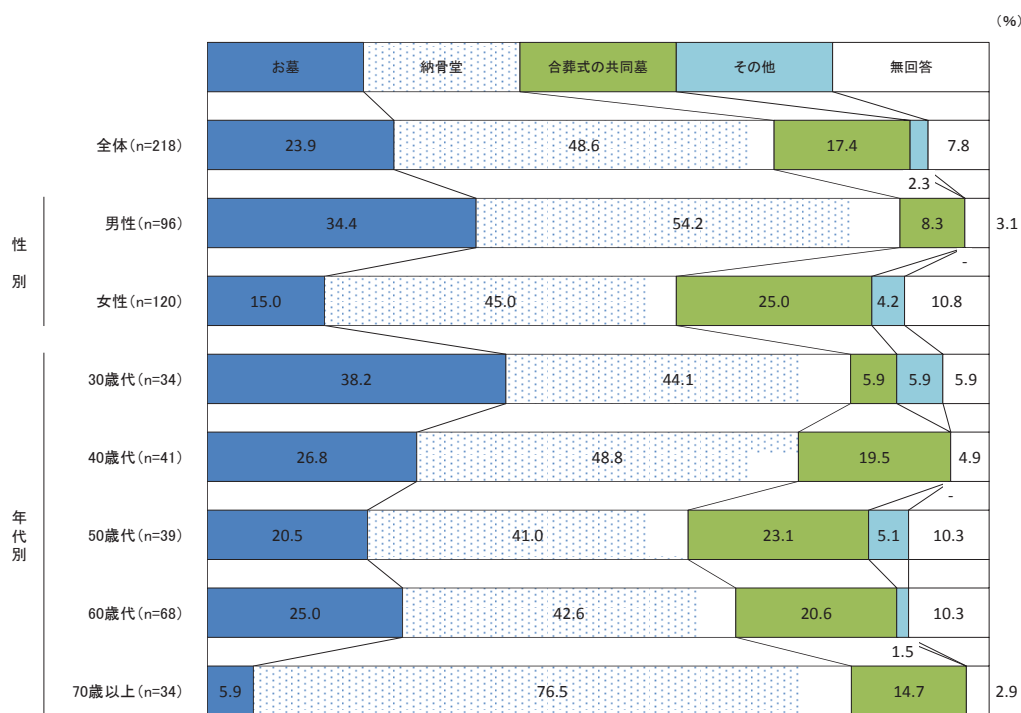
問11-8で挙げた形式の中から最も強く希望する形式を絞った質問を行ったところ、「納骨堂」が48.6%で最も多く、次いで「お墓」(23.9%)、「合葬式の共同墓」(17.4%)となっている。

性別に「お墓」「納骨堂」をみると、複数回答と同様に男性(34.4%・54.2%)が女性(15.0%・45.0%)より高くなっており、特に「お墓」では19.4ポイント高くなっている。

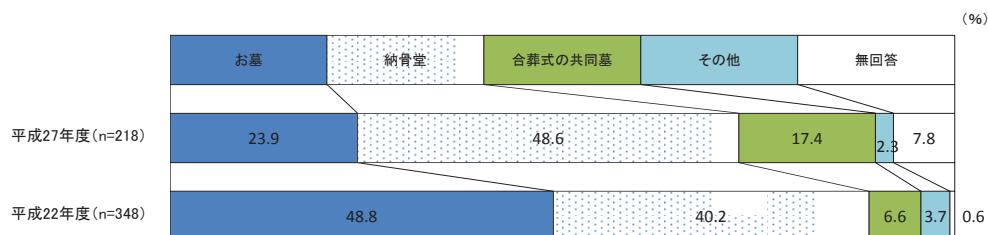
年代別に「お墓」をみると、複数回答と同様に加齢減少傾向となっている。

過去の調査結果と比較してみると、「お墓」は、平成22年度(48.8%)が平成27年度(23.9%)より高くなっている。また、「合葬式の共同墓」「納骨堂」は、平成27年度(17.4%、48.6%)が平成22年度(6.6%、40.2%)より高くなっている。

図表-2-30 墓地・納骨堂の取得について最も希望する形式【性別、年代別】



図表-2-31 墓地・納骨堂の取得について最も希望する形式【過去の調査結果との比較】



※平成22年度については、選択肢「日本の伝統的なお墓」と「芝生型のお墓」を統合して「お墓」としている。

※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 2 合葬式の共同墓の認知度

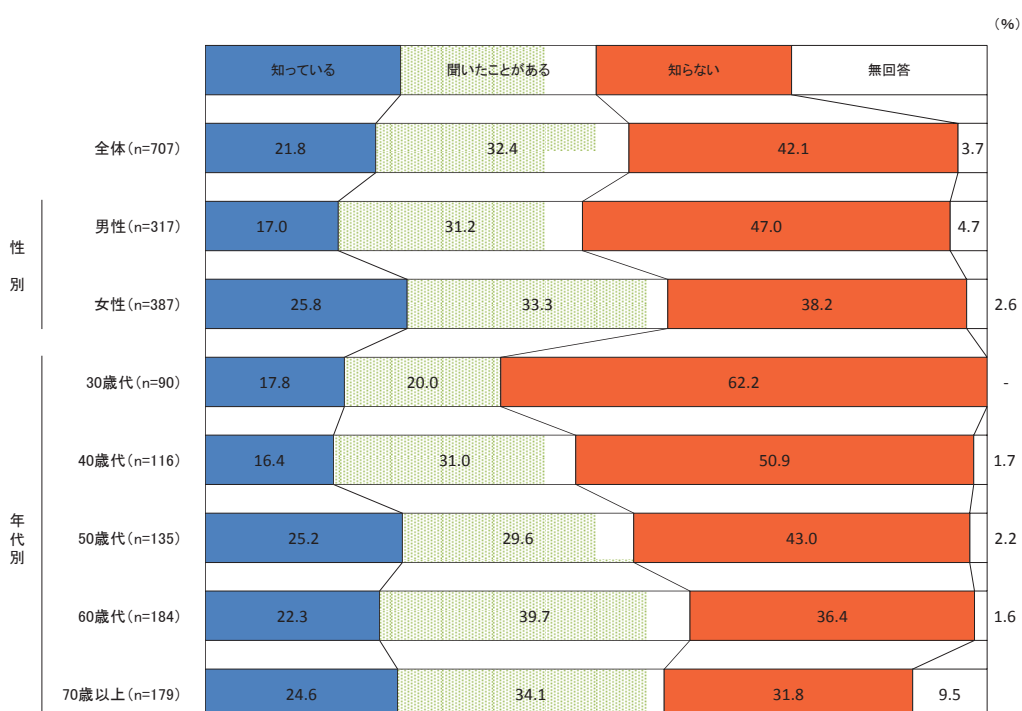
「合葬式の共同墓」を知っていますか。(○は1つだけ)

合葬式の共同墓の認知度について聞いたところ、「知らない」が42.1%で最も多く、次いで「聞いたことがある」(32.4%)、「知っている」(21.8%)となっている。また、「知っている」と「聞いたことがある」を合わせた『認知率』は54.2%となっている。

性別に『認知率』をみると、女性(59.1%)が男性(48.2%)より高くなっている。

年代別に『認知率』をみると、60歳代では62.0%と高くなっており、概ね加齢増加傾向となっている。

図表-2-32 合葬式の共同墓の認知度【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 3 合葬式の共同墓について

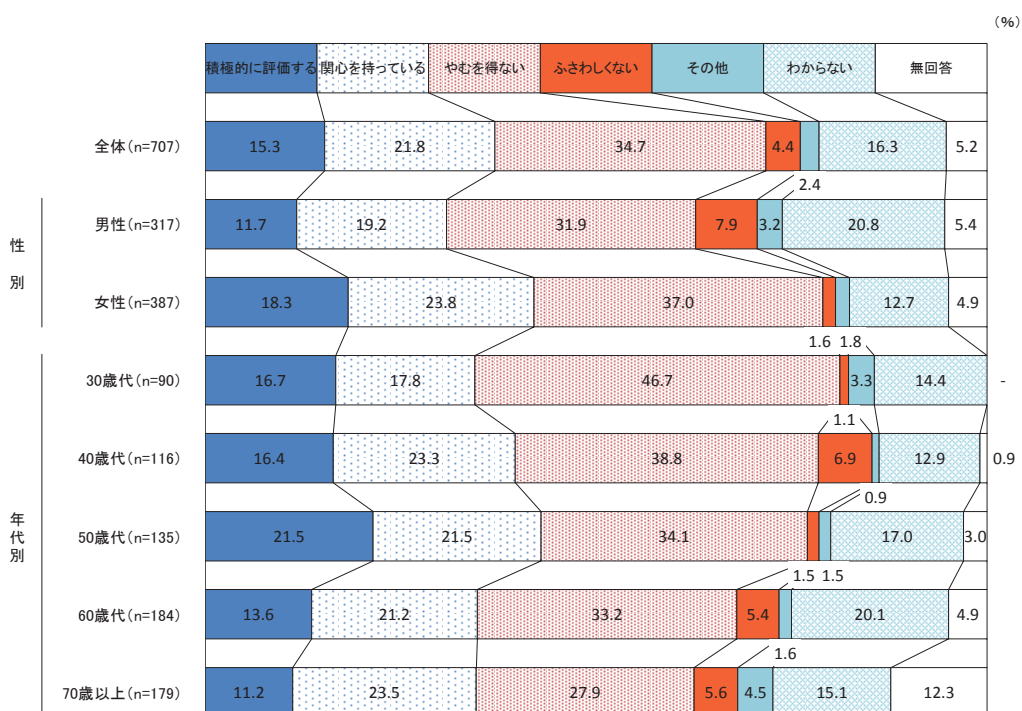
お墓を継いでくれる人がいないために「合葬式の共同墓」が考案されています。あなたはこのような「合葬式の共同墓」についてどのように考えますか。(〇は1つだけ)

合葬式の共同墓について、「やむを得ない」が34.7%で最も多く、次いで「関心を持っている」(21.8%)、「わからない」(16.3%)となっている。

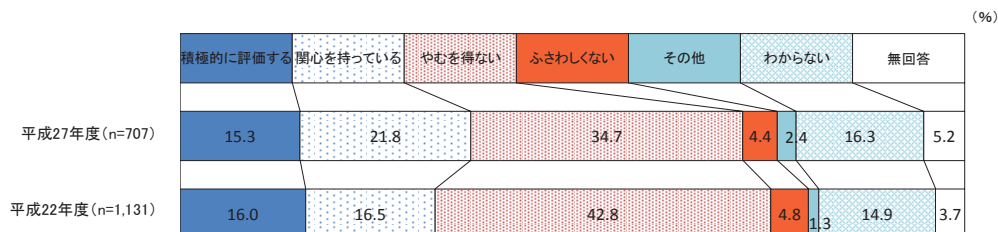
性別に「ふさわしくない」をみると、男性(7.9%)が女性(1.6%)より高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「関心を持っている」は、平成27年度(21.8%)が平成22年度(16.5%)より高くなっている。

図表-2-33 合葬式の共同墓について【性別、年代別】



図表-2-34 合葬式の共同墓について【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 3-1 合葬式の共同墓の利用希望

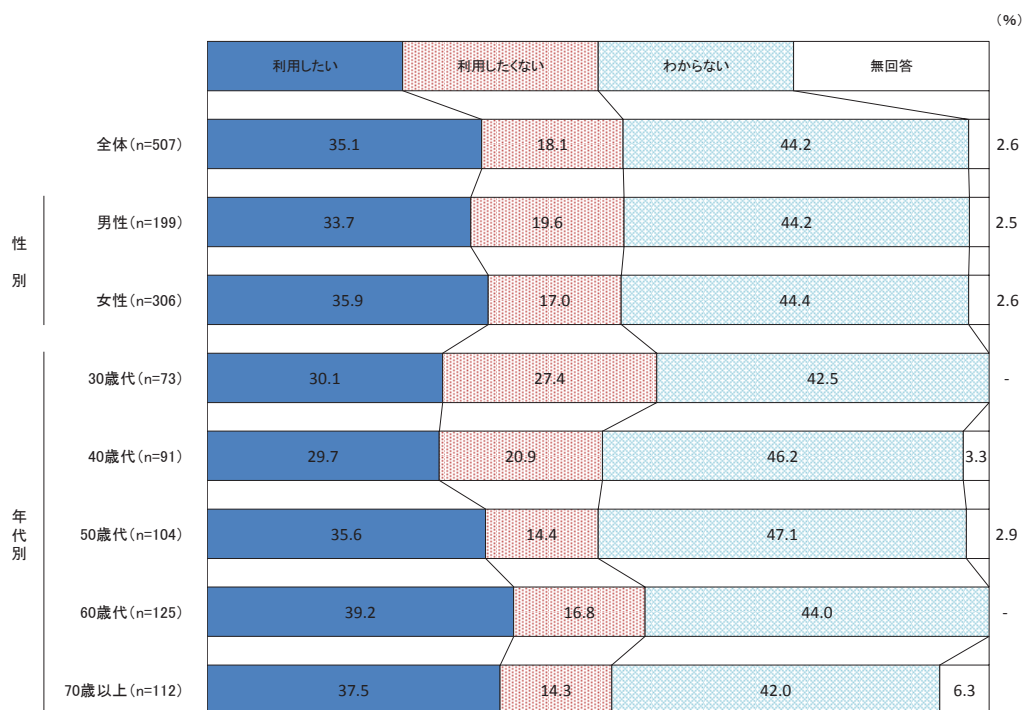
〔問 1 3 の合葬式の共同墓に肯定者のみに質問〕
 福岡市が市営の「合葬式の共同墓」を設置した場合、あなたは利用したいですか。(○は1つだけ)

問 1 3 で「積極的に評価する」「関心を持っている」「やむを得ない」と答えた 5 0 7 人に合葬式の共同墓の利用希望を聞いたところ、「わからない」が 4 4 . 2 % で最も多く、次いで「利用したい」(3 5 . 1 %)、「利用したくない」(1 8 . 1 %) となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別に「利用したくない」をみると、3 0 歳代で 2 7 . 4 % と高くなっており、概ね加齢減少傾向となっている。

図表-2-35 合葬式の共同墓の利用希望【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問13-2 合葬式の共同墓の利用を希望する理由（複数回答）

〔問13-1の合葬式の共同墓の利用希望者のみに質問〕

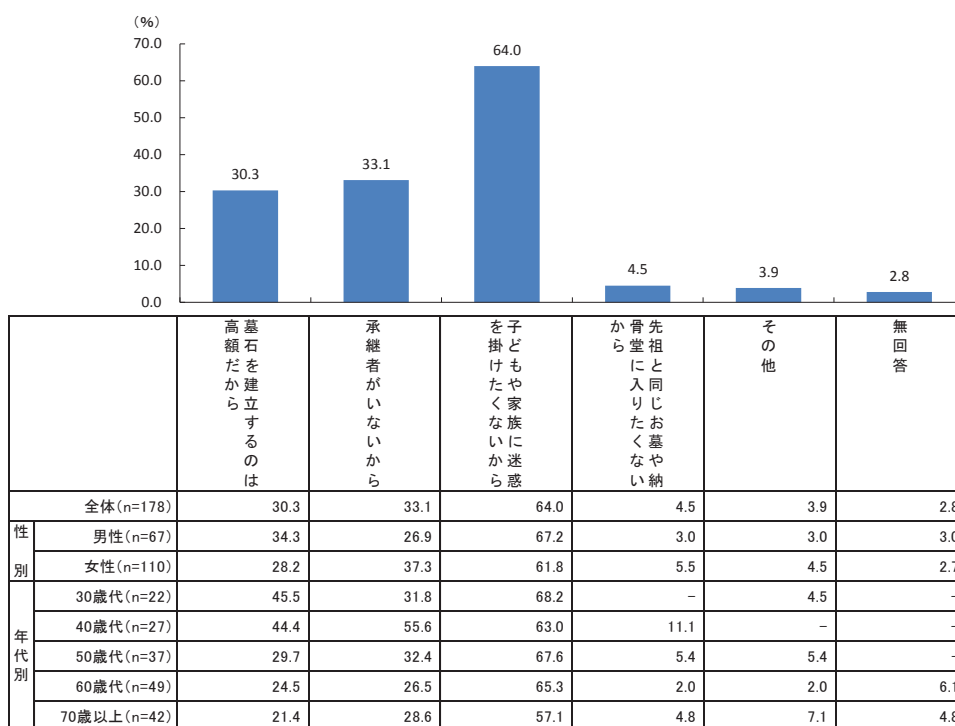
「合葬式の共同墓」を利用したい理由は何ですか。（〇はいくつでも）

問13-1で「利用したい」と答えた178人に合葬式の共同墓を利用したい理由を聞いたところ、「子どもや家族に迷惑を掛けたくないから」が64.0%で最も多く、次いで「承継者がいないから」（33.1%）、「墓石を建立するのは高額だから」（30.3%）となっている。

性別に「承継者がいないから」をみると、女性（37.3%）が男性（26.9%）より高くなっている。

年代別では、特に差異はみられない。

図表-2-36 合葬式の共同墓の利用を希望する理由【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問13-3 合葬式の共同墓の利用条件（複数回答）

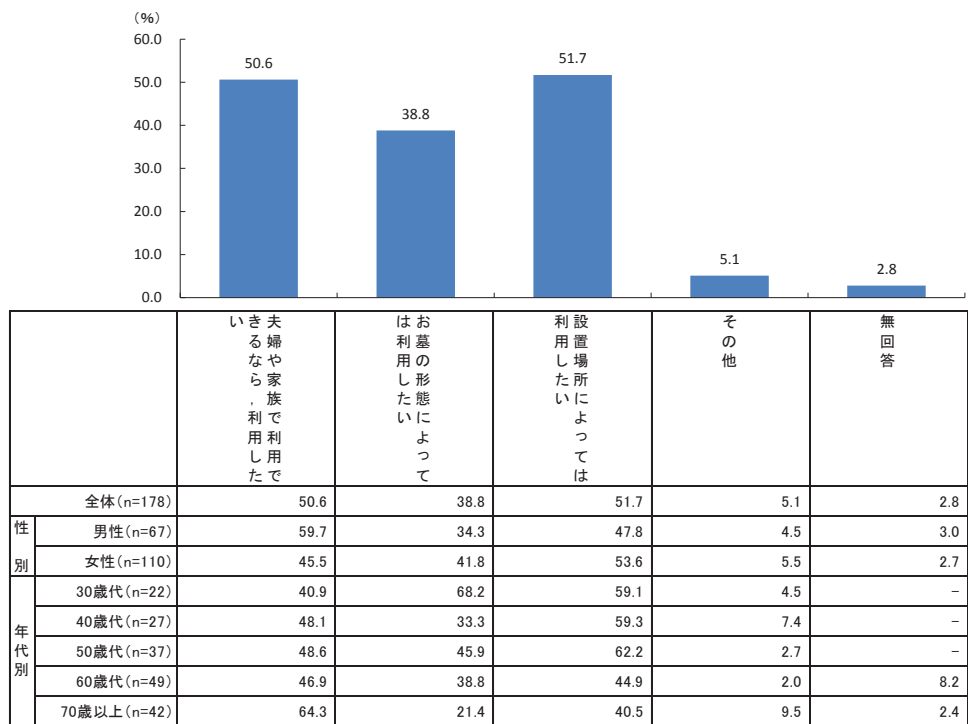
〔問13-1の合葬式の共同墓の利用希望者のみに質問〕
 「合葬式の共同墓」を利用する際の条件は何ですか。（〇はいくつでも）

問13-1で「利用したい」と答えた178人に合葬式の共同墓の利用条件を聞いたところ、「設置場所によっては利用したい」が51.7%で最も多く、次いで「夫婦や家族で利用できるなら、利用したい」（50.6%）、「お墓の形態によっては利用したい」（38.8%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表-2-37 合葬式の共同墓の利用条件【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問13-3-1 合葬式の共同墓の利用の希望形態（複数回答）

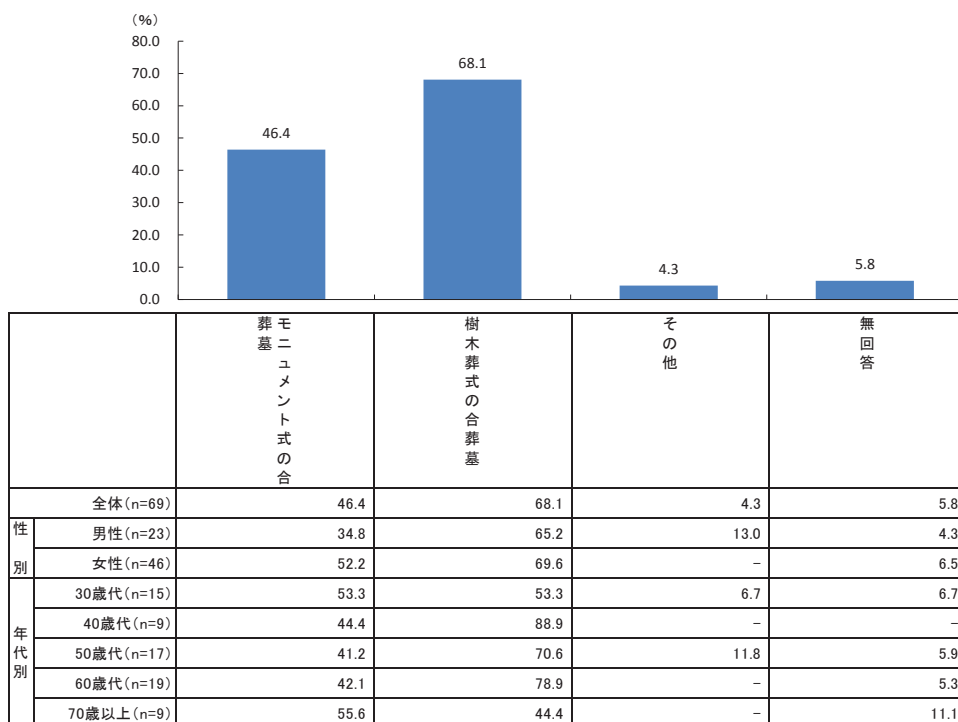
〔問13-3の合葬式の共同墓の形態によつての利用希望者のみに質問〕
 問13-3で「2」とお答えの方のみにおたずねします。（それ以外の方は、問13-3-2へお進みください。）
 「合葬式の共同墓」をどのような形態で利用したいですか。（〇はいくつでも）

問13-3で「お墓の形態によっては利用したい」と答えた69人に合葬式の共同墓の利用したい形態について聞いたところ、「樹木葬式の合葬墓」が68.1%で最も高く、次いで「モニュメント式の合葬墓」（46.4%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表-2-38 合葬式の共同墓の利用の希望形態【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 3-3-2 合葬式の共同墓の利用希望場所（複数回答）

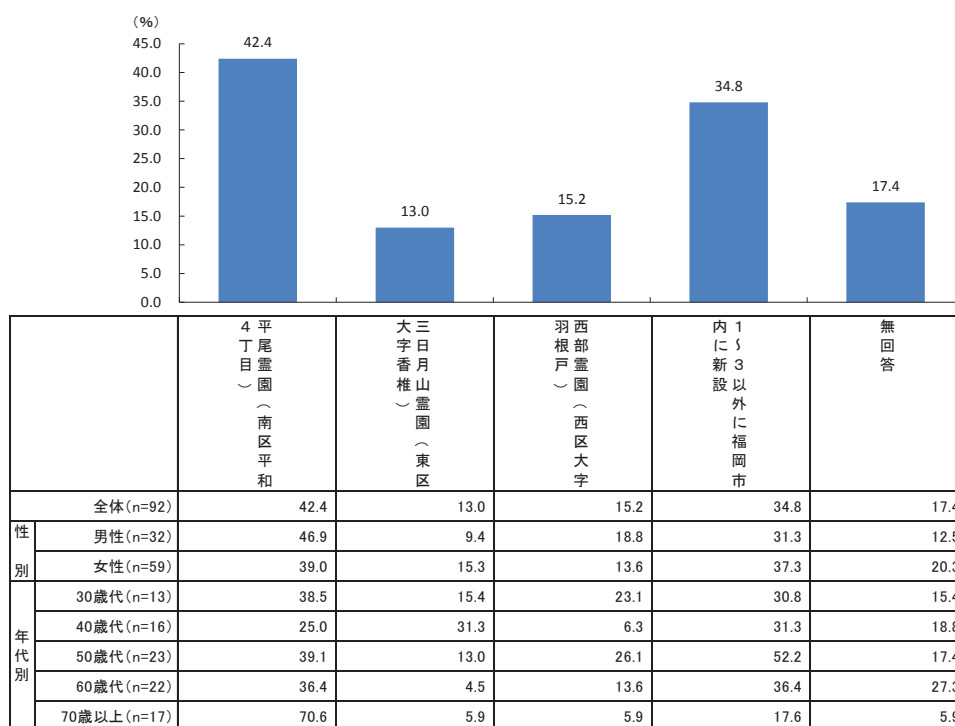
〔問 1 3-3 の合葬式の共同墓の場所によつての利用希望者のみに質問〕
 問 1 3-3 で「3」とお答えの方のみにおたずねします。（それ以外の方は、問 1 4 へお進みください。）
 「合葬式の共同墓」をどこで利用したいですか。（〇はいくつでも）

問 1 3-3 で「設置場所によっては利用したい」と答えた 92 人に合葬式の共同墓を利用したい場所について聞いたところ、「平尾霊園（南区平和 4 丁目）」が 42.4% で最も多く、次いで「1～3 以外に福岡市内に新設」（34.8%）、「西部霊園（西区大字羽根戸）」（15.2%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表－2－39 合葬式の共同墓の利用希望場所【性別、年代別】



問13-4 合葬式の共同墓を利用したくない理由（複数回答）

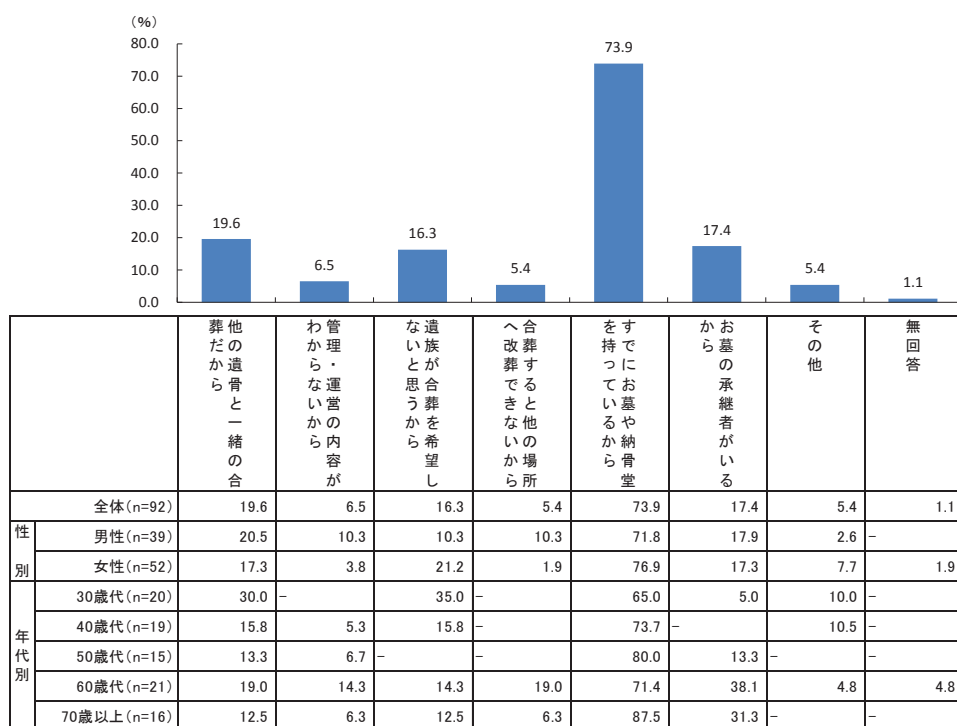
〔問13-1の合葬式の共同墓を利用したくない人だけに質問〕
 「合葬式の共同墓」を「利用したくない」という理由は何ですか。（〇はいくつでも）

問13-1で「利用したくない」と答えた92人に合葬式の共同墓を利用したくない理由を聞いたところ、「すでにお墓や納骨堂を持っているから」が73.9%で最も多く、次いで「他の遺骨と一緒に合葬だから」（19.6%）、「遺族が合葬を希望しないと思うから」（16.3%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表-2-40 合葬式の共同墓を利用したくない理由【性別、年代別】



	葬他 だの か遺 骨と 一 緒の 合	管 理 ・ 運 営 の 内 容 が	な 遺 族 が 合 葬 を 希 望 し	へ 合 葬 す る と 他 の 場 所	を す で に お 墓 や 納 骨 堂	か ら お 墓 の 承 継 者 が い る	そ の 他	無 回 答
全体(n=92)	19.6	6.5	16.3	5.4	73.9	17.4	5.4	1.1
性別								
男性(n=39)	20.5	10.3	10.3	10.3	71.8	17.9	2.6	-
女性(n=52)	17.3	3.8	21.2	1.9	76.9	17.3	7.7	1.9
年代別								
30歳代(n=20)	30.0	-	35.0	-	65.0	5.0	10.0	-
40歳代(n=19)	15.8	5.3	15.8	-	73.7	-	10.5	-
50歳代(n=15)	13.3	6.7	-	-	80.0	13.3	-	-
60歳代(n=21)	19.0	14.3	14.3	19.0	71.4	38.1	4.8	4.8
70歳以上(n=16)	12.5	6.3	12.5	6.3	87.5	31.3	-	-

※図表上の「-」については、0.0を表す。

問14 散骨について

海や山へ遺骨をまく、いわゆる散骨が話題になっています。あなたは散骨についてどのように考えますか。(〇は1つだけ)

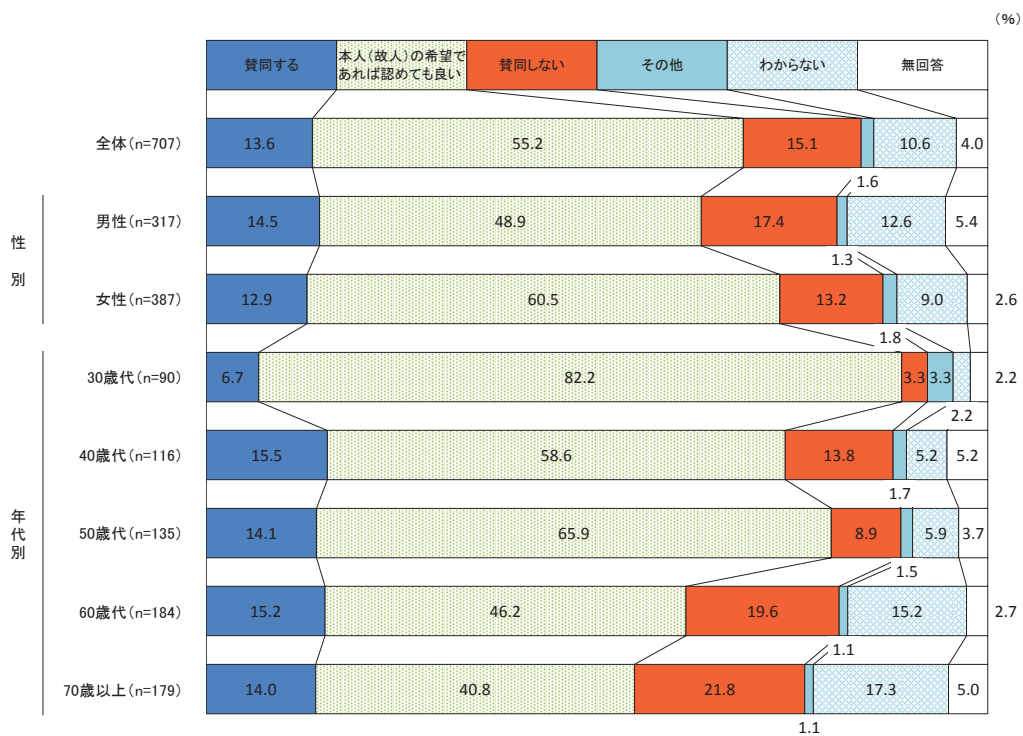
散骨について聞いたところ、「本人（故人）の希望であれば認めても良い」が55.2%で最も多く、次いで「賛同しない」（15.1%）、「賛同する」（13.6%）となっている。また、「賛同する」と「本人（故人）の希望であれば認めても良い」を合わせた『散骨に対する許容度』は68.8%となっている。

性別に『散骨に対する許容度』をみると、女性（73.4%）が男性（63.4%）より高くなっている。

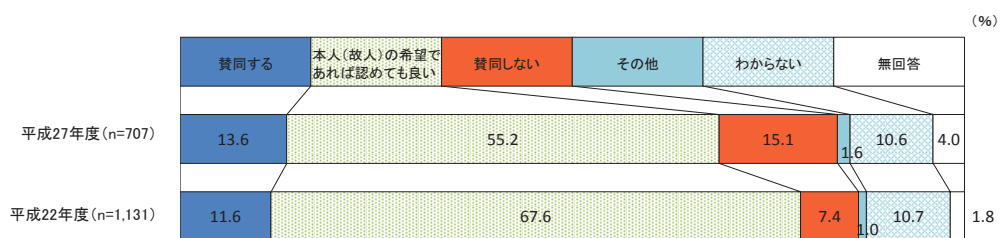
年代別に『散骨に対する許容度』をみると、30歳代で88.9%と高くなっており、概ね加齢減少傾向となっている。また、「わからない」をみると、60歳代（15.2%）・70歳以上（17.3%）で高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、『散骨に対する許容度』は、平成22年度（79.2%）が平成27年度（68.8%）より高くなっている。また、「賛同しない」は、平成27年度（15.1%）が平成22年度（7.4%）より高くなっている。

図表-2-41 散骨について【性別、年代別】



図表－２－４２ 散骨について【過去の調査結果との比較】



※平成22年度については、選択肢「賛同する」は「認めるべきである」、「賛同しない」は「認めるべきではない」となっている。

問14-1 自身の散骨の希望

〔問14の散骨について肯定者のみに質問〕
 あなたご自身が散骨によって葬られることを希望しますか。(〇は1つだけ)

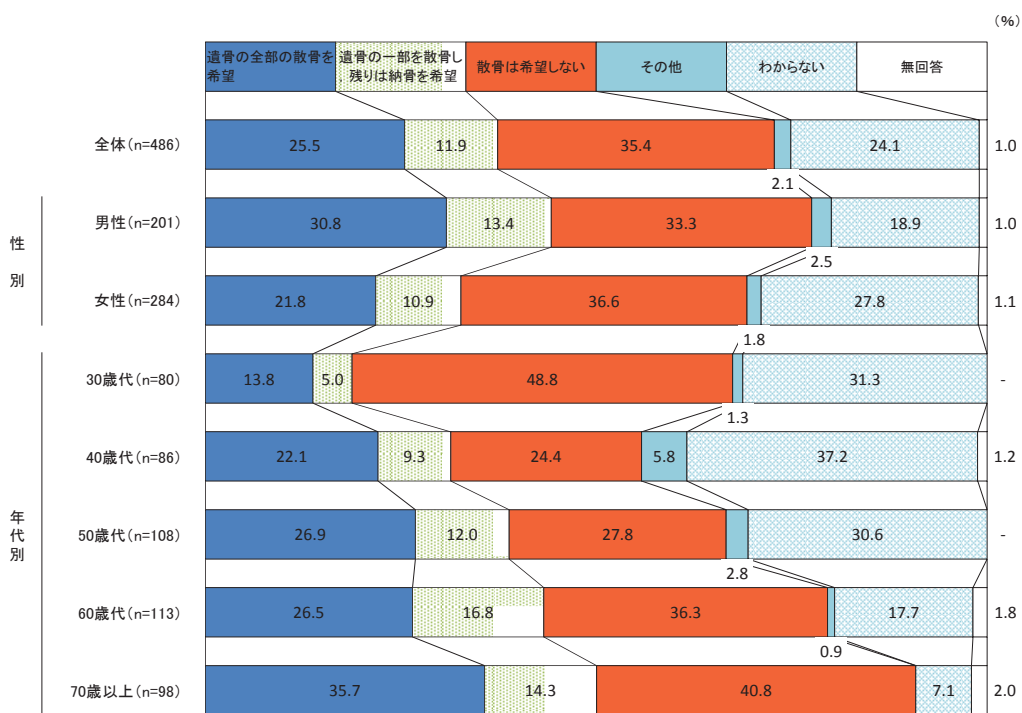
問14で「賛同する」「本人(故人)の希望であれば認めても良い」と答えた486人に自身の散骨の希望を聞いたところ、「散骨は希望しない」が35.4%で最も多く、次いで「遺骨の全部の散骨を希望」(25.5%)、「わからない」(24.1%)となっている。

性別では、特に差異はみられない。

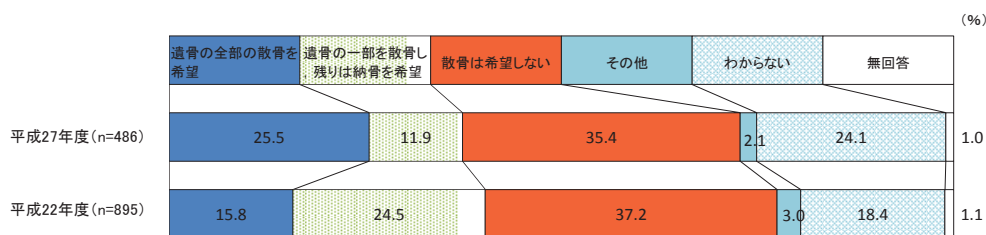
年代別に「散骨は希望しない」をみると、30歳代では48.8%、「遺骨の全部の散骨を希望」をみると、70歳以上では35.7%となっており、他の年代に比べて高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「遺骨の全部の散骨を希望」は、平成27年度(25.5%)が平成22年度(15.8%)より高くなっている。一方、「遺骨の一部を散骨し、残りは納骨を希望」は、平成22年度(24.5%)が平成27年度(11.9%)より高くなっている。

図表-2-43 自身の散骨の希望【性別、年代別】



図表-2-44 自身の散骨の希望【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問14-2 散骨の希望場所

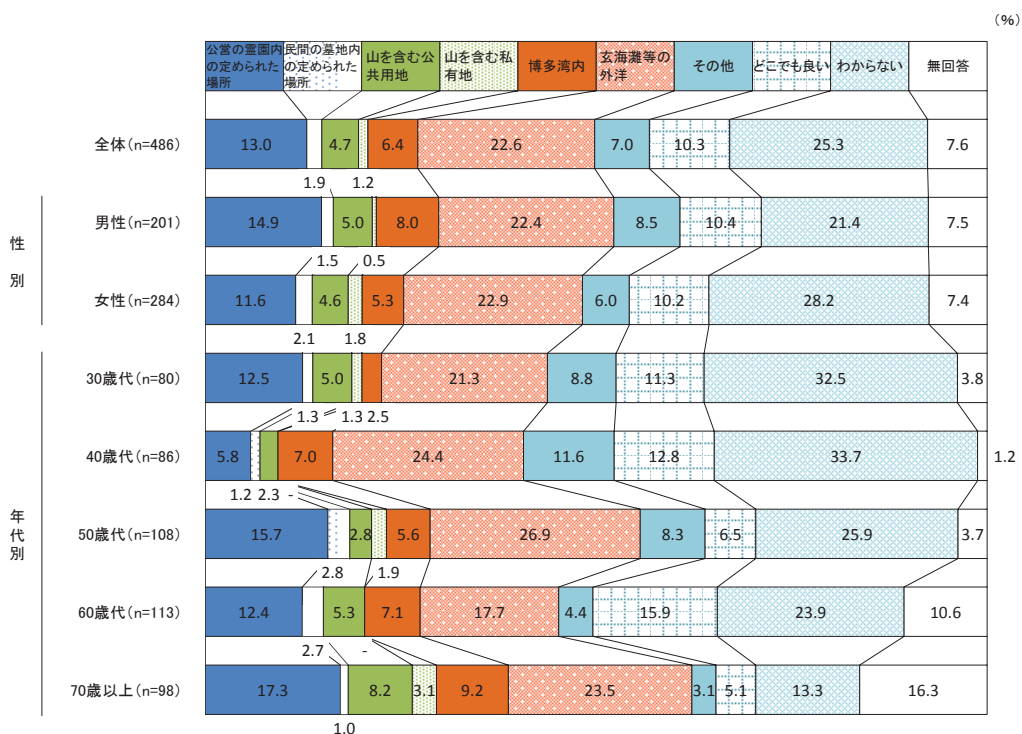
〔問14の散骨について肯定者のみに質問〕
 あなたは散骨する場所についてどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

問14で「賛同する」「本人(故人)の希望であれば認めてもいい」と答えた486人に散骨の希望場所を聞いたところ、「わからない」が25.3%で最も多く、次いで「玄界灘等の外洋」(22.6%)、「公営の霊園内の定められた場所」(13.0%)となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表-2-45 散骨の希望場所【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問15 墓地・納骨堂の問題の有無

あなたは現在、お墓や納骨堂について何か問題を感じていますか。(〇は1つだけ)

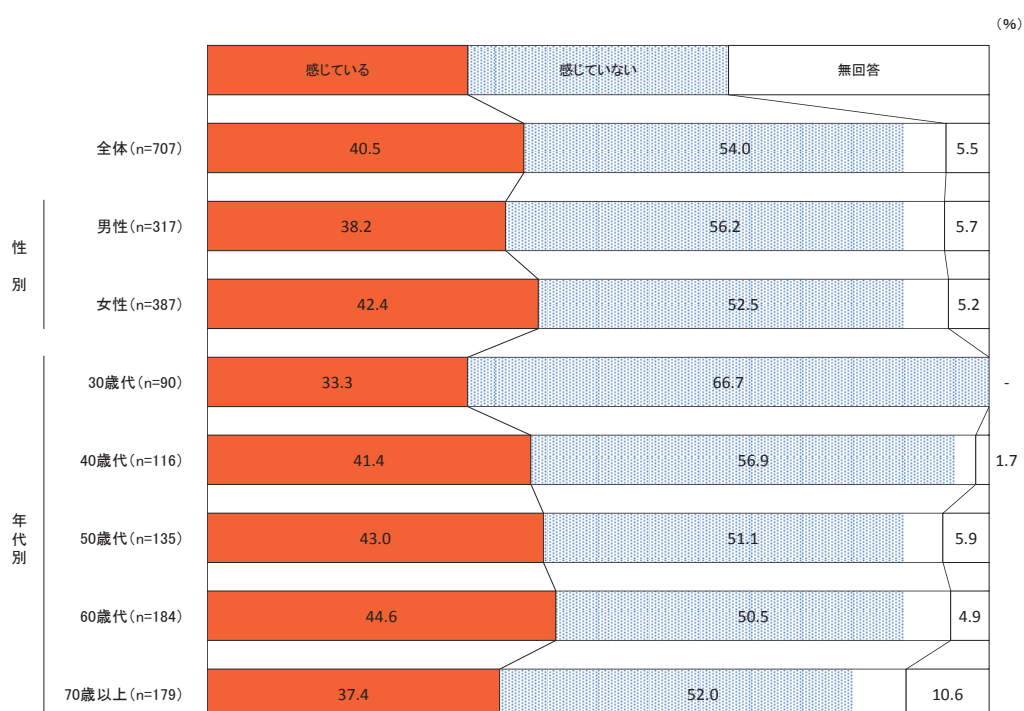
墓地・納骨堂の問題の有無について聞いたところ、「感じていない」が54.0%、「感じている」は40.5%となっている。

性別では、特に差異はみられない。

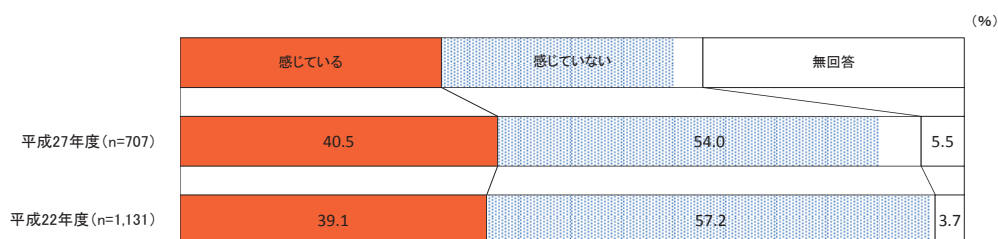
年代別に「感じている」をみると、40歳代(41.4%)・50歳代(43.0%)・60歳代(44.6%)で高くなっている。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-46 墓地・納骨堂の問題の有無【性別、年代別】



図表-2-47 墓地・納骨堂の問題の有無【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問15-1 墓地・納骨堂の問題点（複数回答）

〔問15の墓地・納骨堂に問題を感じている人のみに質問〕
それはどのような問題ですか。（〇はいくつでも）

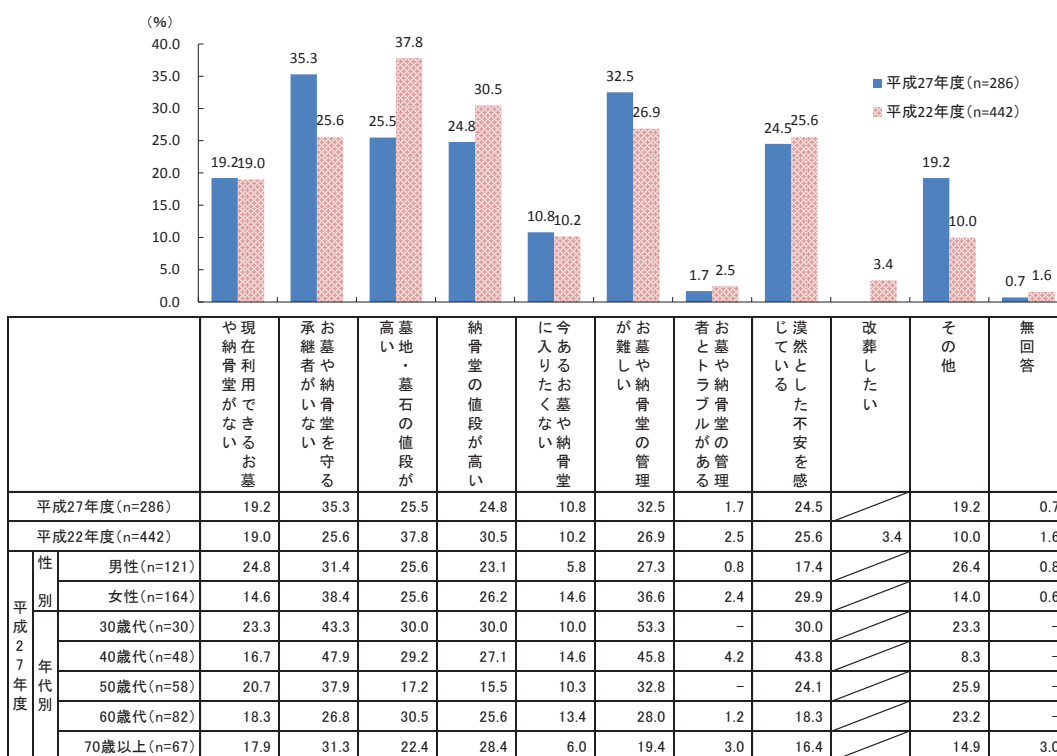
問15で「感じている」と答えた286人に墓地・納骨堂の問題点について聞いたところ、「お墓や納骨堂を守る承継者がいない」が35.3%で最も多く、次いで「お墓や納骨堂の管理が難しい」（32.5%）、「墓地・墓石の値段が高い」（25.5%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別に「お墓や納骨堂の管理が難しい」をみると、40歳代（45.8%）等で他の年代に比べて高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「お墓や納骨堂を守る承継者がいない」は、平成27年度（35.3%）が平成22年度（25.6%）より高くなっている。一方、「墓地・墓石の値段が高い」「納骨堂の値段が高い」は、平成22年度（37.8%、30.5%）が平成27年度（25.5%、24.8%）より高くなっている。

図表-2-48 墓地・納骨堂の問題点【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※選択肢「改葬したい」は、平成22年度のみ。

※図表上の「-」については、0.0を表す。

問16 墓地・納骨堂に関して福岡市に求めるもの（複数回答）

あなたがお墓や納骨堂に関し、福岡市に求めるものは何ですか。（〇はいくつでも）

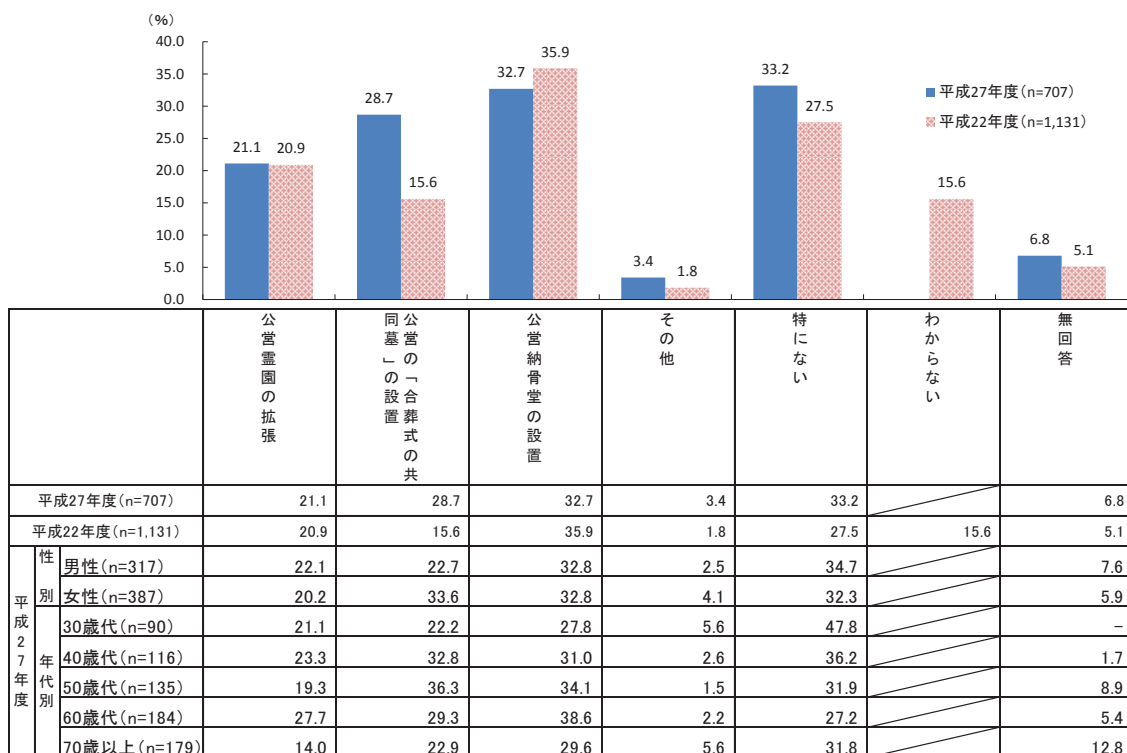
墓地・納骨堂に関して福岡市に求めるものについて、「特にない」が33.2%で最も多く、次いで「公営納骨堂の設置」（32.7%）、「公営の「合葬式の共同墓」の設置」（28.7%）となっている。

性別に「公営の「合葬式の共同墓」の設置」をみると、女性（33.6%）が男性（22.7%）より高くなっている。

年代別に「特にない」をみると、30歳代では47.8%となっており、他の年代に比べて高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「公営の「合葬式の共同墓」の設置」は、平成27年度（28.7%）が平成22年度（15.6%）より高くなっている。

図表-2-49 墓地・納骨堂に関して福岡市に求めるもの【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※選択肢「わからない」は、平成22年度のみ。

※図表上の「-」については、0.0を表す。

第3章 福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査

第3章 福岡市・墓地納骨堂に関する経営者アンケート調査

1 調査概要

(1) アンケートの目的

この調査は、福岡市で墓地・納骨堂を経営する法人及び本市と生活圏を共にする近郊の市町において一定規模以上の墓地・納骨堂を経営する法人を対象に、供給実態を把握することを目的として実施した。なお、一定規模以上の墓地・納骨堂を対象としたのは、概要把握という調査の目的による。

(2) 調査時期 : 調査票発送 平成27年6月8日 回収締切 平成27年6月21日

(3) 調査の対象 : 総発送数 388法人

○福岡市内において墓地・納骨堂を経営する法人 275

(市内で許可を受けて経営する法人。平尾霊園・三日月山霊園・西部霊園の3ヶ所の区画数を加算し集計を行った。)

○福岡市近郊において墓地・納骨堂を経営する法人 113

(福岡市近郊において・墓地を経営する法人とは、300区画若しくは1,000㎡以上の営業規模を持つもの、または納骨堂100壇以上の経営規模をもつもの。但し、自治体が経営するものを除く。)

※福岡市近郊の市町（以下を市外と記す）とは、生活圏を共にする地域で、本市から交通機関を用いて概ね1時間程度で到達できる市町を言う。

(対象市町)

筑紫地区：筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川町

宗像地区：宗像市・福津市

粕屋地区：古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町

糸島地区：糸島市

(4) 調査方法 : 郵送による送付・回収

(5) 調査票 : 別添 (P113～119)

(6) 回収数 : 発送数388に対し、有効回収数(サンプル数)は230、有効回収率は59.3%であった。

(7) 集計・分析 : 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所

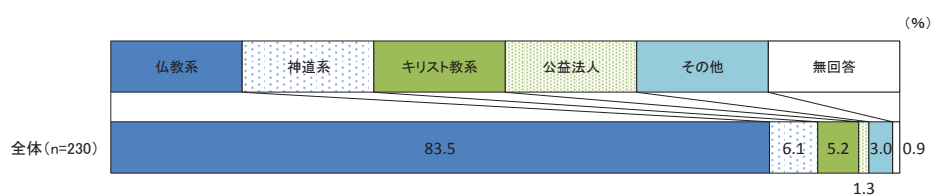
2 経営者用アンケートの分析結果

【1 共通事項】

■ 団体の種別は「仏教系」が8割強

アンケートに回答した230法人に対し、団体の種別を尋ねたところ、「仏教系」が192法人の83.5%と最も多く、次いで「神道系」が14法人の6.1%、「キリスト教系」が12法人の5.2%となっている。【問1】

図表－3－1 団体の種別

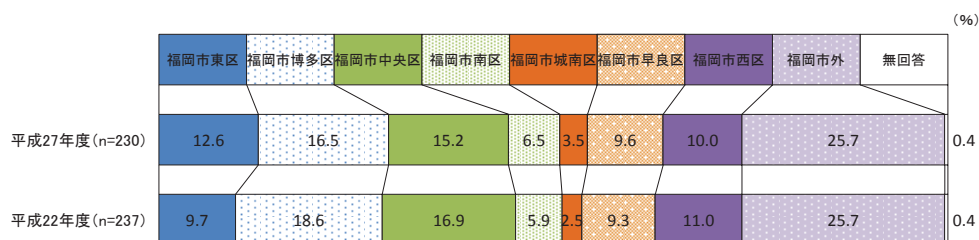


■ 団体の所在地は「福岡市内」が7割強、「市外」が3割弱

アンケートに回答した230法人に対し、所在地を尋ねたところ、「福岡市外」が59法人の25.7%、次いで「福岡市博多区」が38法人の16.5%、「福岡市中央区」が35法人の15.2%となっている。また、福岡市の7区を合わせた「市内」は170法人の73.9%となっている。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。【問2】

図表－3－2 団体の所在地【過去の調査結果との比較】



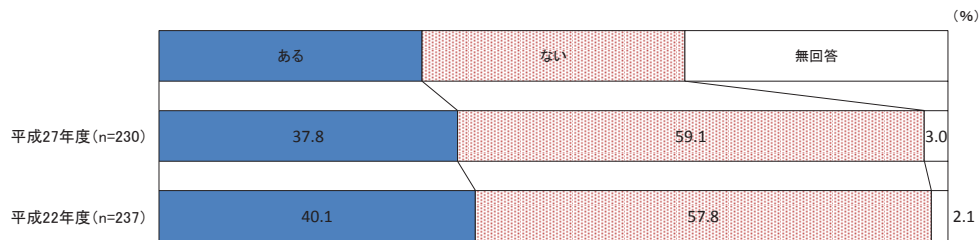
【2 墓地に関する事項】

■ 墓地が「ある」は4割弱、「ない」は6割弱

アンケートに回答した230法人に対し、所有墓地の有無を尋ねたところ、墓地が「ある」は87法人の37.8%、墓地が「ない」は136法人の59.1%となっている。

過去の調査結果と比較しても、特に差異はみられない。【問3】

図表－3－3 墓地の有無【過去の調査結果との比較】

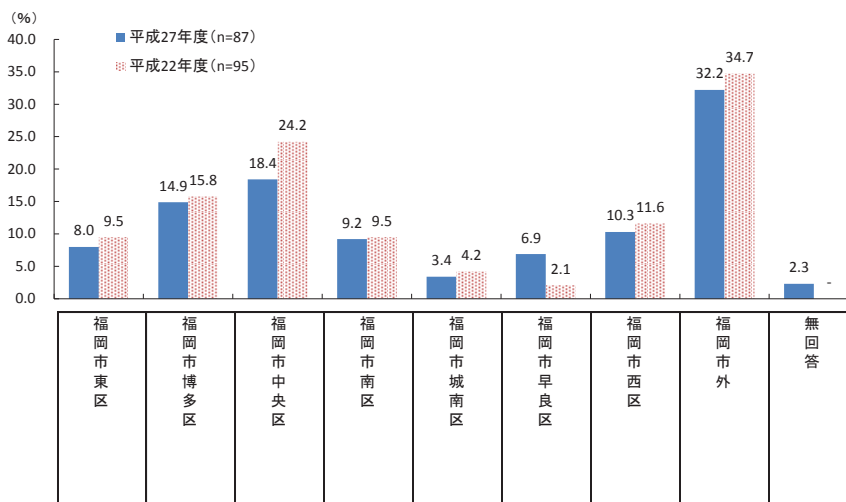


■ 墓地の所在地は「市外」が3割強

問3で墓地があると回答した87法人に対し、墓地の所在地を尋ねたところ、「市外」が28法人の32.2%と最も多く、次いで「福岡市中央区」が16法人の18.4%、「福岡市博多区」が13法人の14.9%となっている。

過去の調査結果と比較してみると、「福岡市中央区」は、平成22年度（24.2%）が平成27年度（18.4%）より高くなっている。【問3－1】

図表－3－4 墓地の所在地(複数回答)【過去の調査結果との比較】

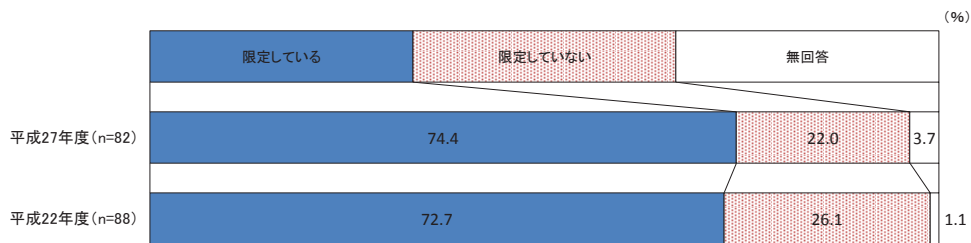


■ 墓地の利用を檀家（自宗派）に「限定している」が7割強

問3で墓地があると回答した87法人うち、宗教団体82法人に対し、檀家（自宗派）を限定して利用させているか尋ねたところ、「限定している」が61法人の74.4%、「限定していない」が18法人の22.0%となっている。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。【問3-2】

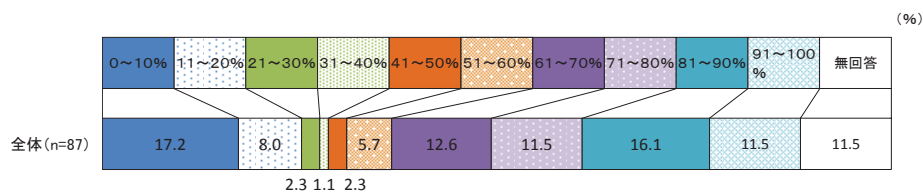
図表-3-5 墓地利用者の限定【過去の調査結果との比較】



■ 墓地の福岡市内居住者の利用割合は「51～100%」が6割弱

問3で墓地があると回答した87法人に対し、福岡市内居住者の利用割合を尋ねたところ、「0～10%」が15法人の17.2%と最も多く、次いで「81～90%」が14法人の16.1%、「61～70%」が11法人の12.6%となっている。また、「0～50%」は27法人の30.9%、「51～100%」は50法人の57.4%となっている。【問3-3】

図表-3-6 墓地利用者の福岡市内居住者の割合



- 回答が得られた法人によって供給される墓地の区画合計数は84,185区画
- 大規模墓地を持つ12法人が、全体の9割弱に相当する73,570区画を保有

問3で墓地があると回答した87法人に対し、保有する墓地の区画数を尋ねたところ、73法人から回答が得られた。73法人によって供給される墓地の区画合計数は84,185区画となっている。平均値は1,153.2区画、中央値は170区画となっている。また、最小値は1区画、最大値は14,000区画となっている。1,000区画以上の大規模墓地は12法人で、16.4%に相当した。

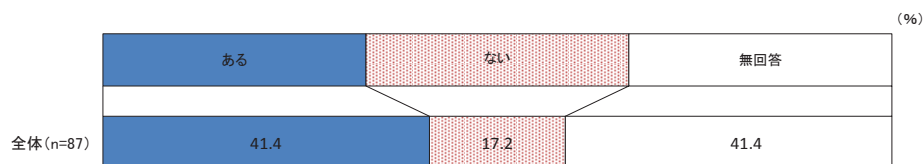
大規模墓地を持つ法人は、2割弱となっているが、保有する区画数の合計は73,570区画と全体の9割弱を占めた。福岡都市圏における墓地の供給は大規模墓地によりそのほとんどが供給されていることがわかる。【問3-4】

- 回答が得られた法人の無縁化墓地の区画合計数は765区画
- 無縁化した区画は少ない

問3で墓地があると回答した87法人に対し、無縁化した墓地の区画数を尋ねたところ、51法人から回答が得られた。そのうち36法人が無縁化墓地を1区画以上あると回答した。

無縁化墓地があると回答した36法人の無縁化墓地の区画合計数は765区画となっている。平均値は21.3区画、中央値は8区画となっている。また、最小値は1区画、最大値は200区画となっている。問3-4で得られた墓地の区画合計数84,185に占める無縁化率は0.9%となっている。【問3-4-1】

図表-3-7 無縁化墓地の有無



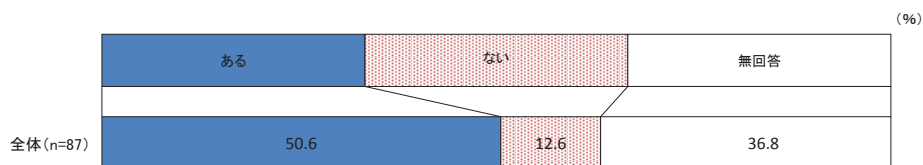
■ 回答が得られた法人の未使用墓地の区画合計数は18,745区画

問3で墓地があると回答した87法人に対し、未使用墓地の区画数を尋ねたところ、55法人から回答が得られた。そのうち44法人が未使用墓地を1区画以上あると回答した。

未使用墓地があると回答した44法人の未使用墓地の区画合計数は18,745区画となっている。平均値は426.0区画、中央値は13区画となっている。また、最小値は1区画、最大値は4,550区画となっている。

未使用区画数18,745と無縁化区画数765の合計19,510区画が供給能力と考えられ、問3-4で得られた墓地の区画合計数84,185に占める割合は23.2%となっている。【問3-4-1】

図表-3-8 未使用墓地の有無



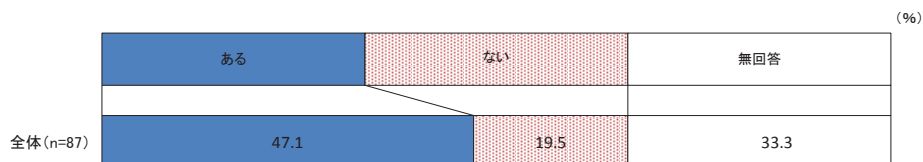
■ 回答が得られた法人の合祀用墓地の区画合計数は894区画

問3で墓地があると回答した87法人に対し、合祀用墓地の区画数を尋ねたところ、58法人からの回答が得られた。そのうち41法人が合祀用墓地を1区画以上あると回答した。

合祀用墓地があると回答した41法人の合祀用墓地の区画合計数は894区画となっている。平均値は21.8区画、中央値は1区画となっている。また、最小値は1区画、最大値は620区画となっている。

【問3-4-1】

図表-3-9 合祀用墓地の有無



■ 未使用区画のうち、市民が使用すると考えられる区画数は7,291区画

未使用区画（＝未使用区画数＋無縁化区画数）のうち、市民が使用すると考えられる区画数を以下のように算出した。

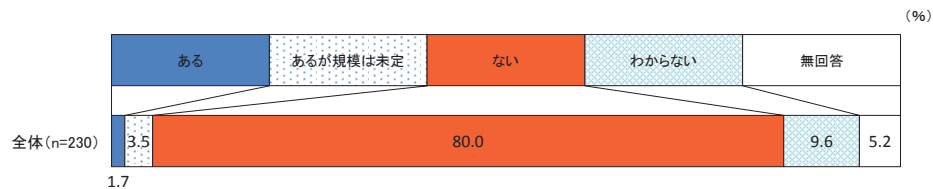
各法人の持つ未使用区画のうち今後市民が使用する割合は、すでにその法人における使用区画数に占める市民の使用区画数割合と同様とみなし、各法人毎の未使用区画と無縁区画の和に市民の使用割合を乗じた後、合計した。その市民使用区画数合計は7,291区画となっている。

■ 墓地の新設・拡張予定は「ない」が8割

アンケートに回答した230法人に対し、墓地の新設または拡張予定の有無を尋ねたところ、「ない」が184法人で80.0%と最も多く、次いで「わからない」が22法人の9.6%、「あるが規模は未定」が8法人の3.5%となっている。また、「ある」は4法人の1.7%となっている。

「ある」と回答した人に具体的な区画数を尋ねたところ、新設・拡張予定区画合計数は1,841区画となっている。【問4】

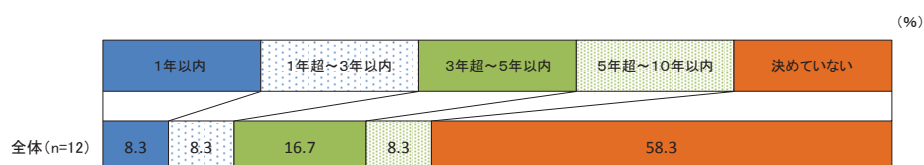
図表－3－10 墓地の新設・拡張予定の有無



■ 墓地の新設・拡張の予定時期は「決めていない」が6割弱

問4で墓地を新設・拡張予定があると回答した12法人に対し、予定している時期を尋ねたところ、「決めていない」が7法人で58.3%と最も多く、次いで「3年超～5年以内」が2法人で16.7%、「1年以内」「1年超～3年以内」「5年超～10年以内」が1法人で8.3%となっている。【問4－1】

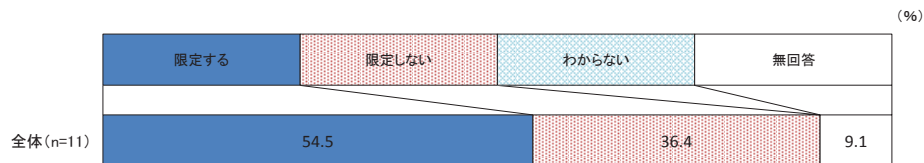
図表－3－11 墓地の新設・拡張予定時期



■ 新設・増設墓地の利用は檀家（自宗派）を「限定する」が5割強

問4で墓地を新設・拡張予定があると回答した12法人のうち、宗教団体11法人に対し、檀家（自宗派）を限定して利用させているか尋ねたところ、「限定する」が6法人の54.5%、次いで「限定しない」が4法人の36.4%となっている。【問4-2】

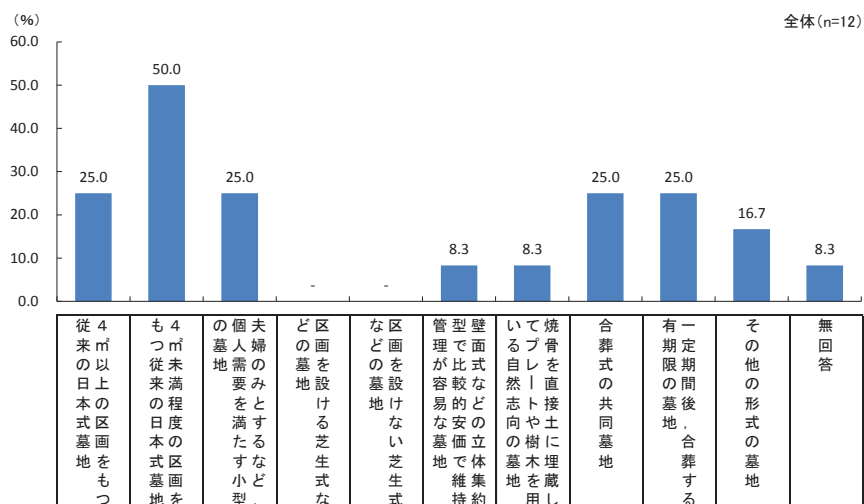
図表-3-12 新設・増設墓地利用者の限定



■ 新設・増設墓地は「4㎡未満程度の区画をもつ従来の日本式墓地」が5割

問4で墓地を新設・拡張予定があると回答した12法人に対し、どのような墓地の建設を計画しているか尋ねたところ、「4㎡未満程度の区画をもつ従来の日本式墓地」が6法人の50.0%と最も多く、次いで「4㎡以上の区画をもつ従来の日本式墓地」「夫婦のみとするなど個人需要を満たす小型の墓地」「合葬式の共同墓地」「一定期間後、合葬する有期限の墓地」がそれぞれ3法人の25.0%となっている。【問4-3】

図表-3-13 新設・増設計画の内容(複数回答)



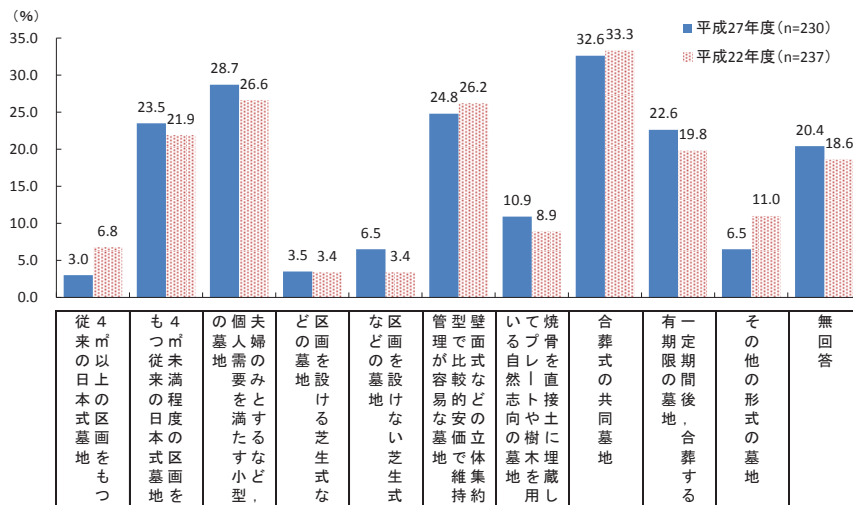
※図表上の「-」については、0.0を表す。

■ 今後求められると思うものは「合葬式の共同墓地」が3割強

アンケートに回答した230法人に対し、今後求められる墓地の形態を尋ねたところ、「合葬式の共同墓地」が75法人の32.6%と最も多く、次いで「夫婦のみとするなど個人需要を満たす小型の墓地」が66法人の28.7%、「壁面式などの立体集約型で比較的安価で維持管理が容易な墓地」が57法人の24.8%となっている。

過去の調査結果との比較をみても、特に差異はみられない。【問5】

図表-3-14 今後求められると思うもの(複数回答)【過去の調査結果との比較】



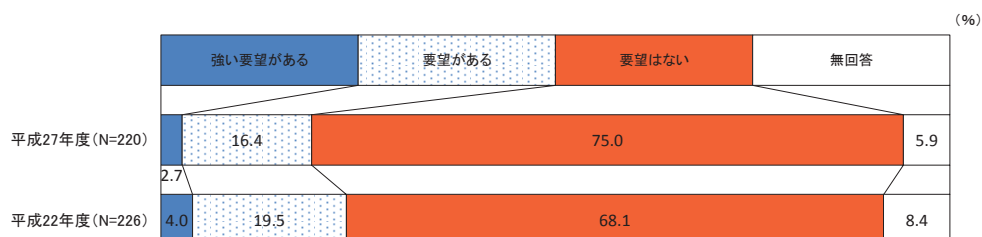
■ 檀家（自宗派）からの新設・拡張の「要望はない」が7割強

■ 「要望がある」は平成27年度が平成22年度より低い

アンケートに回答した230法人のうち、宗教団体220法人に対し、檀家（自宗派）から墓地の新設・拡張の要望があるか尋ねたところ、「要望はない」が165法人の75.0%と最も多く、次いで「要望がある」が36法人の16.4%、「強い要望がある」が6法人の2.7%となっている。

過去の調査結果と比較すると、『要望がある』（＝「強い要望がある」＋「要望がある」）は、平成22年度（23.5%）が平成27年度（19.1%）より高くなっている。また、「要望はない」は、平成27年度（75.0%）が平成22年度（68.1%）より高くなっている。【問6】

図表-3-15 新設・拡張の要望【過去の調査結果との比較】



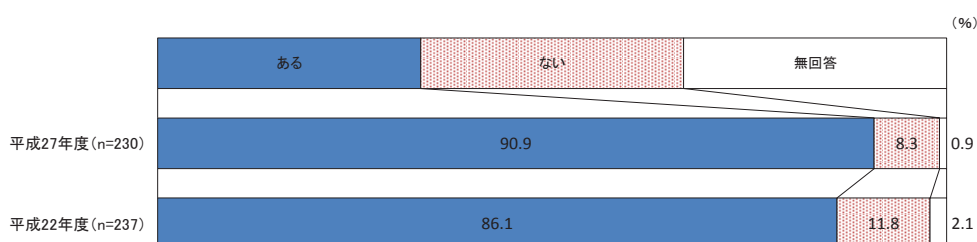
【3 納骨堂に関する事項】

- 納骨堂が「ある」は9割強、「ない」は1割未満
- 納骨堂が「ある」は平成27年度が平成22年度より高くなっている。

アンケートに回答した230法人に対し、所有納骨堂の有無を尋ねたところ、「ある」が209法人の90.9%、「ない」が19法人の8.3%となっている。

過去の調査結果と比較してみると、「ある」は、平成27年度（90.9%）が平成22年度（86.1%）より高くなっている。【問7】

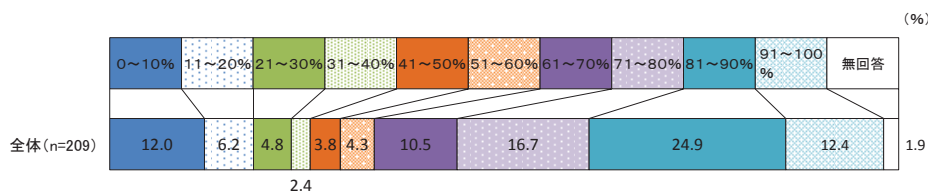
図表－3－16 納骨堂の有無【過去の調査結果との比較】



- 納骨堂の福岡市内居住者の利用割合は「51～100%」が7割弱

問7で納骨堂があると回答した209法人に対し、福岡市内居住者の利用割合を尋ねたところ、「81～90%」が52法人の24.9%と最も多く、次いで「71～80%」が35法人の16.7%、「91～100%」が26法人の12.4%となっている。また、「0～50%」は61法人の29.2%、「51～100%」は144法人の68.8%となっている。【問7-1】

図表－3－17 納骨堂利用者の福岡市内居住者の割合



■ 回答が得られた法人によって供給される納骨堂の合計壇数は79,893壇

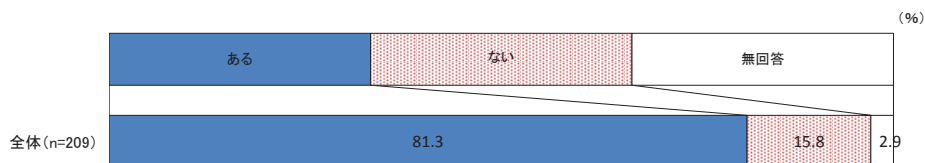
問7で納骨堂があると回答した209法人に対し、保有する納骨堂の壇数を尋ねたところ、204法人から回答が得られた。204法人によって供給される納骨堂の壇合計数は79,893壇となっている。平均値は391.6壇、中央値が280壇となっている。また、最小値は1壇、最大値は6,433壇となっている。1,000壇以上もの納骨堂を持つ法人は8法人で、21,216壇保有している。【問7-2】

■ 回答が得られた法人の未使用の納骨堂の壇合計数は16,587壇

問7で納骨堂があると回答した209法人に対し、未使用の納骨堂の壇数を尋ねたところ、203法人から回答が得られた。そのうち170法人が未使用の納骨堂が1区画以上あると回答した。

未使用の納骨堂があると回答した170法人の未使用の納骨堂の壇合計数は16,587壇となっている。平均値は97.6壇、中央値は30壇となっている。また、最小値は1壇、最大値は1,433壇となっている。【問7-3】

図表-3-18 未使用の納骨堂の有無

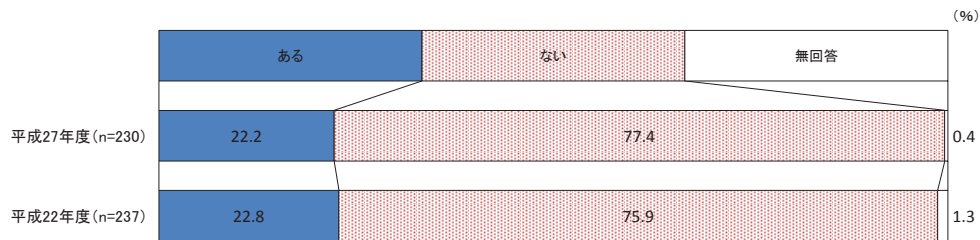


■ 納骨堂の新設・増設予定は「ない」が8割弱

アンケートに回答した230法人に対し、納骨堂の新設または増設予定の有無を尋ねたところ、「ない」が178法人の77.4%、「ある」が51法人の22.2%となっている。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。【問8】

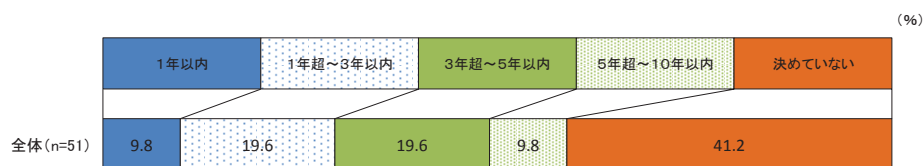
図表－3－19 納骨堂の新設・増設予定の有無【過去の調査結果との比較】



■ 納骨堂の新設・増設時期は「決めていない」が4割強

問8で納骨堂を新設・増設予定があると回答した51法人に対し、予定している時期を尋ねたところ、「決めていない」が21法人の41.2%と最も多く、次いで「1年超～3年以内」「3年超～5年以内」がそれぞれ10法人の19.6%となっている。【問8－1】

図表－3－20 納骨堂の新設・増設時期

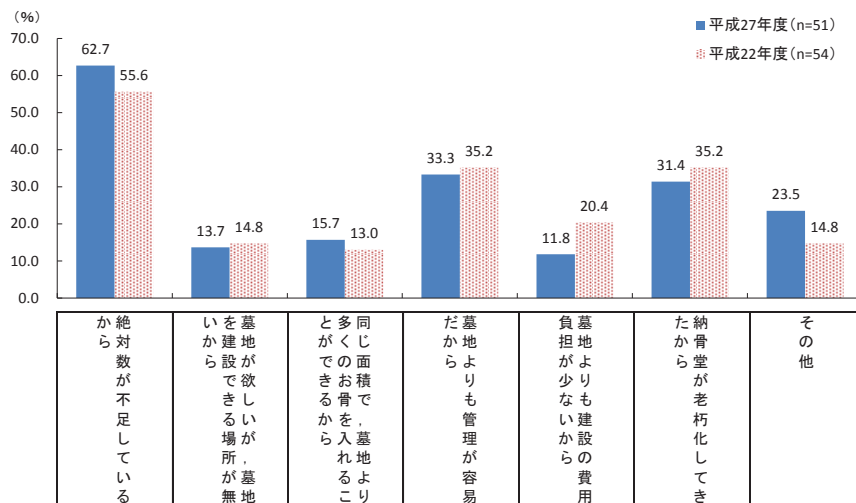


- 納骨堂の新設・増設理由は「絶対数が不足しているから」が6割強
- 「絶対数が不足しているから」は平成27年度が平成22年度より高い

問8で納骨堂を新設・増設予定があると回答した51法人に対し、納骨堂を建設する理由を尋ねたところ、「絶対数が不足しているから」が32法人の62.7%と最も多く、次いで「墓地よりも管理が容易だから」が17法人の33.3%、「納骨堂が老朽化してきたから」が16法人の31.4%となっている。

過去の調査結果と比較してみると、「絶対数が不足しているから」は、平成27年度（62.7%）が平成22年度（55.6%）より高くなっている。【問8-2】

図表-3-2-1 納骨堂の新設・増設理由【過去の調査結果との比較】



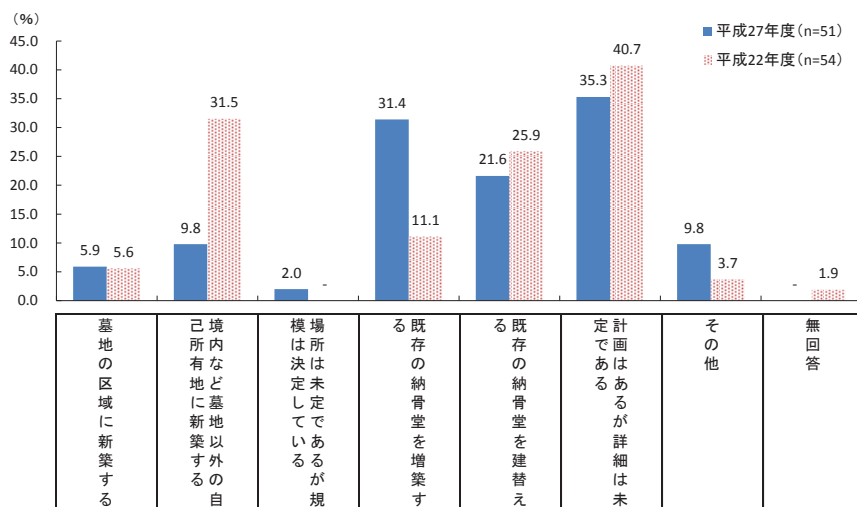
- 納骨堂の新設・増設場所は「計画はあるが詳細は未定である」が4割弱
- 新設・増設予定の合計壇数は3,565壇
- 「既存の納骨堂を増築する」は平成27年度が平成22年度より高い

問8で納骨堂を新設・増設予定があると回答した51法人に対し、新設・増設の場所と規模を尋ねたところ、「計画はあるが詳細は未定である」が18法人の35.3%と最も多く、「既存の納骨堂を増築する」が16法人の31.4%、「既存の納骨堂を建替える」が11法人の21.6%となっている。

また、それぞれの具体的な壇数を尋ねたところ、新設・増設予定の合計数は3,565壇となっている。

過去の調査結果と比較してみると、「境内など墓地以外の自己所有地に新築する」「既存の納骨堂を建替える」「計画はあるが詳細は未定である」は、平成22年度が平成27年度より高くなっており、特に「境内など墓地以外の自己所有地に新築する」で21.7ポイント差がある。「既存の納骨堂を増築する」は、平成27年度（31.4%）が平成22年度（11.1%）より高くなっており、20.3ポイント差がある。【問8-3】

図表-3-2 納骨堂の新設・増設場所と規模【過去の調査結果との比較】



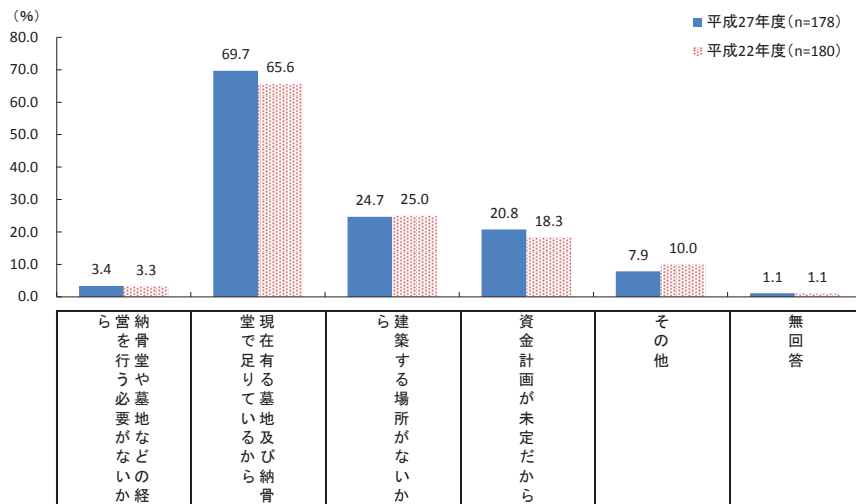
※図表上の「-」については、0.0を表す。

■ 納骨堂を新設・増設しない理由は「現在ある墓地及び納骨堂で足りているから」が7割弱

問8で納骨堂を新設・増設予定がないと回答した178法人に対し、納骨堂を新設・増設しない理由を尋ねたところ、「現在有る墓地及び納骨堂で足りているから」が124法人の69.7%で最も多く、次いで「建築する場所がないから」が44法人の24.7%、「資金計画が未定だから」が37法人の20.8%となっている。

過去の調査結果と比較してみると、「現在有る墓地及び納骨堂で足りているから」は、平成27年度が平成22年度よりやや高くなっている。【問9】

図表－3－23 納骨堂を新設・増設しない理由【過去の調査結果との比較】



第4章 福岡市墓地・納骨堂アンケート調査結果による需要予測

第4章 福岡市墓地・納骨堂アンケート調査結果による需要予測

1 需要の予測方法

平成27年6月8日～平成27年6月21日、福岡市保健福祉局生活衛生部生活衛生課において市民の墓地・納骨堂に関する意識調査を行った。

アンケート調査の概要

①調査対象	福岡市民（30歳以上の市民を住民基本台帳から無作為抽出）
②調査方法	郵便による送付・回収
③調査期日	平成27年6月8日～平成27年6月21日
④送付数	2,000通
⑤回収結果	回収数 707通（回収率 35.4%）
⑥集計・分析	株式会社 サーベイリサーチセンター 九州事務所

調査結果から得られた値及び福岡市の統計資料からの値から需要数を予測する。

需要予測の計算方法は以下の推計式により算出した。

$$\text{需要数} = \text{将来の死亡者数（予測値）} \times \text{定着志向係数} \times \text{必要者割合}$$

将来の死亡者数：国立社会保障・人口問題研究所（平成20年12月1日現在）市区町村別仮定値データ

定着志向係数：「福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査（以下「市民用アンケート」とする）」において、定着志向の項目で「住み続けたい」と回答した人の割合

必要者割合：「市民用アンケート」において、墓地取得意向に関する項目で「墓地の取得を具体的に考えている」と回答した人の割合

2 市民用アンケートによる需要予測結果

年	死亡者数 (人)	定着志向 係数 (%)	墓地・納骨堂 必要割合 (%)	需要数	
				5年あたり	1年あたり
2016～2020	66,302	86.1	6.4	3,653	731
2021～2025	75,371	86.1	6.2	4,023	805
2026～2035	173,800	86.1	2.4	3,591(10年)	359

「市民用アンケート」において、算出された墓地・納骨堂需要予測結果は表のとおりである。この結果より、市民の墓地・納骨堂の必要数は、2016年から向う5年間は、731基/年、2021年から5年間は、805基/年、2026年から10年間は、359基/年となっている。

第5章 福岡市における墓地・納骨堂の需給状況

第5章 福岡市における墓地・納骨堂の需給状況

1 墓地

—福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査結果—

所有区画数	84,185	区画
使用区画数	64,675	区画
無縁化区画数	765	区画
未使用区画数	18,745	区画
うち市民使用可能区画数	7,291	区画

※ 市民使用可能区画数 = Σ 法人合計 ((未使用区画数+無縁化区画数) × その法人における市民使用割合)
法人ごとに、所有する無縁化区画と未使用区画の和にその法人での市民の使用割合に乗じた後、合計した。

拡張予定区画数	1,841	区画
うち市民使用可能拡張区画数	1,365	区画

※ 市民使用可能拡張区画数 = Σ 法人合計 (拡張区画 × その法人における市民使用割合)

今後使用可能な墓地の総区画数	8,656	区画
----------------	-------	----

「福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査結果」(以下「経営者用アンケート」とする)で得られた市民が使用可能な墓地区画7,291区画は、市民の需要に対して何年分に相当するかの検討を行った。

「経営者用アンケート」による2016年から5年間の年間当たり731区画という需要数を基に、すでに経営許可を受けている墓地から今後何年間市民に墓地が供給されるかを計算すると、以下のとおり9.5年の供給が可能であると算定できる。

$$731 \times 5 \text{ 年} + 805 \times 4.5 \text{ 年} = 7,277.5 \quad \cong \quad 7,291 \text{ 区画}$$

$$5 \text{ 年} + 4.5 \text{ 年} = 9.5 \text{ 年}$$

さらに、今回のアンケート調査で得られた市民使用可能拡張区画数1,365区画も加えた8,656区画を同様に計算すると、12.7年の供給が可能であると考えられる。

$$731 \times 5 \text{ 年} + 805 \times 5 + 359 \times 2.7 \text{ 年} = 8,649.3 \quad \cong \quad 8,656 \text{ 区画}$$

$$5 \text{ 年} + 5 \text{ 年} + 2.7 \text{ 年} = 12.7 \text{ 年}$$

2 納骨堂

—福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査結果—

所有壇数	79,893 壇
使用壇数	63,306 壇
未使用壇数	16,587 壇
うち市民使用可能壇数	8,621 壇
※ 使用可能壇数 = Σ 法人合計 (未使用壇数 \times その法人における市民使用割合)	
建築予定壇数	3,565 壇
うち市民使用可能増数	2,116 壇
※ 使用可能増数 = Σ 法人合計 (拡張壇数 \times その法人における市民使用割合)	
今後使用可能な納骨堂の総壇数	10,737 壇

アンケート調査結果で得られた現在未使用納骨堂壇数のうち、市民が使用可能な 8,621 壇は、市民の需要に対して何年分に相当するかの検討を行った。

墓地と同様に市民の納骨堂の需要数で算定すると、以下のとおり 12.6 年の供給が可能であると算定できる。

$$731 \times 5 \text{ 年} + 805 \times 5 \text{ 年} + 359 \times 2.6 \text{ 年} = 8,613.4 \cong 8,621 \text{ 壇}$$

$$5 \text{ 年} + 5 \text{ 年} + 2.6 \text{ 年} = 12.6 \text{ 年}$$

さらに、市民が使用可能な 2,116 壇を合計した 10,737 壇を同様に計算すると、18.5 年の納骨壇数が現在供給可能と考えられる。

$$731 \times 5 \text{ 年} + 805 \times 5 \text{ 年} + 359 \times 8.5 \text{ 年} = 10,731.5 \cong 10,737 \text{ 壇}$$

$$5 \text{ 年} + 5 \text{ 年} + 8.5 \text{ 年} = 18.5 \text{ 年}$$

※因みに、前回平成 22 年度の調査では、墓地の供給可能年数は 19.9 年、市民使用可能拡張区画数を加えた供給可能年数は 20 年以上となっている。また納骨堂の供給可能年数は 17.3 年、市民使用可能拡張区画数を加えた供給可能年数は 20 年以上となっている。

3 まとめ・考察

福岡都市圏における墓地・納骨堂の需給状況の実態を把握し、今後の本市における墓地行政に資することを目的として、墓地・納骨堂を経営する福岡市内の275法人及び福岡市近郊の113法人、計388法人に対して「福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査」を行い230法人（回収率：59.3%）から回答を得た。

また、「福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査」と併せて分析することにより、本市における墓地・納骨堂の需給状況を推定した。

(1) 墓地について

- ①. 73法人が84,185区画を保有している。うち大規模墓地を持つ法人は、12法人であり、合計すると73,570区画保有している。
- ②. 無縁化区画は765区画であり、1法人あたりの平均値は21.5区画、中央値は8区画となっている。
- ③. 未使用区画は18,745区画であり、1法人あたりの平均値は426.0区画、中央値は13区画となっている。
- ④. 合祀用の区画は894区画であり、1法人あたりの平均値は21.8区画、中央値は1区画となっている。
- ⑤. 拡張予定の区画数は1,841区画である。
- ⑥. 市民が使用可能な無縁化区画、未使用区画及び拡張予定区画の総計は7,291区画である。
- ⑦. 市民が使用可能な8,656区画を「福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査」に基づく需要数で算定すると12.7年分の供給に相当する。

(2) 納骨堂について

- ①. 204法人が79,893壇を所有している。うち1,000壇以上の納骨堂を持つ法人は8法人であり、合計すると21,216壇所有している。
- ②. 未使用の壇数は16,587壇であり、1法人あたりの平均値は97.6壇、中央値は30壇となっている。
- ③. 今後、拡張予定の壇数は3,565壇である。
- ④. 市民が使用可能な未使用壇及び拡張予定の壇の総計は10,737壇である。
- ⑤. 市民が使用可能な10,737壇を「福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査」に基づく需要数で算定すると18.5年分の供給に相当する。

(3) 考察

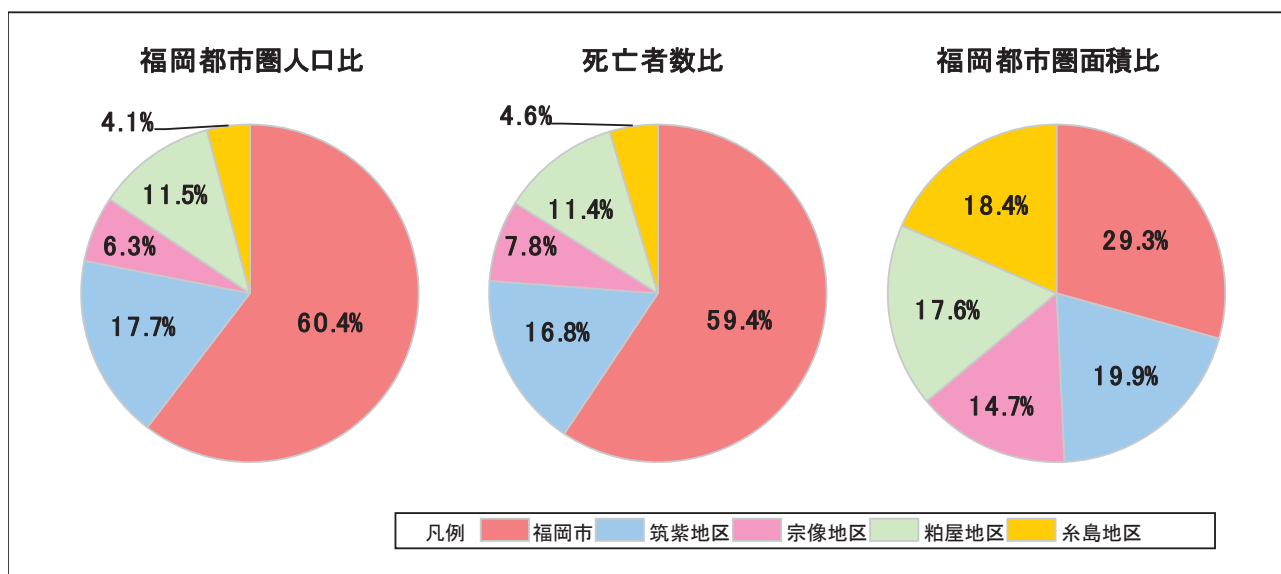
- ①. 市民が使用可能な墓地・納骨堂の供給年数を予測したところ、すでに経営許可を持つ法人において、今後、墓地は12.7年、納骨堂は18.5年の供給が可能と推定された。
- ②. 市民が現在使用している墓地区画数合計64,675区画に対し、現在使用している納骨堂壇数合計は63,306壇数と、墓地区画数が納骨堂壇数を1,369区画上回った。また「福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査」にて、墓地・納骨堂の取得意向者(218人)に取得を最も希望する形式を聞いた結果は、「墓地」23.9%、「納骨堂」48.6%と、納骨堂が墓地を上回った。また、「合葬式の共同墓」は17.4%となっており、平成22年度の調査結果と比べると10.8ポイント増加している。

さらに、市民が取得を希望している墓地・納骨堂の経営形態をみると、「公営」「市有・区有」等の公的な墓地・納骨堂を希望している人は、墓地・納骨堂の取得意向者の41.3%、「民営」は3.2%、「寺院」は30.3%であり、市民が墓地・納骨堂の取得にあたって公的な経営形態のものを選ぶ意向を有していることを表している。また、平成22年度と比べると公的な経営形態は6.1ポイント減少し、寺院は4.5ポイント増加している。
- ③. 「福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査」にて、墓地・納骨堂が住居近辺に建設される場合の賛否について聞いた結果をみると、墓地に関しては、『許容者(反対しない)』(「計画内容によっては反対しない」+「作っても構わない」)は51.3%であるのに対し、納骨堂は67.0%で15ポイント以上の開きが出ている。また、「反対である」との明確な意見を表明した人は墓地11.6%に対し、納骨堂は6.1%である。このことから、必要数の計画的な建設を推進するに当たり、墓地よりも納骨堂の方が住民の理解が得やすいと言えることが出来る。
- ④. 「福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査」にて合葬式の共同墓と散骨に対する意識を聞いたところ、合葬式の共同墓について「ふさわしくない」との回答は4.4%に過ぎなかった。但し、「積極的に評価する」も15.3%で多数派ではなく、「関心を持っている」「やむを得ない」という中間的な意見が56.5%で過半数を占めている。散骨についても「賛同しない」は15.1%と合葬式の共同墓より多くなるが多数派ではない。「賛同する」も13.6%であり、ここでも「本人(故人)の希望であれば認めても良い」という条件付きの賛成が55.2%を占めている。このように市民が新しい埋葬のあり方について、明確な拒否の意識は持つ人は少ないと考えられる。

1 福岡都市圏資料

福岡都市圏人口等(住民基本台帳)

市区町村名	人口 (H27.3.31)			世帯数 (H27.3.31)	死亡者数 (H26.4.1~H27.3.31)	面積(k㎡) (H26.10.1)
	男	女	計			
福岡都市圏合計	1,174,575	1,288,479	2,463,054	1,138,805	18,949	1,171.78
福岡市	705,820	782,150	1,487,970	738,786	11,245	343.38
東区	144,893	153,034	297,927	141,332	2,288	69.36
博多区	104,815	111,033	215,848	125,368	1,561	31.62
中央区	79,643	99,923	179,566	104,937	1,172	15.39
南区	119,677	134,310	253,987	122,504	2,052	30.98
西区	96,227	105,317	201,544	88,471	1,550	84.16
城南区	58,305	64,956	123,261	59,110	996	15.99
早良区	102,260	113,577	215,837	97,064	1,626	95.87
筑紫地区	209,536	225,718	435,254	181,471	3,177	233.32
筑紫野市	48,950	53,426	102,376	42,602	798	87.73
春日市	54,527	57,925	112,452	46,859	731	14.15
大野城市	47,620	51,341	98,961	41,789	657	26.89
太宰府市	34,188	37,368	71,556	30,495	610	29.60
那珂川町	24,251	25,658	49,909	19,726	381	74.95
宗像地区	73,720	82,059	155,779	64,910	1,482	172.67
宗像市	45,921	50,565	96,486	40,514	908	119.91
福津市	27,799	31,494	59,293	24,396	574	52.76
粕屋地区	137,931	146,243	284,174	114,464	2,169	206.71
古賀市	27,972	30,347	58,319	23,956	431	42.07
宇美町	18,315	19,344	37,659	15,056	306	30.21
篠栗町	15,317	16,216	31,533	12,727	267	38.93
志免町	21,957	23,742	45,699	18,826	357	8.69
須恵町	13,449	14,038	27,487	10,797	244	16.31
新宮町	14,642	15,378	30,020	11,483	188	18.93
久山町	4,015	4,318	8,333	3,001	80	37.44
粕屋町	22,264	22,860	45,124	18,618	296	14.13
糸島地区	47,568	52,309	99,877	39,174	876	215.70
糸島市	47,568	52,309	99,877	39,174	876	215.70

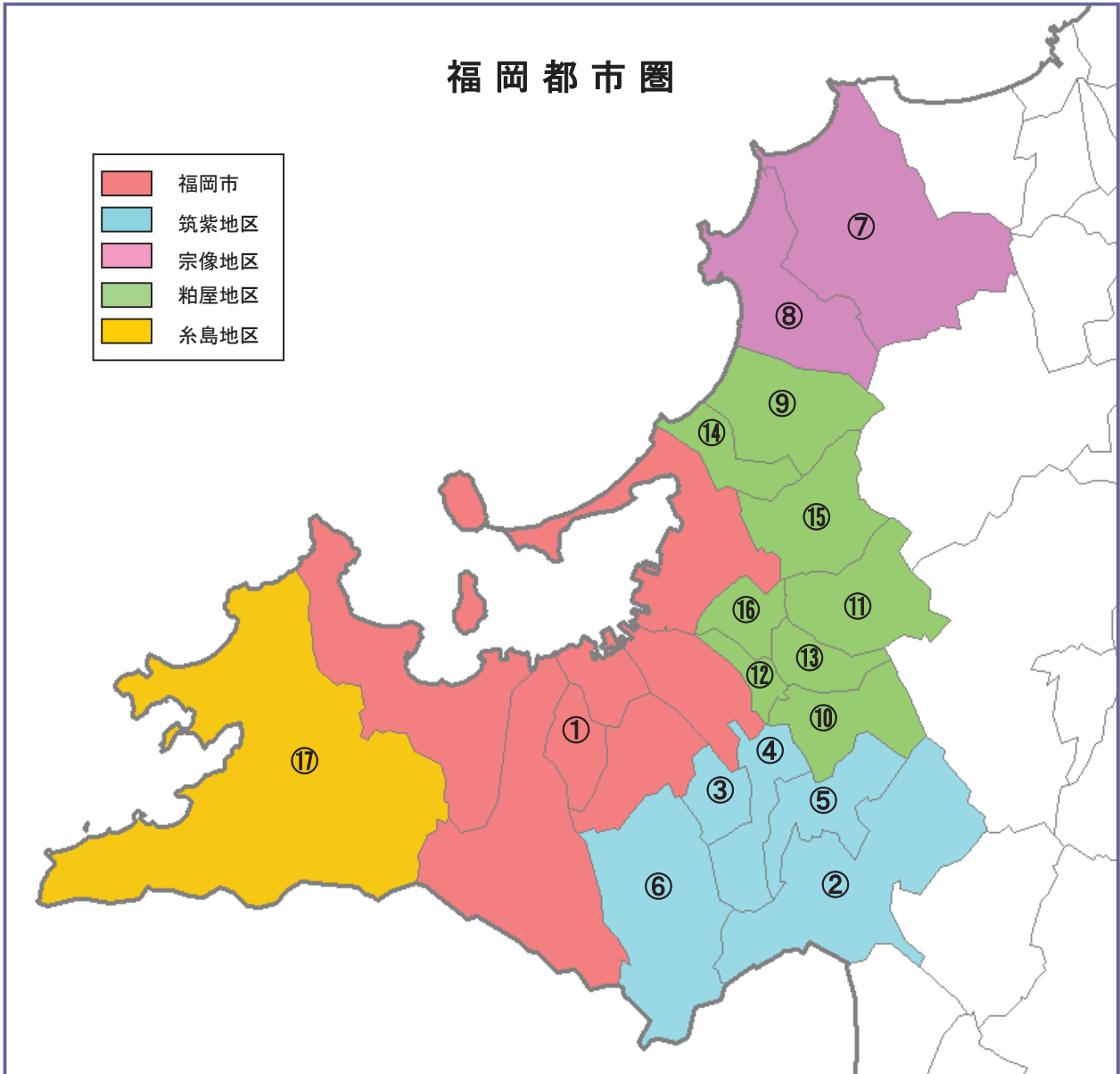


出典 人口:住民基本台帳月報(福岡県) 死亡者数:人口移動調査(福岡県) 面積:平成26年全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)

国立社会保障・人口問題研究所『日本の市町村別将来推計人口（平成25年3月1日現在）』をもとに算出した福岡市の死亡者予測

期首年齢→期末年齢	平成22～27年 (2010～2015)	平成27～32年 (2015～2020)	平成32～37年 (2020～2025)	平成37～42年 (2025～2030)	平成42～47年 (2030～2035)	平成47～53年 (2035～2040)
男						
0～4歳→5～9歳	32	27	22	18	16	13
5～9歳→10～14歳	17	16	14	11	9	8
10～14歳→15～19歳	28	25	24	21	18	15
15～19歳→20～24歳	87	76	68	65	61	52
20～24歳→25～29歳	156	134	117	107	104	98
25～29歳→30～34歳	186	157	143	126	115	113
30～34歳→35～39歳	247	208	179	164	144	132
35～39歳→40～44歳	393	334	284	245	224	197
40～44歳→45～49歳	510	559	476	406	351	323
45～49歳→50～54歳	750	797	875	747	639	552
50～54歳→55～59歳	1,097	1,102	1,176	1,297	1,112	955
55～59歳→60～64歳	1,776	1,516	1,538	1,655	1,841	1,590
60～64歳→65～69歳	2,910	2,498	2,150	2,193	2,368	2,638
65～69歳→70～74歳	2,929	3,786	3,247	2,799	2,861	3,094
70～74歳→75～79歳	3,601	4,011	5,183	4,432	3,822	3,908
75～79歳→80～84歳	4,663	4,905	5,481	7,158	6,147	5,344
80～84歳→85歳～	4,570	5,740	6,131	6,989	9,334	8,109
85歳～	4,957	7,662	10,609	12,861	15,443	20,526
女						
0～4歳→5～9歳	28	24	19	16	14	12
5～9歳→10～14歳	12	11	10	8	7	6
10～14歳→15～19歳	18	17	16	15	12	11
15～19歳→20～24歳	40	36	33	32	30	26
20～24歳→25～29歳	63	53	46	42	42	40
25～29歳→30～34歳	88	72	62	54	49	48
30～34歳→35～39歳	139	123	101	87	76	69
35～39歳→40～44歳	211	185	166	138	119	106
40～44歳→45～49歳	267	294	260	234	197	170
45～49歳→50～54歳	371	400	443	393	353	298
50～54歳→55～59歳	519	528	573	636	566	510
55～59歳→60～64歳	816	701	719	783	873	778
60～64歳→65～69歳	1,241	1,051	906	933	1,018	1,138
65～69歳→70～74歳	1,533	1,856	1,573	1,356	1,396	1,523
70～74歳→75～79歳	2,224	2,359	2,854	2,416	2,084	2,147
75～79歳→80～84歳	3,467	3,615	3,844	4,683	3,981	3,457
80～84歳→85歳～	4,696	5,338	5,558	5,947	7,284	6,189
85歳～	11,572	16,087	20,472	24,177	27,842	34,098
合計(推計死亡者数)	56,213	66,302	75,371	83,247	90,552	98,291
年平均	11,243	13,260	15,074	16,649	18,110	19,658
総人口	1,463,743	1,498,589	1,510,382	1,509,307	1,497,115	1,473,747

福岡都市圏



福岡

①福岡市(東区、博多区、中央区、南区、城南区、早良区、西区)

筑紫地区

②筑紫野市 ③春日市 ④大野城市 ⑤太宰府市 ⑥那珂川町

宗像地区

⑦宗像市 ⑧福津市

粕屋地区

⑨古賀市 ⑩宇美町 ⑪篠栗町 ⑫志免町 ⑬須恵町 ⑭新宮町
⑮久山町 ⑯粕屋町

糸島地区

⑰糸島市

2 福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査集計結果

問1. 性別

全体	男性	女性	無回答
707 100.0	317 44.8	387 54.7	3 0.4

問2. 年齢

全体	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
707 100.0	90 12.7	116 16.4	135 19.1	184 26.0	179 25.3	3 0.4

問3. 世帯での位置づけ

全体	世帯主	世帯主の配偶者	家族世帯主の配偶者以外の同居	その他	無回答
707 100.0	410 58.0	251 35.5	38 5.4	3 0.4	5 0.7

問4. 配偶者の有無

全体	いる	いない	無回答
707 100.0	505 71.4	194 27.4	8 1.1

問5. 自身の親から見た続柄

全体	長男	長女	長男・長女ではない	無回答
707 100.0	172 24.3	238 33.7	287 40.6	10 1.4

問6. 居住区

全体	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答
707 100.0	143 20.2	81 11.5	86 12.2	120 17.0	61 8.6	113 16.0	101 14.3	2 0.3

問7. 福岡市に居住継続する意向の有無

全体	できれば福岡市内に住み続けたい	市外へ転出して暮らしたい	市外へ転出したい	わからない	無回答
707 100.0	609 86.1	9 1.3	19 2.7	66 9.3	4 0.6

問8. 近隣でのお墓の新設についての賛否

全体	反対である	できれば作って欲しくない	計画内容によっては反対しない	作っても構わない	わからない	無回答
707 100.0	82 11.6	191 27.0	216 30.6	146 20.7	55 7.8	17 2.4

問8. 近隣での納骨堂の新設についての賛否

全体	反対である	できれば作って欲しくない	計画内容によっては反対しない	作っても構わない	わからない	無回答
707 100.0	43 6.1	116 16.4	268 37.9	206 29.1	52 7.4	22 3.1

問9. お墓・納骨堂の所有の有無

全体	持っている	持っていない	わからない	無回答
707 100.0	473 66.9	212 30.0	19 2.7	3 0.4

問9-1. 所有しているお墓・納骨堂の形態

全体	公営霊園	民営霊園	市有・財産区有墓地	市有・財産区有納骨堂	寺院のお墓	寺院の納骨堂	その他	無回答
473 100.0	45 9.5	73 15.4	34 7.2	18 3.8	73 15.4	192 40.6	30 6.3	8 1.7

問9-2. 所有しているお墓・納骨堂の取得方法

全体	先祖伝来のお墓や納骨堂を相続	親が取得	自分で取得	その他	無回答
473 100.0	130 27.7	207 43.8	103 21.8	26 5.5	7 1.5

問9-3. 所有しているお墓・納骨堂の場所

全体	市内	県内	その他の地域	無回答
473 100.0	174 36.8	152 32.1	140 29.6	7 1.5

問9-4. 所有しているお墓・納骨堂への過去1年の参拝回数

全体	5回以上	3~4回	1~2回	この1年はしていない	無回答
473 100.0	95 20.1	136 28.8	151 31.9	77 16.3	14 3.0

問10. 先祖のお墓・納骨堂を守る立場にあるかどうか

全体	あると思う	ないとと思う	わからない	無回答
707 100.0	405 57.3	216 30.6	80 11.3	6 0.8

問11. 新たなお墓・納骨堂の取得意向

全体	今年内には取得したい	5年以内には取得したい	10年以内には取得したい	20年以内には取得したい	現在(20年以上先)は検討しない	取得は特に考えていない	わからない	無回答
707 100.0	21 3.0	24 3.4	44 6.2	17 2.4	112 15.8	375 53.0	70 9.9	44 6.2

問11-1. 新たなお墓・納骨堂の取得理由

全体	すでに現在のお墓や納骨堂があるが、利用できるお墓や納骨堂がないから	現在利用できるところから、将来のお墓や納骨堂を考えると	現在利用できないから	現在利用できないから	現在入りたくないから	遠方にある遺骨を福岡市内に移したいから	その他	無回答
218 100.0	10 4.6	124 56.9	15 6.9	20 9.2	35 16.1	25 11.5		3 1.4

問11-2. 新たに取得するお墓・納骨堂の希望形態

全体	公営霊園	民営霊園	市有・財産区有墓地	市有・財産区有納骨堂	寺院のお墓	寺院の納骨堂	その他	特にこだわらない	無回答
218 100.0	106 48.6	34 15.6	10 4.6	23 10.6	30 13.8	83 38.1	13 6.0	30 13.8	5 2.3

問11-3. 新たに取得するお墓・納骨堂の最も希望する形態

全体	公営霊園	民営霊園	市有・財産区有墓地	市有・財産区有納骨堂	寺院のお墓	寺院の納骨堂	その他	特にこだわらない	無回答
218 100.0	76 34.9	7 3.2	3 1.4	11 5.0	14 6.4	52 23.9	7 3.2	35 16.1	13 6.0

問11-4. 新たにお墓・納骨堂を取得する場合に最適な場所

全体	現在の居住地の近く	市街地の交通の便の良いところ	市内の自然に恵まれた郊外	市外の自然に恵まれた郊外	その他	わからない	無回答
218 100.0	51 23.4	64 29.4	58 26.6	15 6.9	4 1.8	17 7.8	9 4.1

問11-5. 新たにお墓・納骨堂を取得する場合の自宅からの距離（片道）

全体	15分以内	30分以内	1時間以内	2時間以内	3時間以内	片道に3時間以上かかるが、日帰りができる距離	日帰りができなくてもかまわない	わからない	無回答
218 100.0	10 4.6	70 32.1	98 45.0	19 8.7	-	1 0.5	1 0.5	10 4.6	9 4.1

問11-6. お墓・納骨堂を取得する場合に重視すること

全体	費用（取得費や管理費）	管理や運営の形態	周囲の環境	性自宅からの距離や交通利便	宗旨や宗派	その他	特にこだわらない	無回答
218 100.0	179 82.1	123 56.4	65 29.8	143 65.6	31 14.2	3 1.4	6 2.8	5 2.3

問11-7. お墓・納骨堂を取得する場合に最も重視すること

全体	費用（取得費や管理費）	管理や運営の形態	周囲の環境	性自宅からの距離や交通利便	宗旨や宗派	その他	特にこだわらない	無回答
218 100.0	110 50.5	36 16.5	5 2.3	33 15.1	8 3.7	2 0.9	7 3.2	17 7.8

問11-8. お墓・納骨堂を取得場合に希望する形式

全体	お墓	納骨堂	合葬式の共同墓	その他	無回答
218 100.0	77 35.3	158 72.5	66 30.3	8 3.7	10 4.6

問11-9. お墓・納骨堂を取得する場合に最も希望する形式

全体	お墓	納骨堂	合葬式の共同墓	その他	無回答
218 100.0	52 23.9	106 48.6	38 17.4	5 2.3	17 7.8

問12. 「合葬式の共同墓」の認知

全体	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
707 100.0	154 21.8	229 32.4	298 42.1	26 3.7

問13. 「合葬式の共同墓」の評価

全体	積極的に評価する	関心を持っている	やむを得ない	ふさわしくない	その他	わからない	無回答
707 100.0	108 15.3	154 21.8	245 34.7	31 4.4	17 2.4	115 16.3	37 5.2

問13-1. 福岡市営「合葬式の共同墓」の利用意向

全体	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
507 100.0	178 35.1	92 18.1	224 44.2	13 2.6

問13-2. 福岡市営「合葬式の共同墓」を利用したい理由

全体	墓石を建立するのは高額だから	承継者がいないから	子どもや家族に迷惑を掛けたくないから	先祖と同じお墓や納骨堂に入りたくないから	その他	無回答
178 100.0	54 30.3	59 33.1	114 64.0	8 4.5	7 3.9	5 2.8

問13-3. 福岡市営「合葬式の共同墓」を利用する際の条件

全体	夫婦や家族で利用できるなら	お墓の形態によっては利用したい	設置場所によっては利用したい	その他	無回答
178 100.0	90 50.6	69 38.8	92 51.7	9 5.1	5 2.8

問13-3-1. 利用したい福岡市営「合葬式の共同墓」の形態

全体	モニュメント式の合葬墓	樹木葬式の合葬墓	その他	無回答
69 100.0	32 46.4	47 68.1	3 4.3	4 5.8

問13-3-2. 利用したい福岡市営「合葬式の共同墓」の場所

全体	目平尾霊園（南区平和4丁目）	椎三日月山霊園（東区大字香）	戸西部霊園（西区大字羽根）	設1〜3以外に福岡市内に新設	無回答
92 100.0	39 42.4	12 13.0	14 15.2	32 34.8	16 17.4

問13-4. 福岡市営「合葬式の共同墓」を利用したくない理由

全体	他の遺骨と一緒に合葬だか	管理・運営の内容がわからないから	思遺族が合葬を希望しないと	合葬する他の場所へ改葬できないから	すでにお墓や納骨堂を持っているから	お墓の承継者がいるから	その他	無回答
92 100.0	18 19.6	6 6.5	15 16.3	5 5.4	68 73.9	16 17.4	5 5.4	1 1.1

問14. 散骨についての賛否

全体	賛同する	本人(故人)の希望であれば認めても良い	賛同しない	その他	わからない	無回答
707 100.0	96 13.6	390 55.2	107 15.1	11 1.6	75 10.6	28 4.0

問14-1. 自身の散骨の希望

全体	遺骨の全部の散骨を希望	遺骨の一部を散骨し、残りは納骨を希望	散骨は希望しない	その他	わからない	無回答
486 100.0	124 25.5	58 11.9	172 35.4	10 2.1	117 24.1	5 1.0

問14-2. 散骨場所の意向

全体	公営の霊園内の定められた場所	民間の墓地内の定められた場所	山を含む公共用地	山を含む私有地	博多湾内	玄海灘等の外洋	その他	どこでも良い	わからない	無回答
486 100.0	63 13.0	9 1.9	23 4.7	6 1.2	31 6.4	110 22.6	34 7.0	50 10.3	123 25.3	37 7.6

問15. お墓・納骨堂についての問題

全体	感じている	感じていない	無回答
707 100.0	286 40.5	382 54.0	39 5.5

問15-1. 感じているお墓・納骨堂についての問題

全体	現在利用できるお墓や納骨堂がない	お墓や納骨堂を守る承継者がいない	墓地・墓石の値段が高い	納骨堂の値段が高い	今あるお墓や納骨堂に入りたくない	お墓や納骨堂の管理が難しい	お墓や納骨堂の管理者とトラブルがある	漠然とした不安を感じている	その他	無回答
286 100.0	55 19.2	101 35.3	73 25.5	71 24.8	31 10.8	93 32.5	5 1.7	70 24.5	55 19.2	2 0.7

問16. 福岡市に求めるお墓・納骨堂に関する施策

全体	公営霊園の拡張	公営の「合葬式の共同墓」の設置	公営納骨堂の設置	その他	特にない	無回答
707 100.0	149 21.1	203 28.7	231 32.7	24 3.4	235 33.2	48 6.8

3 市民用アンケート自由記入欄記載内容

問 17 **お墓や納骨堂について、ご意見・ご要望などがございましたら、自由にお書きください。**

1. 費用について（12件）

昨年父が亡くなり、改めて葬儀や納骨、お墓の管理に費用がかかる事を知りました。現在、納骨堂は市内にあり便利さを感じますが、できればもう少し安い費用で利用できる所を市で考えて頂ければ嬉しく思います。どうぞ、よろしくをお願いします。
毎年の管理費が高いと思います。
お墓や納骨堂の購入・設置の免税もしくは助成金。
民営の墓地を取得しましたが、結構お金がかかります。亡き遺骨1体毎に納骨するでしょう、その時にお金が高い。費用であっても高く思いました。
お寺がなんであるように高価な額をとるのか。100万~200万なんてありえないでしょう。しかし、しかたなく入れるというのが現実です。市営で50万とかで入れるのであれば、そちらを利用するのでは。
県内でお墓が安く購入できる事を希望します。
民間の納骨堂は年間費などが高く、承継者がいないと年間費さえも払う事が出来なくなる。もっと安くないか。公営のように安い費用で管理してくれる所をたくさん作ってほしい。
・お墓や納骨堂にかかるお金が高いと思う。 ・子供がいないため、共同墓について興味をもった。
負担のない費用、管理費等希望。
これから先のお墓の問題は深刻になってくると思う。子供達が今迄通りのしきたりでやっていけなくなる。金がかかりすぎです。子供達の世代へどうてい継承出来ないと思う。都会に住めば住む程難しくなるし、充分な対応は無理でしょう。（土地代、経費等）又、長男以外は墓は持てない家族制度である。出来るだけ公営で安く出来ればと希望する。
福岡にあるお墓や納骨堂は、価格が高すぎる。もう少し手の届きやすい価格なら他県から移したいと思えるが、今の価格では厳しい。
自分の両親がまだ健在なのでその時になってみないと気持ちがどのように変化するのか予想できませんが、お墓や納骨堂の管理費があまりに高額になってしまうのは社会問題になるように思います。生活のレベルにかかわらず、ある程度皆が納得できるような形で利用することができるのが良い事と思います。あまり知識がないのにアンケートに参加して申し訳ありません。

2. 管理について（24件）

単身世帯が多い福岡市で、墓を守り続ける人が（家）に、少なくなってくると思う。これからは単身でも葬儀や墓のことを心配しなくてもよいシステムが提案され、選べるようになってほしい。

<p>(1) 故郷にある先祖代々の墓の管理が、皆故郷を出て困難になってきています。代が後世になるほど維持管理がむずかしくなってゆくと思って心配しています。</p> <p>(2) 墓地が祖父名義になっており、祖父が新憲法下で亡くなったため、相続人が何名いるか分からなくなってきて、長男の父（兄弟姉妹7人）、長男の長兄（私たち兄弟姉妹8人）など、登記を長兄名にするのは、費用、人数の面で不可能。墓地については簡単な登記手続きが必要では。</p> <p>(3) 戦後、宗教教育が学校でも家庭でも行われなくなり、人間（生存者）の都合で死者を葬る気風が強くなっています。科学万能の思想が強く、あの世がある事を否定する風潮が強い。死者の追善供養は大切。</p>
<p>禅宗の寺院墓地ですが、長男と次男は別の墓が当り前ですが将来の事を考えて家ということをやめ、私に関係のある人（娘等）はいっしょにはいれる様に14年前に墓をつくりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺院墓地の為いろいろ費用がかかるので3人の子供にみてもらう為です。 ・月1回墓参りをしていますが、みる人がいなくなって空地(?)もでてきました。 <p>最後に、今回のアンケートはとても良い事だと思います。私も素直に回答したつもりです。ありがとうございました。</p>
<p>現在お寺の墓地に墓を持っているが、近い将来墓地はなくなり納骨堂になると思うが、納骨堂が値段が高くて買えるだろうか。納骨堂を買っても子や孫が守っていくのだろうか心配だ。</p>
<p>お墓について夫婦で時々話し合っていますが、お互い結論が出ないまま終わってしまいます。子供達が関東に住んでいて、福岡に墓を持ってもお参りはできないと思料されるのが原因です。本心は、家族が心の拠り所として時々お参りできる所がいいのですが、子供が関東だと望めません。又、墓は故郷に有って育った所を思い出す場所が一番良いと思いますし、管理もちゃんとして頂いていたら良いと思うのですが。勝手に申し上げまして申し訳ありません。</p>
<p>私は、夫も長男で私自身も一人っ子の為、両方の親、先祖を見ていかなければならない立場です。どちらも県外に親がいる為、先々は自分たちが年をとった時にお参り出来る様な場所にまとめたいと考えています。子供が負担に感じない様に先祖の墓地を管理していきたいと思います。</p>
<p>私は住居より5分以内に寺院の納骨堂がありますので大変便利です。年間管理料が2万円程費用がかかりますが仕方ないと思います。管理が行き届いていますのでほぼ満足しています。</p>
<p>①故郷の墓は、弟が面倒を見ているが主人の故郷には誰も不在で家、屋敷もなく、墓だけが残っておりその管理に困っている。現在は兄弟姉妹の誰かが帰郷した時に清掃しているが、基本的にはどう処置するのかが決まっていない。福岡市としてはこれに類した事例を考えて処分の方法等を決める必要があると考える。</p> <p>②御寺がもう少し積極的に動く必要があると感じる。葬式だけの寺であり、長期間のことを考えていないように思う。</p>
<p>納骨堂は所有しているものの、娘二人の為、承継者がおらず、死後のお寺の処理は生前の内に家族で話し合っておかなければと思っています。（子供達に負担はかけたくないの）</p>
<p>県外の先祖の墓が兄弟のいない私が守っているが、高齢となり遠く、現在は車でいけるがいつまで守れるか。私の子供も一人で遠方に住んでおり、（福岡県外）疎遠になることが目に見えている。以上のことから公共等の墓・納骨堂があればと思う。</p>

<p>子どもが墓を守る、継ぐ時代はグローバル社会となってきた今、少し変化が必要であると感じる。自身の親世代がお墓の事を真剣に考えている世代なので、墓の問題は身近であると感じています。共同や合同という墓の形態や散骨は私の両親からもよく聞いていますし、両親はそのような形を希望しています。私が一人っ子長女、私の娘も一人っ子なので同じ事が考えられるし、私の両親は子に負担をかけたくない、死んだ後の事は迷惑にならないようにという思いが一番強いようです。</p>
<p>子供がいないため、承継者がいない。私共の場合は寺に相談をしておく様にしています。公営の場合は1代かぎりの場合の方法を考えていてもらいたい。</p>
<p>子供がいないので老後・死後がどうなるのかと心配です。納骨堂があっても、誰も納めてくれないのではないかと思います。独身が多くなった現在、みなさん死後はどう考えておられるのかと思う。孤独死した場合、後の処理的なものはどうされているんでしょう？福岡市内に孤独死された人など身寄りのない方々の専用のお墓・納骨堂などあるといいですね。</p>
<p>自分の祖父母、両親も墓、納骨堂と入っているが、兄弟バラバラで核家族化となり特に墓守りは厳しい。生きている人間でも土地も高く、墓・納骨堂の管理費もと考えると大変で、それを子供にまで面倒はかけられない。亡くなった霊を供養することは大切だが、墓にこだわることはないかもしれない。全て心の問題であると思う。家にもその人の位牌は写真で思いをはせることで供養できるであろう。ただ、墓や納骨堂でなくてもその場所に眠っているという印のような所として共同墓地があれば、彼岸や盆に参るケジメのようなことが出来ると思われる。</p>
<p>少子化なので、お墓を預かる子供達に負担がかかると思う。私は残したくないです。</p>
<p>その年齢が近づくと自覚をせまられるおもいで考慮中。隣県ではあるが墓がある…しかし墓を守っているのは男系家族の末裔となる。顔も見知らぬ末裔達に先々面倒はかけたくない。希望としては樹木葬が理想。土に還る。</p>
<p>私 80 才です。1 人娘で夫の姓になっています。仏壇を守っていますが、足・腰・からだの調子が悪くお墓（お寺）になかなか行けません（北九州）。（旧姓のお墓・仏壇です）お寺にある納骨堂にと思いますが、経済的に駄目です。子ども・孫もおりますがなかなか話し合いが出来ません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・祖父が購入した納骨堂が他県にあるが、自分は殆ど参拝していない。（村の入会地の墓もある。）両親は、盆・暮れ（彼岸）に参拝、管理しているが、両親が亡くなった後独身の兄と私では守っていけるか自信がない。 ・寺の納骨堂の費用の他、門徒会の費用も負担が大きく、将来は不安である。 ・早い時期に公営の霊園の設置を希望する。
<p>両親が取得したお墓が北九州にあるが（北九州霊園）、以下の点で不安を感じており、今後夫婦もこのお墓に入るか考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所が遠い。（小倉両区の奥の方である） ・山すそにあり、車でないと行けない。 ・階段が急で、年をとるといけな。い。（現に父も車椅子で行けない） ・子供も娘 2 人で、今後お墓に入ることもない。
<p>親が買った納骨堂を継承しているが、将来子供が承継していけるか不安だ（未婚、金銭的、『家』の考え方他）。（近い将来、お寺の合併や、管理不能等の状態になっていくのではないか…）世の中の流れとして、お墓→納骨堂→合葬式共同墓（モニュメント、樹木式他）の様な方向にならざるを得ないのでは？</p>

<p>家には先祖からの墓がありません。10年程前、夫の両親が自分達の墓の事を心配し、区内に墓地を買いました。長男である夫は、両親の面倒をみるため退職後、関東地方から戻って来ましたが、今は納骨しないうままに帰って来ましたが、今では仕方ないのかなとも思います。両親が亡くなった後はそのお墓に入れ、とりあえず守る(?)つもりですが…。夫と私はお墓についてまだちゃんと話し合っていないです。子供達は関東地方に住んでいて、将来福岡に住む予定はないと思います。供養する心は大切ですが、個人的には家の墓と言う物にこだわりません。代々お墓を守っていく事も難しくなっていると思います。お墓の事は夫や子供達ともよく話し合っていかなければいけないかなと思います。気力・体力があるうちに。</p>
<p>先日、テレビの特集で「墓じまい」をする方がふえているとあっていました。確かに、墓守がいなかったり維持費等を考えると、いろいろ大変になってくるのだなあと思いました。</p>
<p>墓地はもっているが、墓石はまだこれから…。墓石を建てても子ども達が守っていけるか分からないし、迷惑をかけそうで不安です。</p>
<p>何代も経ると、遺骨の管理が大変になるのでそこ1、2代が参拝出来る、記憶に残せる共同墓があれば良いと思う。樹木葬が、気持ちの上でも今の私にはしっくりくる。私の実家も祖父の代まで仏教、両親がキリスト教となり、墓地が2ヶ所もあり兄も困っている。こういう事からも共同墓があるととてもスムーズにいくと思う。</p>

3. 墓地・納骨堂の立地・設備等について (14件)

<p>昨年末父が亡くなり、納骨で住職に相談したところ、私のお寺に誰もいないので永代供養墓を購入(60万円)しておけば4人位まで入れるとのことでした。現在父だけ、多分次に母、私の時は前もってお寺にお願いしておこうと思っています。名前入れに35,000円、母の時には私の名前も先に横に入れようと思っています。又、墓参りの為自宅近所が良いと思います。私のところはお寺が多く、代々すぐ近くのお寺に墓があったのでそこを利用。歩いてすぐの為墓参りはいつでも行けるので、日に何回も行っています。高齢になると移動も大変なので街中にあると助かると思います。</p>
<p>おつかれさまです。今現在は住居の近くのお寺の納骨堂を利用させてもらえるかなとおもいますが、この先子供の代になって後継ぎ問題などもからみ、どうなるかと不安を感じる事もあります。娘二人に重荷をおおせたくない、先の事はどうなるかわからないという気持ちです。親・子の絆が希薄になったこと、自分達(子供世代)も生きていく事が精一杯の時代、いろんな理由も考えられます。昔は必ず“家を守る”という意識があったものですが…。都会に行くほど(いえ、今は田舎といえども)仕方がない事なのでしょう、さみしい事ですね。共同墓地にするのはやむをえない事だとも思います。ただ、これから20年位は老人(私達世代)が亡くなっていきます。当然の様に共同墓地の利用も増えるでしょう。管理整備・新設など大がかりな取り組みが必要になってきますね。大変だとも思います。</p>
<p>各区内に共同の場所があればよい。</p>
<p>大宰府にあるメモリアルパークのような広々としたお墓がイイナーと思っています。</p>
<p>市営墓地を買ったが、公共の交通手段がなくて中々行く事が出来ない。(三ヶ月霊園)</p>

<p>福岡県内の地方から出て来て福岡市内で長く働き退職後もその住みやすさ、楽しい町、明るい町並みに希望を抱き住んでいます。子、孫も市内に居住しておりこの先も市内に住みたいと思っております。しかし、先祖代々からの人達と違って土地や家もなく、この先のことで寺や墓のことなど考える余裕もありません。子や孫に迷惑をかけないため、市内の交通の便の良い場所に庶民向けの大きな納骨堂を建設していただければ、安心してあの世、天国にいけると思います。</p>
<p>信心深くないので墓や仏壇関心ありません。墓は持っても郊外で良いのでは？自宅近くに新たに作られると地価が下がってかないません。</p>
<p>今、民営霊園を持っているが管理費がとても高いので納骨堂にうつりたいと思っている。子供達も遠いのであまり迷惑をかけたくない。お友達が集まればお墓の話をよくしています。早く民営の納骨堂でもできればと思う。とにかく今の霊園はバスが通っていません。不便です。</p>
<p>皆様と一緒に眠れる、静かで緑の多い場所がよい。（海の近くでもよい。）出来れば丘の上から眺められるところが心休（養）まるような気がします。</p>
<p>福岡市内で、交通の便が良い所がいいと思う。（将来）子供達が福岡市内に住むとは限らないので、県外からお墓参りに日帰りで行けるくらいの利便性があるといいと思う。</p>
<p>納骨堂を増設して欲しい。</p>
<p>公共の交通機関が利用できる場所に設置を希望する。高齢になっても参拝したい。</p>
<p>往復に時間がかかりすぎる。（6時間）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが入れやすいお墓・納骨堂を作れば、みんな老後が安心である。 ・交通の良い場所に作って欲しい。 ・無駄な所に税をかけすぎず、必要としている物だけに使って欲しい。

4. 墓地・納骨堂のあり方やイメージ等について（4件）

<p>お寺（含む納骨堂）は、先祖代々引き継いできたものであり、家系を継承していく以上は特段の事態が発生しない限りは守っていくべきであると思う。</p>
<p>死後の人間の形の処理は、すべての人々の避けられない問題です。しかし、思想信条、更に宗教観の違いから統一化、統合化を公的機関でまとめるのは多大なエネルギーが必要です。福岡市のマンション建築が増すのと比例して、公営の死後世界の受け入れ対策として私見を一つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家敷地の活用 <p>相続人のいない空き家の敷地に積層式、共同墓地を設ける。宗教・宗派毎に階層を異なる様にする。敷地境界線には宿根性の花を植える。落葉性の少ない樹を一本植える。管理は公園管理事務所の管轄とする。要するに、死後の共同住宅とするのです。近所の人々には散歩の一コースとなることで墓地観が変わるのではないのでしょうか。</p>
<p>土地が限られているので、共同墓や散骨がいいと思います。お墓を造るために自然をこわしてほしくないです。</p>

お墓は先祖に対する敬意と感謝だと思っている。ただ自分がその逆の立場に近づくとと思うと煩わしさが申し訳なく、本来の温かな気持ちを芽生えさせるには程遠いような気がします。子孫が先祖を思い、原点に立ち返ることが出来る場があることはとても素晴らしいことだけれど、それも格差のある現状です。誰もが、はじまりは1つだったかもしれないと思える素晴らしい場があるというのはありがたいことですね。皆がお弁当を持って、花を持って、先祖と対話出来る憩いの場（公園のようなもの）があればきっと楽しいことでしょう。お祭りのように毎日毎日それぞれが集える場、血縁関係が集まり、又初めての方々とも語りあえたらいいですね。そこで集えるのが楽しみになるような新しい場に、各々の先祖が一番残したい言葉や表現がそこにあれば、それも又、とても学習にもなります。死して尚、お隣の人に笑みが出るような記録があれば、それも又、楽しいでしょうね。死が楽しみになるような場を想像していただけたらと心から願ったりします。はじめの一步、生きているうちにあればいいなと思いました。

5. 合葬墓の設置要望や合葬墓について（12件）

共同墓があれば気持ちも楽に、お墓で眠れるかと思えます。家にしぼられずに自分自身として眠れれば幸いです。公営であれば、残った子どもに負担にもならずよいのではと改めて思いました。

合葬式共同墓について、費用面・管理面から今後のニーズが高まると思うので、福岡市としても積極的に対応して頂きたい。

今のところ必要としていませんが、将来、個々のお墓よりも合同の納骨堂や散骨はとても必要になってくると思います。先祖をないがしろにする訳ではありませんが、今生きている人の為のお墓や供養であってほしいです。

個人的には、納骨堂を購入し、長男が管理することに同意しておりますが将来のことは分かりません。社会的に問題視されている結婚しない傾向の強い現代においては、無縁者が増えつづけると管理も難しいのではないのでしょうか。倫理観と経済的な面を考えると、合葬式の共同墓は必要になってくると思います。私共に子どもがいなかったら、迷わずそちらを選択したと思います。

納骨堂に先祖が何人も入っているので、合葬式だと全員が入らないのでそこが1番の悩み。先祖をおいて自分たちだけが入るわけにもいかないし。全員だと高額になるでしょうから後継者もいないし、仕方ないと思ってあきらめています。

交通の便が良い所に公営の合葬式の共同墓を設置してほしい。

他県から子供達の住む福岡市へ転居。25年前に民間の霊園で墓地（5㎡）を購入していたが、転居の為霊園へ買い取ってもらった。（墓は建てていない）大都市では、土地の問題もあり公営の合葬式の共同墓を賛成します。又、骨つぼで納骨ではなく晒の袋などに納めて納骨し、土に戻るのが自然だと思う。

自分にとっては、まだ先の話だと思っているが、結婚もしていないため後の管理が心配だと思うところがあるので、合葬式の共同墓は良いと思います。

子供達に負担にならない様な距離で、環境の整った場所で合葬式の共同墓が今の所良いと思っています。

いずれ、共同墓地を作って無料で市民を入れられる様にして欲しい。死んでまでお金のかかる世の中は絶対におかしいと思います。

関西より転勤してきて、定年後も福岡に居住しています。神戸市内に夫の両親が眠るお墓がありますが、遠方のためなかなか墓参りもできないでいます。私達夫婦はその墓に入りますが、私の両親（父は他界）のための納骨堂を考えている最中でした。今のところ親族のいる関西で検討中ですが、福岡市内にできれば私共の息子、娘もおりますし、こちらで共同墓を利用したいと思いました。現在、神戸市内のお墓の管理も実際遠方に住む身には大変です。修理などの経済面でも大変です。共同墓という考え方には大賛成です。ぜひ実現させてくださることを期待しております。

家族構成や独身の人も多いという最近の世の中のことを考えると、共同墓なども今後必要になってくるのかなと思いました。

6. その他行政への要望（11件）

公営の墓所を用意するのも大変有意義であろうかと思います。しかし、現在の福岡の現状を考えると場所、費用等問題があると考えます。死んだ人のことより今から生きる子供にもう少し目を向けて、県税等はそちらに向けた方が良く考えます。今の若年の家庭の人はあまり墓にこだわりをもっていない様に思います。ですので、公費は別の使用目的にさせていただきたく思います。

偉そうに書きましたが、やっぱり子供の為の行政が一番だと思います。

公営墓地が少ないのではないかと。知人が墓地の申込をしているが当選しない。

市が永代供養をしてくれれば良い。

H28年度にはぜひ小学生の外来医療費0をやって下さい。古賀市はすでにやっています。公約は守って頂きたいです。

このアンケートで公営霊園があることを知りました。市役所のチラシコーナーをよく利用しますが、もっとわかりやすく紹介して下さるとありがたいですね。

福岡市公営霊園を利用していますが、今後とも定期的な清掃や維持管理の強化を希望いたします。

お墓管理者登録の際、市の職員の方の対応が良くなかった。（おしゃべりをされてて対応してもらえなかった）

所有しているお墓の修理（墓石と墓石の接着 etc）ができる施設や連絡先（市が契約している店）がわかるようにして頂けると助かると思います。

単身世帯が多く、私のように家庭の事情で家族と疎遠になっている人も少なくはないと思います。自分が亡くなってから、縁の薄かった身内や遠い親戚に煩わしさをかけるのなら、予め自分で選択できる国や自治体の制度が整っていると安心できます。様々な意見があつて、反発もあるかと思いますが、立場の弱い方々の意見がいくらかでも反映されることを願います。

以前テレビを観ている時、ちょうどお墓のインタビューを受けていた方が、お墓が高額で買えないので公共の墓地を申し込んでいるけれど、倍率が高くてなかなか当選しないとおっしゃっていました。これから公共の墓地を望む人達が増えると思うので、もっと利用しやすくなれば良いと思います。又、少子化の為お墓があっても見守ってもらえるお墓が少なくなると思うので、共同墓地も利用しやすくなればと思います。私のように散骨を望む方も増えるかもしれないです。

ひとり暮らしの方、身寄りのない方が安心して納骨、散骨できるような行政であってほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・宗旨・宗派にこだわると近くになく、宗旨替えが必要になる場合もあり悩ましい。 ・子や孫が福岡市に永住する見通しはなく（ここにしばりつけておくことになるので、それもかわいそう）、公営も選択肢の一つであると思っている。 ・何でも反対の人が必ずいるので、その必要性のビジョンをうち上げてほしい。
<p>人間関係が希薄な昨今、夫婦・兄弟姉妹の絆も親せき、近所づきあいも変容している時代背景があり、問16でいう自治体管理の墓・納骨堂が要望されよう。今後は、特定空き家条例にあるような管理なき墓等にも類似の規制も制定が望まれる。</p>

7. 公営や行政管理の墓地・納骨堂の設置希望・提案（12件）

<p>公営の霊園も納骨堂も必要であるとは思いますが。ハードルの低い、みんなが利用できる良いものが設置できる事を望んでいます。ひとり暮らしの方が多く、心配しています。</p>
<p>自身の埋葬手続をしてくれる近親者がいなくても、生前に契約しておける公営の共同墓があれば、死後まわりに迷惑をかけずにすむと思う。昨年、父親が民間経営のメモリアルパーク墓地を購入したが数百万円かかり、葬儀費用も含めると驚くほどの金額だった。</p>
<p>交通の便が良い高台にあると理想ですね！！公営管理の元であれば今からでも積み立てして、もしもの時にそなえておきたいですね！！</p>
<p>自宅近くに公営霊園があるのに抽選であったため、はずれてやむなく民営の霊園を利用しています。毎回抽選に応募しながらあたるのを待っている人もいます。お参りしやすいところにあると、年をとってから気軽に行けますので、公営の墓地や納骨堂が充実することが望まれていると思います。</p>
<p>公営霊園の拡張。公営納骨堂の設置を是非早くやって欲しい。おねがい致します。</p>
<p>市営、公営の墓地で、家族と一緒にのお墓にはいたい。</p>
<p>公営の納骨堂をぜひ設置してもらいたい。できれば多く！</p>
<p>年ですので考えてますが、交通の便利な所で安価な納骨堂でもと…。子供に迷惑かけないように出来たらよいかと考えて居ります。公営の納骨堂でも早く出来ればよいなども考えてます。</p>
<p>私一家は西部霊園に運よく墓地当選し、新墓を今年建立する事が出来ました。民間の霊園はよくは解りませんが、金額がお高いのではと思って居ります。市民の為にも、もっと公営の霊園が出来ればいいなと思います。</p>
<p>公営納骨堂の場合、上段・下段になっているのはためらいがあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市営のものを造るのであれば、車を所持していない人でも簡単にアクセスできる場所に造ってほしい。公共交通機関も便利であること。 ・そうすると、地価の高い場所になるかもしれないが、低料金での提供を望みます。 ・宗教・宗派はすべてOKであること。（ムスリムもユダヤ教もヒンドゥー教も、何もかもすべて含めてという意味） ・しかし本心を言えば…。私は死後まで自分をまつってほしいとは思わない。死んだら、それで終わり。だから墓・納骨堂を“市”が行うことには反対です。

基本的に死んでしまえば、骨はどんな状態にあっても一緒だという考えです。残される者の負担とならないように…と考えると個人所有のものは、もうこの時代には無理があるように思います。私は配偶者を事故で亡くした経験があります。幸いにも義両親の協力もあり墓地への納入ができていますが、若い時に突然…となると全ての人がきちんと処理できない場合もあると思うので、行政管理で共同（合葬墓地）があれば選択肢が増えありがたいのではと思いました。

8. 埋葬のあり方・宗教観など（散骨等）について（13件）

骨は海へ散骨を希望致します。長女への遺品等は準備致しており、そのみ郵便局より送付頂ければ幸いです。先方も承知しており、送付する物は私自身の日記帳など思い出の品です。以上

寺院の納骨堂を継承する予定です。しかし、親が購入したものであり、できれば自宅近くに買い替えたいのですが現在の納骨堂を解約してもお金は返ってこないし、又再度お金を準備しなければならない制度が納骨できません。お寺側の丸もうけが頭にきます。そういう理由で散骨などを希望しています。

P.S

- ・永代供養料という一括払いの高額費用についても寺側の都合のいい金もうけという気がしてなりません。
- ・つい最近、近所のおばあちゃんが九大に献体の事を聞くために問い合わせたそうですが、「多すぎて対応できません」と断られたそうです。

時代の要求だと思います。場所を確保しなくても済む散骨などのゆるやかな制度に変更を希望する人々は多くなるのではないのでしょうか。

宗教にとらわれない様な（無宗教）に関心があるので、散骨みたいな形式が一番良いと思う。

散骨は反対です。人の骨を気持ち悪いと思う人にとっては迷惑です。もし散骨を認めるなら、自宅の隣に墓（納骨堂）を建てていいはずですが。それと、墓（納骨堂）は「こだわり」ではないはずですが。大切な先祖の供養場所を「こだわり」と言うのは失礼だと思います。いろんな考え、いろんな宗派がある中、まとめるとは大変と思いますが、我々市民の死後の安心、遺族のためにもよろしく願います。散骨専用の山を一つ設けるのもよろしいかと思えます。

私は81才の老人（男）で、福岡へ移り住んで30年余り、当地で終焉したいと思っています。最後は土葬が望みですが、不可能なので散骨（博多湾への海洋葬）してもらいたいと望んでいます。事前に専門業者に当たってみました。安心して頼めなないと思えました。そこで、行政が信頼できる業者を選定し、市民に情報提供してもらえれば安心して選べます。これから亡くなる人が急増するようですが、簡素に最後を迎えられたらと思っています。ご検討いただければ幸いです。

私の両親のお墓は有ります。何かにつけお参りをし、語りかけ、心とむ時間です。お墓はそういう役割があると思います。私自身は散骨にしてほしいが、子供達が賛同してくれるかどうかです。

お金のかからない散骨をひろめて欲しい。お墓や納骨堂は入りません。配偶者等がない為です。

先ず、今の寺社のあり方に疑問あり。両親の法事等必要以上にお金がかかりすぎ。寺は色々あたりまえとあってある様な気がします。私は主人とも海洋散骨で良いと思っています。墓の前でなければ手を合わせられないと言うことはまちがいであって、一人ひとりの心の問題で毎朝お茶を入れ手を合わせています。子供にもその心を持ってくれば型にとらわれないで気も楽かなと思えますが、私達夫婦が死んだ後どうい結果にするかは子供の気持ちにまかせる事にします。

個人的には、散骨のみで良いと思う。

<p>子供はいますが、遠方にいますので迷惑をかけたくない。今考えているのは、大宰府の近くにある樹木葬の事を知りたいと思い、近々お友達と下見に行くつもりです。お寺の門徒さんになると、お寺の行事が多くて煩わしいと母がこぼしていました。</p>
<p>日本の墓石は大きすぎるので、場所など考えなければならない。公営のを作っていただくなら、いろんな人が集まる場所として明るいイメージでしてほしいのと、外国のような広々として散歩できるような公園が良い。そういうところだと、家族が来なくても、ひとりで生きてきた方でも心が動くのではないだろうか？</p> <p>納骨堂は、今のところ散骨しようとして主人共々考えているので頭の中にイメージするところはないが、上に書いたところがあれば、ほんのすこし分骨してお墓として考え、あとはやっぱり散骨ですね。納骨堂は、あとあといっぱいになるのでいりませんね。</p>
<p>お墓や納骨堂を新たに作るとなると、どうしても負のイメージが大きく反対してしまうと思う。その中でも樹木葬であれば“いかにもお墓”なイメージもなく、自然体で印象は良いと思う。あまり詳しく調べた事もないが、樹木葬ができる場所が少ないのでは？今までのお墓・納骨のイメージを脱却して、そういった埋葬法をPRしていくことも必要かと思います。実際に私は近年話題の「死活」を特集したテレビ番組で樹木葬の存在を知りました。管理費も安いし、現在のニーズに合っていると思いました。正直、まだお墓について真剣に考えたことはないですが、より身近な存在になってほしいです。</p>
<p>お骨を納める場所を持たない or 持ちたくない場合は、火葬場で骨を全て灰にして処理してもらえば良いと思う。人は土にかえり、人の心の中で思い出すことで良いと思う。</p>

9. 家庭や個人的な事情について（13件）

<p>実家の両親が眠る場所に来たら入りたい。</p>
<p>自分一人の問題ではないので、家族・親族との話し合いが必要であると思う。</p>
<p>母子家庭、二人姉妹の長女です。私も妹も長男と結婚し、母の遺骨のことで悩んでおります。</p>
<p>家系が下記の通りとなっています。</p> <p>①現在は夫婦2人暮らしです。</p> <p>②長男は独立し、東京で生計をたてています。子供（孫）は1人で、今春、東京大学（東大）に入学しました。</p> <p>③長女は福岡市内で既婚し生計をたてています。</p> <p>上記により、継承者の問題もあり苦慮しています。しかしながら、年齢も考えて市内に適度な納骨堂が入手出来るなら取得しようかと思っています。以上</p>
<p>私には先祖からの墓があるのですが、数年前に墓を移動した時に兄弟からお前も自分の墓を持たないといけな、と言われました。そんな事から、自分の墓を持つ、という気持ちが大きくなって自分の墓がほしくなりました。</p>
<p>①主人が亡くなり、主人の弟妹や父母を家で祭って居ますので一緒にお祭りしたいと思います。あとつぎが居ませんので。</p> <p>②費用を知りたいと思います。</p>
<p>私は博多区の空港近くに住んで居ます。前の方は空港ですが、山側に未だ未開の山間部があります。葬祭場が出来れば良いなと友達（高齢者）と話しております。</p>

<p>福岡市のお心遣い有りがとうございます。おかげさまで五島の郷里に親からの墓地が有りましたので、30年前に戒名を頂いて墓を建て、灰になれば入れる様になっております。元気なうちに用意をしていて良かったと。おかげさまで、大分足腰も力が小さくなりましたけどそろそろ過ぎております。どうぞ今後宜しくお世話様になります。</p>
<p>S40年頃平尾霊園への申し込みをしましたが、結局ダメでしたのでお寺さまの納骨堂にお世話様になってます。</p>
<p>私は、平尾霊園を子供と一緒に購入して居たが、急に弟が先祖の仏様を見ないと言って仏様を私の所へ持ってきた。姉妹の話し合いの上、私が見る様になったのでお墓の購入は考えてない。</p>
<p>糸島の二見ヶ浦霊園が、景色もよくてとてもよかったので。お墓に入ることを考えるのも大事ですが、お墓をお参りしてくれる人のことも考えるとよりいっそうすてきなものになるような気がします。私の実家のある県では、お墓にお花がないのを見ることはめずらしいです。承継者がいないのはしかたありませんが…。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・お墓や納骨堂はすでにありますので、あまり考えた事はありません。 ・お墓が住宅地の中にありますので、今後どうなっていくのかが少し心配ではあります。
<p>将来、福岡市に住んでいるか不明。夫・妻それぞれ県外に両親と墓が有るため。</p>

10. その他（5件）

<p>公営から民営化 or 第3セクターへの変更があった場合の管理、資料 etc の不徹底改善。 永代供養、家系、過去帳、遺骨 etc の長期管理、情報漏えい問題。 法要 etc 仏事、作法 etc の案内。 土地が広大だと墓参りしづらい。駐車場問題。 アンケート調査結果 etc にて福岡市としての方向性、施策 etc の情報公開。</p>
<p>必ず一生に一度は通る過程であるので、事前に自分自身が方向性の考え・行動をしておくべきだと思います。</p>
<p>自分や家族が亡くなった時に具体的にどうなるか、どのようにすればいいかがわからなくて不安を感じる。 公・民営でどのような選択肢があるか漠然のままになっている。</p>
<p>私自身、県外に両親の納骨堂があるのですが、私ども夫婦には娘しかおらず、両親、私どもの遺骨の管理を今後どうしていったらよいか悩んでおります。私自身の遺骨の一部は宮崎の思い出の地に（海）に一部散骨し、残りは樹木葬を検討していますが家族はそれで良いかどうかとか、まだ結論は出ていません。</p>
<p>このアンケートはお墓や納骨堂不足の問題なのでしょうか？市内で土地を探すのは困難かなと思います。市近郊の市町村に協力していただいて、土地を見つけられないでしょうか？</p>

平成27年度 福岡市墓地・納骨堂に関する 市民アンケート調査

(ご協力のお願い)

市民の皆様には、日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、一人でも多くの市民の皆様の声をお聴きし、墓地・納骨堂の需要量及び実態を把握することにより、今後の福岡市における墓地・納骨堂経営に関するあり方を考える資料とすることを目的として、市内にお住まいの30歳以上の方から2,000人を無作為に選び、調査票をお送りしています。

調査は無記名で行い、調査の結果は「こういう意見の方が何%」というように数字で統計的に処理しますので、お答えいただきました各個人の回答が公表されることはありません。併せて、本調査以外の目的に使用することはありません。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただくとともに、皆様のご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

平成27年6月

福岡市長 高島 宗一郎

(回答のお願い)

1. この調査票は、必ず宛名のご本人がお答えください。
2. 調査については、平成27年4月1日現在の状況をご記入ください。
3. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。または枠内に該当する番号をご記入ください。「その他」にあてはまる場合には、() 内に具体的な内容をできるだけご記入ください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございます。ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて**平成27年6月21日(日)**までに投函してください。その際、お名前やご住所のご記入は不要です。
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

<調査主体> 福岡市保健福祉局生活衛生課 墓地・葬祭場管理係
担当：前田・高尾 電話：092-711-4273
FAX：092-733-5588

<調査実施・お問い合わせ先>
株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所
担当：栗原・水町 電話：092-411-8811
FAX：092-411-8851

調査にご協力いただいているあなたやご家庭のことについておたずねします。
あてはまる番号に○をつけて下さい。

問1. あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2. あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 30～39歳 | 2. 40～49歳 | 3. 50～59歳 |
| 4. 60～69歳 | 5. 70歳以上 | |

問3. あなたは世帯の中で次のうちのどれにあたりますか。(○は1つだけ)

※「世帯主」とは、主にその世帯の家計を支えている人です。なお、一人暮らしの方は「世帯主」に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|------------|-------------------|
| 1. 世帯主 | 2. 世帯主の配偶者 | 3. 世帯主の配偶者以外の同居家族 |
| 4. その他(具体的に_____) | | |

問4. あなたには配偶者がいますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問5. あなたの親御さんからみたあなたの続柄をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|--------------|
| 1. 長男 | 2. 長女 | 3. 長男・長女ではない |
|-------|-------|--------------|

問6. あなたが現在お住まいの区をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 東区 | 2. 博多区 | 3. 中央区 | 4. 南区 |
| 5. 城南区 | 6. 早良区 | 7. 西区 | |

問7. あなたは、これからも福岡市内に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. できれば福岡市内に住み続けたい |
| 2. 市外へ転出しても、いずれは市内に戻って暮らしたい |
| 3. いずれ市外へ転出したい |
| 4. わからない |

お墓や納骨堂についておたずねします。あてはまる番号に○をつけて下さい。

問8. あなたのお住まいの近くに新しくお墓や納骨堂ができるとしたら、あなたはごどう思いますか。お墓と納骨堂それぞれについて、お考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つだけ)

お墓	1. 反対である	2. できれば作って欲しくない
	3. 計画内容によっては反対しない	4. 作っても構わない 5. わからない
納骨堂	1. 反対である	2. できれば作って欲しくない
	3. 計画内容によっては反対しない	4. 作っても構わない 5. わからない

問9. あなたは、現在利用できるお墓や納骨堂を持っていますか。(○は1つだけ)

※「利用できるお墓や納骨堂」とは、あなた(あなたの親近者を含む)が亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂のことです。

1. 持っている	→ 問9-1へお進みください
2. 持っていない	} 問10へお進みください
3. わからない	

ここからは、問9で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問9-1. それはどのようなお墓や納骨堂ですか。(○は1つだけ)

1. 公営霊園	: 県, 市町村など公共団体が設置・管理する霊園
2. 民営霊園	: 民間事業者が設置・管理する霊園
3. 市有・財産区有墓地	: 地元の入会地などにあり, 先祖伝来のお墓
4. 市有・財産区有納骨堂	: 地元の入会地などにあり, 先祖伝来の納骨堂
5. 寺院のお墓	: 寺院(お寺)などが設置・管理するお墓
6. 寺院の納骨堂	: 寺院(お寺)などが設置・管理する納骨堂
7. その他(具体的に_____)	

問9-2. そのお墓や納骨堂はどのようにして取得されましたか。(○は1つだけ)

1. 先祖伝来のお墓や納骨堂を相続	2. 親が取得
3. 自分で取得	4. その他(具体的に_____)

問9-3. そのお墓や納骨堂はどこにありますか。(○は1つだけ)

1. 市内	2. 県内	3. その他の地域
-------	-------	-----------

問9-4. あなたはそのお墓や納骨堂に、過去1年間に何回お参りをしましたか。(○は1つだけ)

1. 5回以上	2. 3~4回	3. 1~2回	4. この1年はしていない
---------	---------	---------	---------------

全員の方におたずねします。

問10. あなたは先祖のお墓や納骨堂を守る立場にありますか。(○は1つだけ)

1. あると思う 2. ないと思う 3. わからない

問11. あなたは新たにお墓や納骨堂の取得を考えていますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

※問9で「1」とお答えの方もお答えください。

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 今, 具体的に考えていて2年以内には取得したい | } 問11-1へお進みください |
| 2. 5年以内には取得したい | |
| 3. 10年以内には取得したい | |
| 4. 20年以内には取得したい | |
| 5. 現在は考えていないが, 将来(20年以上先)は検討しなければならないと思う | |
| 6. 取得は特に考えていない | } 問12へお進みください |
| 7. わからない | |

ここからは, 問11で「1」～「5」とお答えの方のみにおたずねします。

問11-1. 新たにお墓や納骨堂の取得を考えている理由はなんですか(○は2つまで)

1. 現在, 遺骨があるが, 利用できるお墓や納骨堂がないため
2. 現在利用できるお墓や納骨堂がないから, 将来のことを考えて
3. 現在利用できるお墓や納骨堂に不満があるから
4. 現在利用できるお墓や納骨堂に入りたくないから
5. 遠方にある遺骨を福岡市内に移したいから
6. その他(具体的に_____)

問11-2. 仮にお墓や納骨堂を取得する場合, どのようなものを希望しますか。(○はいくつでも)

1. 公営霊園 : 県, 市町村など公共団体が設置・管理する霊園
2. 民営霊園 : 民間事業者が設置・管理する霊園
3. 市有・財産区有墓地 : 地元の入会地などにあり, 先祖伝来のお墓
4. 市有・財産区有納骨堂 : 地元の入会地などにあり, 先祖伝来の納骨堂
5. 寺院のお墓 : 寺院(お寺)などが設置・管理するお墓
6. 寺院の納骨堂 : 寺院(お寺)などが設置・管理する納骨堂
7. その他(具体的に_____)
8. 特にこだわらない

問11-3. 問11-2で○をつけた中で、もっとも希望するものの番号をお書きください。

(記入する番号は1つだけ)

問11-4. あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、どのような場所が良いと思いますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 現在の居住地の近く | 2. 市街地の交通の便の良いところ |
| 3. 市内の自然に恵まれた郊外 | 4. 市外の自然に恵まれた郊外 |
| 5. その他 (_____) | 6. わからない |

問11-5. あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、ご自宅からの距離は片道の移動時間にしてどのくらいが適当だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------------------|---------------------------|----------|----------|
| 1. 15分以内 | 2. 30分以内 | 3. 1時間以内 | 4. 2時間以内 |
| 5. 3時間以内 | 6. 片道に3時間以上かかるが、日帰りができる距離 | | |
| 7. 日帰りができなくてもかまわない | 8. わからない | | |

問11-6. あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、重視することは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 費用(取得費や管理費) | 2. 管理や運営の形態 |
| 3. 周囲の環境 | 4. 自宅からの距離や交通利便性 |
| 5. 宗旨や宗派 | 6. その他(具体的に _____) |
| 7. 特にこだわらない | |

問11-7. 問11-6で○をつけた中で、もっとも重視するものの番号をお書きください。

(記入する番号は1つだけ)

問11-8. あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、どのような形式のものを希望しますか
(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|--------|-------------|
| 1. お墓 | 2. 納骨堂 | 3. 合葬式の共同墓※ |
| 4. その他(具体的に _____) | | |

※「合葬式の共同墓」については、次のページの説明をご参照ください。

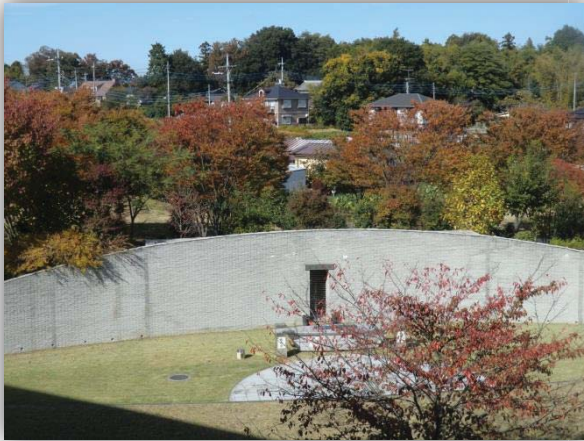
問11-9. 問11-8で○をつけた中で、もっとも希望するものの番号をお書きください。

(記入する番号は1つだけ)

合葬式の共同墓について

※「合葬式の共同墓」とは、一つのお墓に多くの遺骨と一緒に埋葬するという新しい形態のお墓です。関東や関西では実際に利用され、次のような特色を持っています。

- (1) 承継を前提としない共同のお墓です。
- (2) 前面の献花台やモニュメント等への参拝となります。納骨堂と異なり、遺骨を納めている施設内に入って遺骨の前での参拝はできません。
- (3) 施設への納骨後、すぐに他の遺骨と一緒に合葬する方法と、最初は個別に埋葬し、一定期間（25年程度）経過後に他の遺骨と一緒に合葬する方法を選ぶことができます。
- (4) 生前にも予約という形で申し込むことができます。
- (5) お墓を継いでくれる人がいない方もご利用できます。
- (6) 施設のイメージは、下図をご参照ください。



※前面は誰でも参拝ができるように献花台があり、納骨場所・合葬場所は背面に設置されます。

合葬式の共同墓※について、全員の方におたずねします

問12. 「合葬式の共同墓」を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

問13. お墓を継いでくれる人がいないために「合葬式の共同墓」が考案されています。あなたはこのような「合葬式の共同墓」についてどのように考えますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 積極的に評価する | } 問13-1へお進みください |
| 2. 関心を持っている | |
| 3. やむを得ない | |
| 4. ふさわしくない | } 問14へお進みください |
| 5. その他 (_____) | |
| 6. わからない | |

ここからは、問13で「1」～「3」とお答えの方のみにおたずねします。

問13-1. 福岡市が市営の「合葬式の共同墓」を設置した場合、あなたは利用したいですか。(○は1つだけ)

1. 利用したい → 問13-2へお進みください
2. 利用したくない → 問13-4へお進みください
3. わからない → 問14へお進みください

ここからは、問13-1で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問13-2. 「合葬式の共同墓」を利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 墓石を建立するのは高額だから
2. 承継者がいないから
3. 子どもや家族に迷惑を掛けたくないから
4. 先祖と同じお墓や納骨堂に入りたくないから
5. その他 (_____)

問13-3. 「合葬式の共同墓」を利用する際の条件は何ですか。(○はいくつでも)

1. 夫婦や家族で利用できるなら、利用したい
2. お墓の形態によっては利用したい
3. 設置場所によっては利用したい
4. その他 (_____)

問13-3-1. 問13-3で「2」とお答えの方のみにおたずねします。

(それ以外の方は、問13-3-2へお進みください)

「合葬式の共同墓」をどのような形態で利用したいですか。(○はいくつでも)

1. モニュメント式の合葬墓
2. 樹木葬式の合葬墓
3. その他 (_____)

問13-3-2. 問13-3で「3」とお答えの方のみにおたずねします。

(それ以外の方は、問14へお進みください)

「合葬式の共同墓」をどこで利用したいですか。(○はいくつでも)

1. 平尾霊園 (南区平和4丁目)
 2. 三日月山霊園 (東区大字香椎)
 3. 西部霊園 (西区大字羽根戸)
 4. 1～3以外に福岡市内に新設
- ⇒ 問14にお進みください

ここからは、問13-1で「2」とお答えの方のみにおたずねします。

問13-4. 「合葬式の共同墓」を「利用したくない」という理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 他の遺骨と一緒に合葬だから
2. 管理・運営の内容がわからないから
3. 遺族が合葬を希望しないと思うから
4. 合葬すると他の場所へ改葬できないから
5. すでにお墓や納骨堂を持っているから
6. お墓の承継者がいるから
7. その他 (_____)

全員の方におたずねします。

問14. 海や山へ遺骨をまく、いわゆる散骨が話題になっています。あなたは散骨についてどのように考えますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|------------------------|---|---------------|
| 1. 賛同する | } | 問14-1へお進みください |
| 2. 本人(故人)の希望であれば認めても良い | | |
| 3. 賛同しない | } | 問15へお進みください |
| 4. その他 (_____) | | |
| 5. わからない | | |

ここからは、問14で「1」または「2」とお答えの方のみにおたずねします。

問14-1. あなたご自身が散骨によって葬られることを希望しますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 遺骨の全部の散骨を希望 | 2. 遺骨の一部を散骨し、残りは納骨を希望 |
| 3. 散骨は希望しない | 4. その他 (_____) |
| 5. わからない | |

問14-2. あなたは散骨する場所についてどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 公営の霊園内の定められた場所 | 2. 民間の墓地内の定められた場所 |
| 3. 山を含む公共用地 | 4. 山を含む私有地 |
| 5. 博多湾内 | 6. 玄海灘等の外洋 |
| 7. その他 (_____) | 8. どこでも良い |
| _____) | 9. わからない |

全員の方におたずねします。

問15. あなたは現在、お墓や納骨堂について何か問題を感じていますか。(○は1つだけ)

1. 感じている → 問15-1へお進みください
2. 感じていない → 問16へお進みください

ここからは、問15で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問15-1. それはどのような問題ですか。(○はいくつでも)

1. 現在利用できるお墓や納骨堂がない
2. お墓や納骨堂を守る承継者がいない
3. 墓地・墓石の値段が高い
4. 納骨堂の値段が高い
5. 今あるお墓や納骨堂に入りたくない
6. お墓や納骨堂の管理が難しい
7. お墓や納骨堂の管理者とトラブルがある
8. 漠然とした不安を感じている
9. その他(具体的に_____)

全員の方におたずねします。

問16. あなたがお墓や納骨堂に関し、福岡市に求めるものは何ですか。(○はいくつでも)

※具体的な要望などがあれば問17の欄にお書きください。

1. 公営霊園の拡張
2. 公営の「合葬式の共同墓」の設置
3. 公営納骨堂の設置
4. その他(_____)
5. 特になし

5 福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査集計結果

問1. 団体種別

全体	仏教系	神道系	キリスト教系	公益法人	その他	無回答
230	192	14	12	3	7	2
100.0	83.5	6.1	5.2	1.3	3.0	0.9

宗教団体か否か

全体	宗教団体である	宗教団体でない	無回答
230	220	5	5
100.0	95.7	2.2	2.2

問2. 団体の主たる事務所の所在地

全体	福岡市東区	福岡市博多区	福岡市中央区	福岡市南区	福岡市城南区	福岡市早良区	福岡市西区	福岡市外	無回答
230	29	38	35	15	8	22	23	59	1
100.0	12.6	16.5	15.2	6.5	3.5	9.6	10.0	25.7	0.4

問3. 墓地所有の有無

全体	ある	ない	無回答
230	87	136	7
100.0	37.8	59.1	3.0

問3-1. 所有墓地の所在地

全体	福岡市東区	福岡市博多区	福岡市中央区	福岡市南区	福岡市城南区	福岡市早良区	福岡市西区	福岡市外	無回答
87	7	13	16	8	3	6	9	28	2
100.0	8.0	14.9	18.4	9.2	3.4	6.9	10.3	32.2	2.3

問3-2. 墓地利用者の自宗派限定の有無

全体	限定している	限定していない	無回答
82	61	18	3
100.0	74.4	22.0	3.7

問3-3. 墓地利用者に占める福岡市内居住者の割合

全体	0%	1%	2%	3%	4%	5%	6%	7%	8%	9%	無回答
87	15	7	2	1	2	5	11	10	14	10	10
100.0	17.2	8.0	2.3	1.1	2.3	5.7	12.6	11.5	16.1	11.5	11.5

問3-4. 墓地区画数

全体	10区画未満	10区画以上50区画未満	満50区画以上100区画未満	未満100区画以上200区画	画未満200区画以上1000区	1000区画以上	無回答
87 100.0	13 14.9	9 10.3	3 3.4	13 14.9	23 26.4	12 13.8	14 16.1

問3-4. 墓地区画数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
73	84,185	1,153.2	170.0	1	14,000

問3-4-1. 無縁墓地区画数

全体	0区画	1区画以上10区画未満	10区画以上50区画未満	満50区画以上100区画未	未満100区画以上200区	画未満200区画以上1000区	1000区画以上	無回答
87 100.0	15 17.2	20 23.0	10 11.5	5 5.7	0 -	1 1.1	0 -	36 41.4

問3-4-1. 無縁墓地区画数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
51	765	15.0	2.0	0	200

問3-4-1. 無縁墓地区画の有無

全体	ある	ない	無回答
87 100.0	36 41.4	15 17.2	36 41.4

問3-4-1. 無縁墓地区画数(無縁墓地区画が1区画以上)

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
36	765	21.3	8.0	1	200

問3-4-1. 未使用墓地区画数

全体	0区画	1区画以上10区画未満	10区画以上50区画未満	満50区画以上100区画未	未満100区画以上200区	画未満200区画以上1000区	1000区画以上	無回答
87 100.0	11 12.6	13 14.9	16 18.4	5 5.7	0 -	4 4.6	6 6.9	32 36.8

問3-4-1. 未使用墓地区画数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
55	18,745	340.8	10.0	0	4,550

問3-4-1. 未使用墓地区画の有無

全体	ある	ない	無回答
87 100.0	44 50.6	11 12.6	32 36.8

問3-4-1. 未使用墓地区画数(未使用墓地区画が1区画以上)

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
44	18,745	426.0	13.0	1	4,550

問3-4-1. 合祀用墓地区画数

全体	0区画	1区画以上 10区画未満	10区画以上 50区画未満	50区画以上 100区画未満	100区画以上 200区画未満	200区画以上 1000区画以上	1000区画以上	無回答
87 100.0	17 19.5	36 41.4	2 2.3	1 1.1	1 1.1	1 1.1	0 -	29 33.3

問3-4-1. 合祀用墓地区画数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
58	894	15.4	1.0	0	620

問3-4-1. 合祀用墓地区画の有無

全体	ある	ない	無回答
87 100.0	41 47.1	17 19.5	29 33.3

問3-4-1. 合祀用墓地区画数(合祀用墓地区画が1区画以上)

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
41	894	21.8	1.0	1	620

問4. 墓地の新設・拡張計画の有無

全体	ある	あるが規模は未定	ない	わからない	無回答
230 100.0	4 1.7	8 3.5	184 80.0	22 9.6	12 5.2

問4. 墓地の新設・拡張計画の区画数

全体	10区画未満	10区画以上 50区画未満	50区画以上 100区画未満	100区画以上 200区画未満	200区画以上 1000区画未満	1000区画以上	無回答
4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 -	0 -	1 25.0	1 25.0	0 -

問4. 墓地の新設・拡張計画の区画数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
4	1,841	460.3	420.0	1	1,000

問4-1. 墓地の新設・拡張計画の予定時期

全体	1年以内	1年超〜 3年以内	3年超〜 5年以内	5年超〜 10年以内	決めていない	無回答
12 100.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	7 58.3	0 -

問4-2. 新設・拡張計画の墓地の自宗派限定の有無

全体	限定する	限定しない	わからない	無回答
11 100.0	6 54.5	4 36.4	0 -	1 9.1

問4-3. 新設・拡張計画の墓地の形態

全体	4㎡以上の区画をもつ従来の日本式墓地	4㎡未満程度の区画をもつ従来の日本式墓地	夫婦のみとするなど需要を満たす小型の墓、個人墓地	区画を設ける芝生式などの墓地	区画を設けない芝生式などの墓地	易な墓地	壁面式などの立体集約型で比較的安価で維持管理が容易な墓地	志向の墓地	焼骨を直接土に埋蔵してプレートや樹木を用いる自然志向の墓地	合葬式の共同墓地	一定期間後、合葬する有期限の墓地	その他の形式の墓地	無回答
12 100.0	3 25.0	6 50.0	3 25.0	0 -	0 -	1 8.3	1 8.3	3 25.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3		

問5. 今後求められる墓地の形態

全体	4㎡以上の区画をもつ従来の日本式墓地	4㎡未満程度の区画をもつ従来の日本式墓地	夫婦のみとするなど需要を満たす小型の墓、個人墓地	区画を設ける芝生式などの墓地	区画を設けない芝生式などの墓地	易な墓地	壁面式などの立体集約型で比較的安価で維持管理が容易な墓地	志向の墓地	焼骨を直接土に埋蔵してプレートや樹木を用いる自然志向の墓地	合葬式の共同墓地	一定期間後、合葬する有期限の墓地	その他の形式の墓地	無回答
230 100.0	7 3.0	54 23.5	66 28.7	8 3.5	15 6.5	57 24.8	25 10.9	75 32.6	52 22.6	15 6.5	47 20.4		

問6. 信者からの墓地の新設・拡張の要望の有無

全体	強い要望がある	要望がある	要望はない	無回答
220 100.0	6 2.7	36 16.4	165 75.0	13 5.9

問7. 納骨堂所有の有無

全体	ある	ない	無回答
230 100.0	209 90.9	19 8.3	2 0.9

問7-1. 納骨堂利用者に占める福岡市内居住者の割合

全体	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
209 100.0	25 12.0	13 6.2	10 4.8	5 2.4	8 3.8	9 4.3	22 10.5	35 16.7	52 24.9	26 12.4	4 1.9

問7-2. 納骨堂の壇数

全体	10壇未満	10壇以上50壇未満	50壇以上100壇未満	100壇以上200壇未満	200壇以上300壇未満	300壇以上	1000壇以上	無回答
209	8	11	8	45	124	8	5	
100.0	3.8	5.3	3.8	21.5	59.3	3.8	2.4	

問7-2. 納骨堂の壇数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
204	79,893	391.6	280.0	1	6,433

問7-3. 納骨堂の未使用の壇数

全体	0壇	1壇以上10壇未満	10壇以上50壇未満	50壇以上100壇未満	100壇以上200壇未満	200壇以上300壇未満	300壇以上	1000壇以上	無回答
209	33	30	72	27	23	14	4	6	
100.0	15.8	14.4	34.4	12.9	11.0	6.7	1.9	2.9	

問7-3. 納骨堂の未使用の壇数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
203	16,587	81.7	20.0	0	1,433

問7-3. 納骨堂の未使用の壇の有無

全体	ある	ない	無回答
209	170	33	6
100.0	81.3	15.8	2.9

問7-3. 納骨堂の未使用の壇数(納骨堂の未使用の壇が1壇以上)

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
170	16,587	97.6	30.0	1	1,433

問8. 納骨堂の新設・拡張計画の有無

全体	ある	ない	無回答
230	51	178	1
100.0	22.2	77.4	0.4

問8-1. 納骨堂の新設・拡張計画の予定時期

全体	1年以内	1年超〜3年以内	3年超〜5年以内	5年超〜10年以内	決めていない	無回答
51	5	10	10	5	21	0
100.0	9.8	19.6	19.6	9.8	41.2	-

問8-2. 納骨堂を新設・拡張する理由

全体	絶対数が不足しているから	設けたい場所が無いから	墓地が欲しいが、墓地を建てるから	同じ面積で、墓地より多くお骨を入れることができるから	墓地よりも管理が容易だから	墓地よりも建設の費用負担が少ないから	納骨堂が老朽化してきたから	その他	無回答
51	32	7	8	17	6	16	12	0	
100.0	62.7	13.7	15.7	33.3	11.8	31.4	23.5	-	

問8-3. 納骨堂の新設・拡張計画の場所と規模

全 体	墓地の区域に新築する	境内など墓地以外の自己所有地に新築する	場所は未定であるが規模は決定している	既存の納骨堂を増築する	既存の納骨堂を建替える	計画はあるが詳細は未定である	その他	無回答
51 100.0	3 5.9	5 9.8	1 2.0	16 31.4	11 21.6	18 35.3	5 9.8	0 -

問8-3. 墓地の区域に新築する 壇数

全 体	10壇未満	10壇以上50壇未満	50壇以上100壇未満	100壇以上200壇未満	満200壇以上	1000壇以上	無回答
3 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	1 33.3	0 -	2 66.7

問8-3. 墓地の区域に新築する 壇数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
1	500	500.0	500.0	500	500

問8-3. 境内など墓地以外の自己所有地に新築する 壇数

全 体	10壇未満	10壇以上50壇未満	50壇以上100壇未満	100壇以上200壇未満	満200壇以上	1000壇以上	無回答
5 100.0	0 -	0 -	0 -	3 60.0	2 40.0	0 -	0 -

問8-3. 境内など墓地以外の自己所有地に新築する 壇数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
5	800	160.0	150.0	100	200

問8-3. 場所は未定であるが規模は決定している 壇数

全 体	10壇未満	10壇以上50壇未満	50壇以上100壇未満	100壇以上200壇未満	満200壇以上	1000壇以上	無回答
1 100.0	0 -	1 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

問8-3. 場所は未定であるが規模は決定している 壇数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
1	30	30.0	30.0	30	30

問8-3. 既存の納骨堂を増築する 増加壇数

全 体	10壇未満	10壇以上50壇未満	50壇以上100壇未満	100壇以上200壇未満	満200壇以上	1000壇以上	無回答
16 100.0	0 -	3 18.8	4 25.0	1 6.3	3 18.8	0 -	5 31.3

問8-3. 既存の納骨堂を増築する 増加壇数

件数	合計値	平均値	中央値	最小値	最大値
11	1,735	157.7	80.0	30	800

問8-3. 既存の納骨堂を建替える 増加壇数

全 体	1 0 壇 未 満	1 0 壇 以 上 5 0 壇 未 満	5 0 壇 以 上 1 0 0 壇 未 満	1 0 0 壇 以 上 2 0 0 壇 未 満	満 2 0 0 壇 以 上 1 0 0 0 壇 未 満	1 0 0 0 壇 以 上	無 回 答
11 100.0	0 -	0 -	0 -	3 27.3	1 9.1	0 -	7 63.6

問8-3. 既存の納骨堂を建替える 増加壇数

件 数	合 計 値	平 均 値	中 央 値	最 小 値	最 大 値
4	500	125.0	100.0	100	200

問9. 納骨堂を新設・拡張しない理由

全 体	納 骨 堂 や 墓 地 な ど の 経 営 を 行 う 必 要 が な い か ら	現 在 有 り て い る 墓 地 及 び 納 骨 堂 で 足 り て い る か ら	建 築 す る 場 所 が な い か ら	資 金 計 画 が 未 定 だ か ら	そ の 他	無 回 答
178 100.0	6 3.4	124 69.7	44 24.7	37 20.8	14 7.9	2 1.1

6 経営者用アンケート自由記入欄記載内容

問 10 **墓地行政についてご意見などがございましたら、自由にご記入ください。**

1. 費用・管理等について(2件)

子供達が東京方面とかに移られる方が多いので移しやすい納骨堂を希望されている。しかし、安価な納骨堂がない。安いになると樹木葬などになる。納骨堂の安価なものを作ってあげたいけど許可などが複雑で前に進めない。

現行制度では、将来経営が立ち行かなくなる公益法人の霊園が続出することは明白である。(墓地完売後の財源確保は至難であり、管理料収入のみで賄うことは不可能)破綻した霊園をどのように存続させていくかを今のうちから真剣に検討するべきである。

2. 墓地・納骨堂の立地・設備等について(2件)

現在は宗教はきびしい状態です。若い人に継承されてなく、当方に責任があるとは思いますが、特に親先祖の事を考えている人が減少していますので核家族化しての事もあると思いますし、やがて自身が行く所と存じますので、心ある方には伝えておりますが当教会としては初代・二代・三代教会家族は中心に入っていますが、納骨堂としては4家族しか奉納していませんが、その中で2家族が若い人が来なくなっていますので…。納骨堂が出来て10年位で、主になって建てた人は亡くなり、先代も亡くなり7年に成っていますので、後、教徒の若い人と取り組んでいく様にはしていますがなかなかと云う所ですのでなかなか困難な中ですが信徒と一緒に頑張るよう願っています。

昔は近くに墓地が有りましたが、昭和37年頃改葬する事になりその当時の人達が寺の横の空き地に、寺より分譲してもらい校区の納骨堂を建てられ、皆さんはそれを購入し現在に至っております。

3. 墓地・納骨堂のあり方やイメージ等について(6件)

近年、墓地の継承者がなく、又管理が難しい(遠隔地等)などの理由で霊園より納骨堂に移行している者が増加しているように思います。又、霊園によっては管理状況が悪く荒れている墓地を拝見しますと、行政調査等を定期的にしていただき、ご指導される必要性を感じます。テレビ等で“お墓は一生の買い物”と宣伝していますが、そのような状況でない時代になってきているようです。納骨後、いかに大切に管理するかが霊園運営に求められるかと存じます。

修道院の納骨堂には独身の方が多い。自分ですべて終わりで世話をさせていただく必要のない修道院なら安心だから…と云うことで申し込みされる方が多い。死-葬儀屋-火葬-納骨ときめて葬儀屋さんに頼んでいる方が多い。少子化の時代で環境のことも考えないといけない時代ですから、納骨堂のようなものを質素なものを公的であればみなさん安心出来るのでは…。よい場所に大きな墓地を作ったり、石で造られたりしますと100年後、200年後どうにもならない場所ばかりになって未来を生きる方々が困るのではないのでしょうか?しばらく死者の多い時代が続きますから未来のことを考えながら行政でしっかりと計画されますように。

私共は維持費とか永代供養料などいただいていません。

墓地・納骨堂離れが進んでいる。今後の事を考えると大変です。

小型区画の納骨堂を含めた墓地がこれから求められるのではないのでしょうか。
1. 現代人が安心できる墓地を作って欲しい。 2. 継承者がいなくてもいい。 3. 身寄りがなくても代行で納めてくれるシステム。 4. 管理費の減額。一括納入。 5. 樹木・海洋散骨の勧め。 6. 合祀墓の勧め。 などです。
日本の少子化と娯楽志向を幸せに思う人々が増加することによって、個人や先祖を偲び祠る美しい生活習慣（親切心）がうすれ、墓は邪魔物になっていくように思われます。

4. 行政への手続きについて(5件)

門徒の加入者が居るのに行政が認可権を持つのはおかしい。遺骨を預かり、門徒を増やすのは宗教活動であり行政が関わってくるのはおかしい。
改葬をもっと簡単にしてほしい。
福岡市の納骨堂に関する書類は繁雑すぎます。
<ul style="list-style-type: none"> ・各区の担当者によって指導方針が異なっているため、事務手続きが難しく統一を図ってほしい。 ・設置基準の緩和の要望。 ・設置基準に伴う追加工事が発生しないための、事前打合せの必要性。
ペット用を兼ねる時、どのような手続きが必要か分からない。ニーズに合ったものを作る時、法的な制約が多いと感じる。

5. その他の行政への要望(12件)

霊園等の墓地の管理者が赤字となり無責任な事をしない様行政が見守り、場合によっては引き受ける事も必要になるかもしれません。また、空き家と同様無縁の墓地もこれから増加すると思われます。そうしたものの管理も行政としてこれから考える事も必要かと思えます。むやみに墓地や霊園を増加させる事はあまり好ましい事ではないと考えます。
市営霊園の募集をもっと増やしてほしい。
納骨堂で加入者の宗派は問わないとなっても、加入したら檀家にならなければいけない等のケースが多い。結果、遠くの民間の墓地に入るしかない。墓・納骨堂の数は足りていても、必要とされている墓・納骨堂は不足している。将来高齢化が進めば遠方の不便な場所へのお参りは困難な家族が増えると思われるので、数ばかりではなく対応してほしい。
墓地には供花があがるが、以前は敷地内にて焼却処分していましたが、最近は焼却できなくなり非常に困る。数百年前からしてきた事が、近年になりダメというのはどうでしょうか。
直葬の死者に対し、法名付や法要、又は納骨に対しすべて断っています。仏か神か分からない死者に対して宗教儀式は行なえない。そのような死者に対しての行政は何もしていないような気がする。受け入れの事も考えてほしい。
苦情の多い霊園に対して行政指導を。
行政によって納骨堂に関する指導が違いすぎる。

県内過疎地域に在る、宗教法人所有の墓地の再活用は大切な事と思います。日本人の家庭・家族のあり方が大きく変化し、少人数化、大都市集中化に対応する政策が大切です。
住民の皆様の実情に寄り添う行政を願います。
墓地や納骨堂の適切な管理のため、「墓地並びに埋葬に関する法律」の福岡市の施行細則などの資料を配布してほしい。
認可がもう少し容易に出来ればよい。
納骨後、行方不明願主が増えて遺骨のあつかいに困っている。管理者側の処置が可能な様になって下さると良いのだが。

6. 埋葬のあり方・宗教観など(1件)

お寺は商売ではありません。納骨堂は遺骨を納める場所ですが、個人を縁として生き仏様がお話を聞いて苦の無常のこの世を生き抜く処世術として、親の先祖の故人の願いを汲んで生きて行ってほしい。ただ遺骨を納めるためだけのお寺の納骨堂ならナンボお金を出されても断っています。仏縁を切れば、そこでたての縁が崩壊し、自分だけの欲得の人生となり、わがまま（わが意のまま、わが思うまま）な自分中心のはかない人生となり、人間崩壊から家庭崩壊へとつながり行方不明者がどんどん出だし、お寺は困ることになるのです。自分さえよければでなく、親の先祖の願い、恩の生きてほしいのが今の私のいつわらざる願い、思いです。心の通い合う仕合わせの連携をと願っています。相手の願い、欲求もあろうがそれがわがままなら困るし、事務的・義務的な対応にならんようお願いします。

7. 墓地・納骨堂の許可について(14件)

昨年、城南区役所より墓地・納骨堂の増築・新築は認めないと通達があり、計画（増改築）がたてられない。他の区では、何ヶ寺か納骨堂の新築が行われている。市の墓地行政はどうなっているのか。区毎で違うのか？
福岡市内では納骨堂を増設する場合、既存の納骨壇数より増やせないと聞いている。これは、将来的に理不尽な状況で希望者が増加した場合に対応できないので制限をとり払って欲しい。
福岡市の方針として、墓地や納骨堂の増設を認めないようですが、現場としては数が足りていないのが現状です。近所にあり、かつなじみの寺院に納骨したいと思われるのは自然な流れであると考えます。現状の方針を是非緩和していただきたいと切にお願いいたします。
境内であれば、墓地建設の許可をお願いしたい。
納骨堂の数があまっているという理由で、納骨堂の建設をしにくくするのはいかがなものか。寺の人間もバカではないので必要以上のものを建てたりはしませんよ。数年で数が足りなくなるのは困るので少しは多めに作りますよ。行政の大きなお世話は不要です。
大宰府は規制が厳しく、ただでさえ近隣住民の賛同が得にくいのに納骨堂建立は難しい。規制もゆるめすぎると支障があると思うが、不足している納骨堂を確認したら増設を認めるなど必要があるのでは。

<p>唯一、福岡市の許可に依り運営していますが、募集する場所がなくなり（調整区域の為）拡張したく、要望を再三話し合いをしてまいりましたが、墓地等の担当者の方が転属され白紙に戻ってしまいました。古い法令が全ての基本となっているので現況と大きく掛け離れていても仕方がないかもしれません。南区に位置し、環境に恵まれ、近くにお住いの方々に支持され現在に至っています。今後の話し合いで、少しでも要望が汲み入れられ、進展があります様期待しています。</p>
<p>納骨堂建築に対して、なぜ建築基準が厳しくなるのか。寺院教化の一環としてであり営利が目的ではない。建築基準を緩和してほしい。</p>
<p>檀家の求める納骨堂・墓地に対しては、建築許可を速やかに出してほしい。</p>
<p>納骨堂新築に関しては多くの制約がある事を聞いた。当寺院の納骨堂も老朽化してきており、敷地内に納骨堂を新築しようにも躊躇してしまう。早急に対応しなければならない状態ではないので、今はまだ良いが、老朽化が激しくなれば猶予はないと思われる。</p>
<p>申請してもほとんど許可が下りない。これでは正式に手続きをして納骨堂や墓地を作る事はほぼ不可能なのではないか？仮に申請するにしても、ほぼ素人では書類も作れないし行政書士などを頼めば多大な費用がかかる。これでは申請をする気持ちにすらなれない。都市部とそれ以外の土地では墓地に対しての環境が全く違うのに、同じ法律の適用を頑なに続ける行政には希望が持てない。</p>
<p>・市が寺院等の納骨堂建設について設置壇数に制限を加える等の行政指導をする場合があると聞きました。宗教法人の運営に介入することがあってはならない。憲法 20 条違反の疑いが濃い。</p>
<p>納骨堂の問い合わせはよくあるが、残りの数が少ないので受け入れることが難しい。必要なお寺には適宜増築許可を出してほしい。以前、役所の担当部署に相談にいったらほとんど不可能な要件をみかさないと許可がもらえないことを知らされて驚きました。</p>
<p>境内地に納骨堂を新設することができないような旨を聞いたのですが、何故でしょうか？同じ宗教活動の一環として当たり前と思えますが…。納骨堂内には、当然礼拝施設も完備したものを設けます。宗教活動を行う場所としての施設です。納骨堂だけ単独で新設できない理由がわかりません。</p>

8. その他(1件)

<p>・近頃、高齢者の方々が自分達では墓まいりに行くのが出来づらく、若い者へ迷惑かけるので納骨堂へ移りたいという意見をききます。</p>
--

平成27年度 福岡市墓地・納骨堂に関する アンケート調査

(ご協力をお願い)

日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、福岡都市圏における墓地・納骨堂の実態を把握するため、アンケート調査を実施することとしました。この調査は平成22年度に引き続き5年ぶり3回目の調査となりますが、皆様のご意見を基に、今後の福岡市における墓地・納骨堂経営に関するあり方を考える資料とすることを目的としています。

調査は無記名で行い、調査の結果は「こういう意見の方が何%」というように数字で統計的に処理しますので、お答えいただきました内容が直接公表されることは一切ございません。併せて、本調査以外の目的に使用することもございません。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただくとともに、ご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

平成27年6月

福岡市長 高島 宗一郎

(ご記入上の注意)

1. この調査票は、墓地又は納骨堂を経営されている代表者の方にご回答をお願いします。
2. 調査については、平成27年4月1日現在の状況をご記入ください。
3. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。または枠内に該当する番号をご記入ください。○○〔 〕とある場合には、〔 〕内に具体的な内容をご記入ください。

(例)問 納骨堂を新築または増築する計画はありますか。

- | | |
|--------------|-------------|
| ①ある〔 100 〕区画 | 2. あるが規模は未定 |
| 3. ない | 4. わからない |

4. ご記入漏れ、ご記入ミスがあると集計に支障をきたします。すべてご記入された後、もう一度ご確認をお願いします。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**平成27年6月21日(日)まで**にご投函ください。
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

<調査主体> 福岡市保健福祉局生活衛生課 墓地・葬祭場管理係
担当:前田・高尾 電話:092-711-4273 FAX:092-733-5588

<調査実施:お問合せ先>
株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所
担当:栗原・水町 電話:092-411-8811 FAX:092-411-8851

問1. 貴団体は次のどれにあてはまりますか。

- | | | |
|---------|------------------|-----------|
| 1. 仏教系 | 2. 神道系 | 3. キリスト教系 |
| 4. 公益法人 | 5. その他 [_____] | |

問2. 貴団体の主たる事務所の所在地はどこですか。

- | | | |
|----------|-------------------|-----------|
| 1. 福岡市東区 | 2. 福岡市博多区 | 3. 福岡市中央区 |
| 4. 福岡市南区 | 5. 福岡市城南区 | 6. 福岡市早良区 |
| 7. 福岡市西区 | 8. 福岡市外 [_____] | |

問3. 貴団体所有の墓地（霊園を含む。以下同じ。）はありますか。

- | | |
|----------|--------------|
| 1. ある …… | 問3-1へお進みください |
| 2. ない …… | 問4へお進みください |

ここからは、問3で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問3-1. その墓地はどこにありますか。

（複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。）

- | | | |
|----------|-------------------|-----------|
| 1. 福岡市東区 | 2. 福岡市博多区 | 3. 福岡市中央区 |
| 4. 福岡市南区 | 5. 福岡市城南区 | 6. 福岡市早良区 |
| 7. 福岡市西区 | 8. 福岡市外 [_____] | |

問3-2. 宗教団体の方におたずねします。

（宗教団体以外の方は、問3-3へお進みください。）

墓地利用者は、檀家（自宗派）に限定していますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 限定している | 2. 限定していない |
|-----------|------------|

問3-3. 墓地利用者のうち、福岡市内居住者の割合はおよそどのくらいですか。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 0～10% | 2. 11～20% | 3. 21～30% |
| 4. 31～40% | 5. 41～50% | 6. 51～60% |
| 7. 61～70% | 8. 71～80% | 9. 81～90% |
| 10. 91～100% | | |

問3-4. 墓地は全部で何区画ありますか。

{ _____ } 区画

(注) 区画とは永代使用を認めた個々の区域をいいますが、その区域がはっきりしない場合は、1つの墓碑を1区画としてください。

問3-4-1. 墓地区画のうち、次の墓地はそれぞれ何区画ありますか。

無縁墓地 : { _____ } 区画
未使用墓地 : { _____ } 区画
合祀用墓地 : { _____ } 区画

全員の方におたずねします。

問4. 墓地を新しく建設または拡張する計画はありますか。

1. ある { _____ } 区画 } 問4-1へお進みください
2. あるが規模は未定 }
3. ない } 問5へお進みください
4. わからない }

ここからは、問4で「1」または「2」とお答えの方のみにおたずねします。

問4-1. 墓地を新しく建設するとした場合、いつ頃を予定していますか。

1. 1年以内 2. 1年超～3年以内
3. 3年超～5年以内 4. 5年超～10年以内 5. 決めていない

問4-2. 宗教団体の方におたずねします。

(宗教団体以外の方は、問4-3へお進みください。)

墓地を新しく建設するとした場合、利用者は檀家(自宗派)に限定しますか。

1. 限定する 2. 限定しない 3. わからない

問4-3. 墓地を新しく建設するとした場合、どのような墓地を計画しますか。
(該当するものすべてに○をつけてください。)

1. 4㎡以上の区画をもつ従来の日本式墓地
2. 4㎡未満程度の区画をもつ従来の日本式墓地
3. 夫婦のみとするなど、個人需要を満たす小型の墓地
4. 区画を設ける芝生式などの墓地
5. 区画を設けない芝生式などの墓地
6. 壁面式などの立体集約型で比較的安価で維持管理が容易な墓地
7. 焼骨を直接土に埋蔵してプレートや樹木を用いる自然志向の墓地
8. 合葬式の共同墓地
9. 一定期間後、合葬する有期限の墓地
10. その他の形式の墓地 [_____]

全員の方におたずねします。

問5. 今後、どのような形態の墓地が求められると思いますか。
(該当するものすべてに○をつけてください。)

1. 4㎡以上の区画をもつ従来の日本式墓地
2. 4㎡未満程度の区画をもつ従来の日本式墓地
3. 夫婦のみとするなど、個人需要を満たす小型の墓地
4. 区画を設ける芝生式などの墓地
5. 区画を設けない芝生式などの墓地
6. 壁面式などの立体集約型で比較的安価で維持管理が容易な墓地
7. 焼骨を直接土に埋蔵してプレートや樹木を用いる自然志向の墓地
8. 合葬式の共同墓地
9. 一定期間後、合葬する有期限の墓地
10. その他の形式の墓地 [_____]

問6. 宗教団体の方におたずねします。
(宗教団体以外の方は、問7へお進みください。)

檀家(自宗派)の方などから墓地の拡張または新設の要望がありますか。

1. 強い要望がある
2. 要望がある
3. 要望はない

問7. 貴団体所有の納骨堂はありますか。

1. ある …… 問7-1へお進みください
2. ない …… 問8へお進みください

ここからは、問7で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問7-1. 納骨堂利用者のうち、福岡市内居住者の割合はおよそどのくらいですか。

1. 0～10%
2. 11～20%
3. 21～30%
4. 31～40%
5. 41～50%
6. 51～60%
7. 61～70%
8. 71～80%
9. 81～90%
10. 91～100%

問7-2. 納骨堂は全部で何壇ありますか。

{ _____ } 壇

問7-3. 現在、未使用の壇数はいくつですか。

{ _____ } 壇

全員の方におたずねします。

問8. 納骨堂を新築または増築する計画はありますか。

1. ある …… 問8-1へお進みください
2. ない …… 問9へお進みください

ここからは、問8で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問8-1. 納骨堂を建築する時期は、いつ頃を予定していますか。

1. 1年以内
2. 1年超～3年以内
3. 3年超～5年以内
4. 5年超～10年以内
5. 決めていない

問8-2. 納骨堂を建築する理由は何ですか。
(該当するものすべてに○をつけてください。)

1. 絶対数が不足しているから
2. 墓地が欲しいが、墓地を建設できる場所が無いから
3. 同じ面積で、墓地より多くのお骨を入れることができるから
4. 墓地よりも管理が容易だから
5. 墓地よりも建設の費用負担が少ないから
6. 納骨堂が老朽化してきたから
7. その他 [_____]

問8-3. どのような場所にどのくらいの規模を建築する計画ですか。
(該当するものすべてに○をつけてください。)

1. 墓地の区域に新築する [_____] 壇
2. 境内など墓地以外の自己所有地に新築する [_____] 壇
3. 場所は未定であるが規模は決定している [_____] 壇
4. 既存の納骨堂を増築する [_____] 壇増加
5. 既存の納骨堂を建替える [_____] 壇増加
6. 計画はあるが詳細は未定である
7. その他 [_____]

⇒ 問10にお進みください

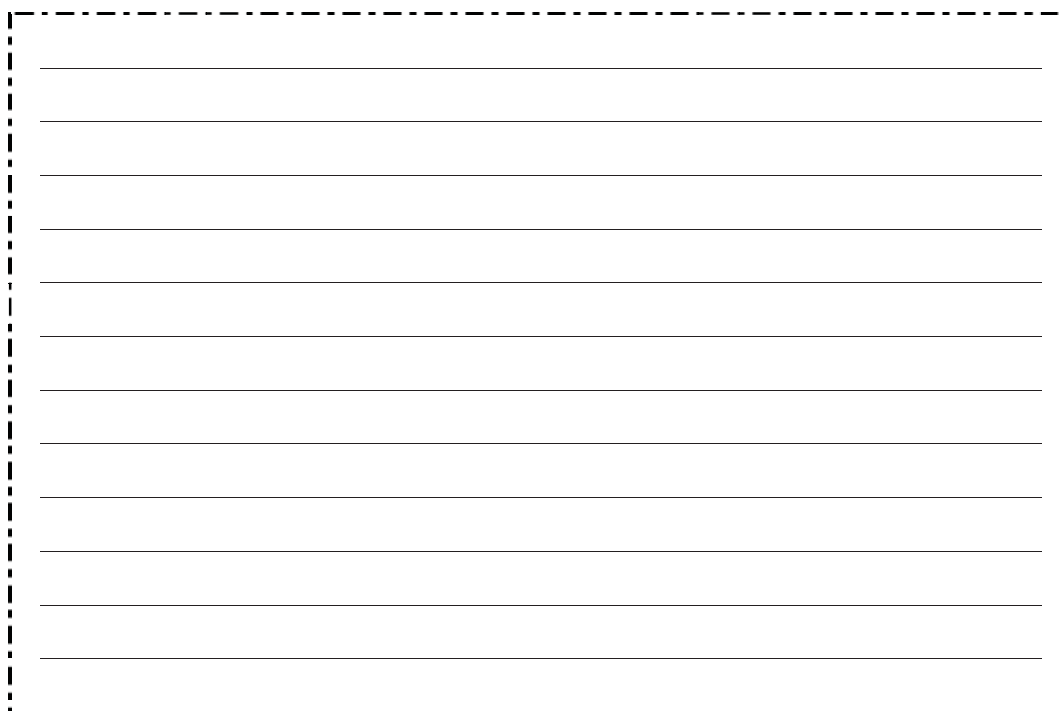
ここからは、問8で「2」とお答えの方のみにおたずねします。

問9. 納骨堂を建築しない理由をお教えてください。
(該当するものすべてに○をつけてください。)

1. 納骨堂や墓地などの経営を行う必要がないから
2. 現在有る墓地及び納骨堂で足りているから
3. 建築する場所がないから
4. 資金計画が未定だから
5. その他 [_____]

最後に全員の方におたずねします。

問10. 墓地行政についてご意見などございましたら、自由にご記入ください。



アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
今後とも、福岡市の行政全般にわたるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご記入漏れ等お確かめの上、同封の返信用封筒で6月21日（日）までにご投函ください。